

積善遺跡 (No. 440)

鎌倉市十二所字積善944番6、7、10地点

例 言

1. 本報は鎌倉市十二所字積善 944 番 6、7、10 地点に所在する遺跡の発掘調査報告である。
2. 発掘調査は個人住宅建築にかかる建築範囲約 69.40 m²を対象とし、平成 28 年 5 月 12 日から 9 月 7 日にかけて実施した。
3. 現地における調査体制は以下の通りである。

調査担当者：後藤 健

調査員：岡田慶子・岡本夏菜・吉田桂子・伊丹まどか・渡辺美佐子・佐藤千尋・小泉海人

作業員：大塚尚城・鈴木道明・南齋敬資・西澤靖明・根市真古人・松山豊司

4. 本報告作成は以下の分担により行った。

遺物実測：岡田慶子・菊川泉・吉田桂子

遺物図版作成：後藤 健・岡本夏菜・清水由加里・吉田桂子・菅野智子・神田倫子

遺構図版作成：後藤 健

観察表：岡本夏菜・清水由加里

遺構写真：後藤 健

遺物写真：須佐仁和

写真図版作成：後藤健・岡本夏菜・清水由加里

執筆：後藤 健

5. 発掘に関わる出土品などの資料は鎌倉市教育委員会が管理・保管している。
6. 本報告の遺物図版の縮尺は以下の通りである。
遺物実測図 1/3（一部 1/4） 銭 1/1（近代遺構出土銭 1/2） 各挿図にはスケールを表示してある。
7. 遺物は可能な限り復元して実測した。紙面の都合からすべての実測図を掲載していない。遺物に関する詳細は観察表にまとめて記載。

・復元実測の遺物に関しては、計測値に（ ）を付して表記している。

・木製品のうち器形から用途を確実に判別できないものは「…状」として提示してある。

・文章中の「かわらけ」はロクロ成形のかわらけを指し、手づくね成形のかわらけは「手づくね」と記載している。

・ロクロ成形かわらけの底径は回転糸切りの外径部分で、手づくね成形かわらけの底径は、器面が接地した箇所計測している。

・陶磁器に関しては、常滑は中野晴久氏、瀬戸製品に関しては藤澤良祐氏、磁器は山本信夫氏の編年に基づいて分類した。破片のため不明なものについては割愛した。

8. 発掘調査及び報告書作成に関しては次の方々よりご教授、ご協力を賜りました。記して深く感謝いたします。（敬称略・五十音順）

伊丹まどか、汐見一夫、藤沢良祐、中野晴久

目次

本文目次

第一章 調査地点の位置と歴史的環境

第1節 歴史的環境

第2節 調査の方法と経緯

第3節 堆積土層

第二章 発見された遺構と遺物

第1節 第1面の遺構・遺物

第2節 第1a面の遺構・遺物

第3節 第2面の遺構・遺物

第4節 第3面の遺構・遺物

第5節 第4面の遺構・遺物

第6節 第5面の遺構・遺物

第7節 第6面の遺構・遺物

第8節 第6a面の遺構・遺物

第9節 その他の遺物

第三章 考察とまとめ

積善遺跡の自然科学分析

挿図目次

図1 調査地点と周辺の遺跡	図15 第3面遺構出土遺物(1)
図2 調査位置とグリッド配置図	図16 第3面遺構 195
図3 調査区西、東壁堆積土層図	図17 第3面遺構出土遺物(2)
図4 調査区北壁堆積土層図	図18 第3面遺構出土遺物(3)
図5 調査区南壁堆積土層図	図19 3面遺構 205
図6 第1面全測図(S=1/60)	図20 第3面遺構出土遺物(4)
図7 第1面遺構出土遺物	図21 3面遺構 206
図8 第1面遺構出土遺物	図22 第3面遺構出土遺物(5)
図9 第1a面遺構出土遺物	図23 第4面全測図(S=1/60)
図10 第1a面土出土遺物	図24 第4面遺構出土遺物
図11 第2面全測図(S=1/60)	図25 第4面出土遺物
図12 第2面個別遺構出土遺物	図26 第5面全測図(S=1/60)
図13 第2面出土遺物3	図27 第5面遺構 455
図14 第3面全測図(S=1/60)	図28 第5面遺構出土遺物

図 29 第 6 面全測図 (S=1/60)

図 30 第 6 面遺構出土遺物

図 31 第 6 a 面全測図 (S=1/60)

図 32 第 6 a 面出土遺物ほか

表目次

表 1 中世出土遺物観察表 58

表 2 出土遺物集計表 74

表 3 出土自然遺物観察表 79

図版目次

写真図版 1 86

写真図版 2 87

写真図版 3 88

写真図版 4 89

写真図版 5 90

写真図版 6 91

写真図版 7 92

写真図版 8 93

写真図版 9 97

写真図版 10 95

写真図版 11 96

写真図版 12 97

写真図版 13 98

写真図版 14 99

写真図版 15 100

写真図版 16 101

写真図版 17 102

写真図版 18 103

写真図版 19 104

写真図版 20 105

第一章 調査地点の位置と歴史的環境

第1節 歴史的環境（図1）

本調査地点は JR 鎌倉駅からほぼ真東方へ約 2.6km、鎌倉市街地の北東部の十二所地区の滑川上中流域の左岸に位置する。所在は鎌倉市十二所字積善 944 番 6、7、10 である。十二所周辺は、東側および北側は横浜市の金沢区と栄区、南側が逗子市の池子や沼間などに隣接し、西側は積善の谷戸にあたり、その南方へは鎌倉・逗子ハイランドの住宅地が広がる。遺跡が所在する一帯は、西から明石谷、二ツ橋、泉水、御所之内など字名を残した谷戸が滑川にそって開析している。調査地点は積善の谷戸の開口部、尾根の先端部にあたる。東側の尾根はハイランドへの道路造成の際に崩されているが、尾根の端部は県道に接して一部が残存しており、やぐらも残存しているため、本来は尾根を背にした景観であった。すぐ西側には滑川が流れており、谷と川に囲まれたやや狭い空間である。調査地点は現在は県道よりも約 1.2 m ほど高く、地形的にもさほど平坦ではない。

調査地点前を通る県道金沢・鎌倉線は六浦道と呼ばれ、鎌倉から朝比奈切通を抜けて六浦・金沢を結び、さらに東京湾を経て上総国へ通じるルートで、鎌倉幕府創設以前より存在したとみられる当時の主要交通路であった。調査地点周辺には御所之内の古地名がある足利公方屋敷跡、明王院の西側の谷戸の梶原景時邸、明石谷の大江広元邸など、御家人クラスの屋敷跡であるという伝承地が複数存在しており、こうした伝承から十二所周辺は有力御家人が居館を構えていた可能性は高く、鎌倉時代の初期より開発が進められていた地域と想定される。

本調査地点の滑川を挟んだ北側には明王院五大堂がある。明王院は飯盛山寛喜寺明王院五大堂と号し、真言宗、京都仁和寺の末で、1235 年の創建。初代の別当は定豪で、開基は藤原頼経である。その東側一帯は丈六の地名が残り、建暦二年(1212)に第三代将軍の源実朝が「君恩報徳」のために創建した大慈寺の跡地と推定されている。旧境内推定地からは大慈寺銘の軒先瓦が出土しており、瓦当製作技法や瓦当文様から推測して創建期瓦と推定されている、『新編相模国風土記稿』には丈六堂と記載があり、江戸時代末期までは堂があったと考えられる。関東大震災以前には畑の中に「やしまの立石」という堂前苑池の立石があったという。

永仁元(1293)年におきた大地震では、大慈寺は埋没、火災にあったことが記されており、周囲の尾根が崩落したことがうかがわれる。大慈寺の近隣と推定できる本調査地点もこの地震による影響を当然受けていると想定される。

調査地の北東側、宇佐小路の南の谷には藤沢清浄光寺の末寺である岩殿山光触寺がある。開山は一遍智真と伝わり、創建は鎌倉時代にまで遡るようである。明石谷一帯は明王院の坊舎になる一心院の旧跡と伝えられている。光触寺には、室町末期の描風ではあるが江戸時代の作とされている古図が伝わる。光触寺境内を中心に描いたものであるが、調査地付近についても描かれている。北側には五大堂、常楽寺とあり、常楽寺は大慈寺域内の丈六堂の訛言とされる。調査地周辺は積善との名が記されるのみで、西隣の谷には泉守寺とあるが積善には特に何も書かれていない。

十二所村の近世資料(一)に収録されている「十二所村要図」では、谷戸のやや奥に「積善院趾？」とあり、『五大堂事蹟備考』に梶原谷の南方に積善院という寺院があったということが詳細は不明である。谷戸の先端で本調査地付近には「えんめいじ 地藏堂趾」とある。延命寺は『新編相模国風土記稿』に「地

蔵堂、一ハ積善谷ノ山続キニテ、字長林坊ト唱フル地ニアリテ延命寺ノ号アリ」との記載がある。積善谷には複数の寺院が存在していたことが示唆されるが、創建年代や廃絶年代などは残念ながら不明である。少なくとも一定期間は宗教的な空間としての利用がなされていたことが示唆されるのみである。

周囲には西南には公方屋敷やぐら、西南の谷戸には東泉水やぐら、調査地のすぐ東南にもやぐらがあり、東の光触寺付近にもやぐらが多数存在している。ハイランドへの道路造営で尾根を切り崩した際に多数の五輪塔などが発見されたといい、それらは県道脇の公園に隣接する一角に保管されている。

なお発掘調査が行われた事例はさほど多くはない(図1)。近接地域では地点3において13世紀末葉～14世紀前葉頃と推測される礎石建物・土坑・ピットなどが検出されている。礎石建物跡は、東沿いを走る現在の県道にほぼ平行・直交するような主軸方位をもつため、六浦道を軸方位に定められたような地割が存在していた可能性が指摘されている。第2面では東西方向の薬研堀溝が検出されているが、同様に県道に直交した主軸である。

地点4では4面の中世生活面が検出されている。1面は14世紀代に属し、竪穴、土坑、ピットなどが検出されている。2面は14世紀前半で、井戸2基に土坑、ピット。3面は土坑、石敷、ピットなどが検出された。4面は13世紀末～14世紀前葉で、柱穴列や土坑、かわらけ溜りが確認されている。

地点5では2面の中世生活面が検出されている。1面は14世紀代に属し土坑、ピットが検出。1面から2面の間には焼土炭化物がみられ、14世紀前半の火災が想定される。2面は13世紀後半～14世紀前葉堅固な地業がほどこされており、かわらけ溜り、土坑、竪穴状建物、ピットが確認され、武士居館が想定されている。また13世紀後葉の生活面がさらに2面は存在することが深堀によって確認されている。

地点7は4面の中世生活面が検出されている。1面は15世紀中葉で、井戸、石敷、礎石、据甕などが発見され、2面では14世紀前半の溝、井戸、泥岩列、掘建柱建物跡が確認された。いずれも寺院との関連が想定されている。3面は13世紀後半の土坑、ピットが確認、4面では13世紀中ごろの掘立柱、建物、板壁建物、囲炉裏が検出され、町屋的な様相を示している。

地点13は中世面は1面のみで、15世紀に属し、礎石建物、溝状遺構、石組井戸などが検出されている。

部分的な調査例からはまだ不明な点が多いが、居館的な空間や寺院的な空間が存在することが明らかになっている。周囲のやぐらなどが比較的多数存在する点からも宗教的な空間としての側面も色濃いことは確かであるが、今後の調査の進展でさらなる周辺地域の様相の解明が期待される。

引用・参考文献

小丸俊雄 1962「十二所村の近世資料(一)」『鎌倉』8号

下中邦彦 1984『日本歴史地名体系14 神奈川県地名』平凡社

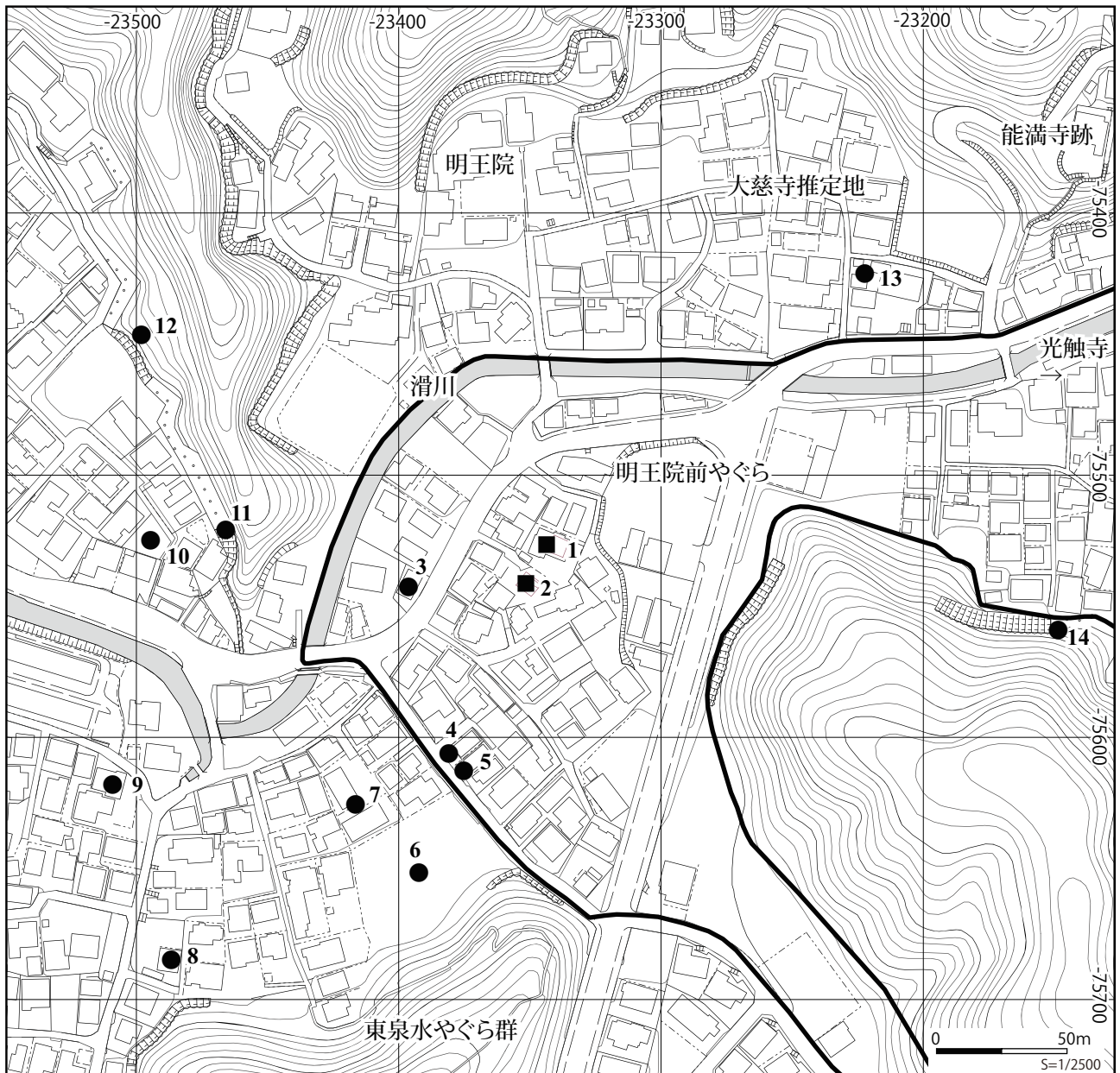
十二所文化部同人編 1980『十二所地誌新稿』十二所文化部同人

鈴木良昭 2016「異説・明王院五大堂考-創建とその所在位置をめぐって-」『鎌倉』121号

貫達人・川副武胤 1980『鎌倉廃寺事典』有隣堂

馬淵和雄 1994「武士の都鎌倉—その成立と構想をめぐって—」網野善彦・石井進編『中世の風景を読む2』新人物往来社

三浦勝男編 1992『鎌倉の古絵図1』鎌倉市教育委員会



No.	名称	住所	調査者	調査	刊行	文献
1	積善遺跡	十二所字積善 944 番 6、7、10	後藤	2016	2019	本報告
2	積善遺跡	十二所字積善 944 番 1、945 番 7、10	後藤	2015	2019	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』36
3	積善遺跡	十二所ニツ橋 4-3	原	2004	2011	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』27-1-
4	積善遺跡	十二所積善 952-8	原	1997	1999	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』15-1-
5	積善遺跡	十二所積善 952-6	原	1996	1998	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』14-2-
6	川越重頼邸跡	浄明寺五丁目 306 番イロ・309 番 6・7・310	齋木・降矢	2013		未報告
7	川越重頼邸跡	浄明寺五丁目 305 番イ外	齋木・降矢	2002	2006	『川越重頼邸跡』遺跡調査会 40 集
8	川越重頼邸跡	浄明寺五丁目 318 番 1 の一部	森	2009	2018	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』35-3-18
9	川越重頼邸跡	浄明寺五丁目 423 番 1 外	伊丹	2010	2018	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』35-1-4
10	公方屋敷跡	浄明寺 4-297-12 外				未報告
11	公方屋敷やぐら	浄明寺 271-1	田代	1988	1990	『昭和 63 年度鎌倉市内急傾斜地崩落対策事業に伴う発掘調査報告書』
12	公方屋敷やぐら	浄明寺 271-1	田代	1988	1990	『昭和 63 年度鎌倉市内急傾斜地崩落対策事業に伴う発掘調査報告書』
13	大慈寺跡・五大堂明王院旧境内遺跡	十二所字ニツ橋 70 番 2 外 2 筆	土肥・土肥	2018	2019	『神奈川県鎌倉市 大慈寺・五大堂明王院旧境内遺跡』睦合文化財株式会社
14	明王院門前	十二所明石谷 922	田代・宗臺	1996	1998	『中世石窟遺構の調査 II』東国歴史考古学研究所

図 1 調査地点と周辺の遺跡

第2節 調査の方法と経緯

本発掘調査は個人住宅の建築に伴う事前調査として、鎌倉市教育委員会が実施した。建築計画では基礎工事として柱状改良工事を施すため、平成28年3月9日～3月10日に鎌倉市教育委員会が埋蔵文化財の確認調査を実施した。地下1.76mまで掘削した結果、地表下40cmで遺物包含層が検出され、地表下52cmで中世遺構面と推定される堆積層の確認がなされた。さらに地表下74cm、96cmでも中世遺構面が確認され、180～185cmにも中世遺構面の存在が想定される結果となった。この試掘結果と、平成27年に行った積善944番1、945番7、10地点の調査結果を踏まえ、建築計画実施に先立って本格的な発掘調査を実施する必要ありとの判断がなされた。

以上の手続きより、平成28年5月12日～9月7日の約4ヶ月をかけて現地での調査を実施した。

調査は重機による表土除去後、掘削に伴う残土置き場を確保する必要から、69.40㎡の調査範囲を二

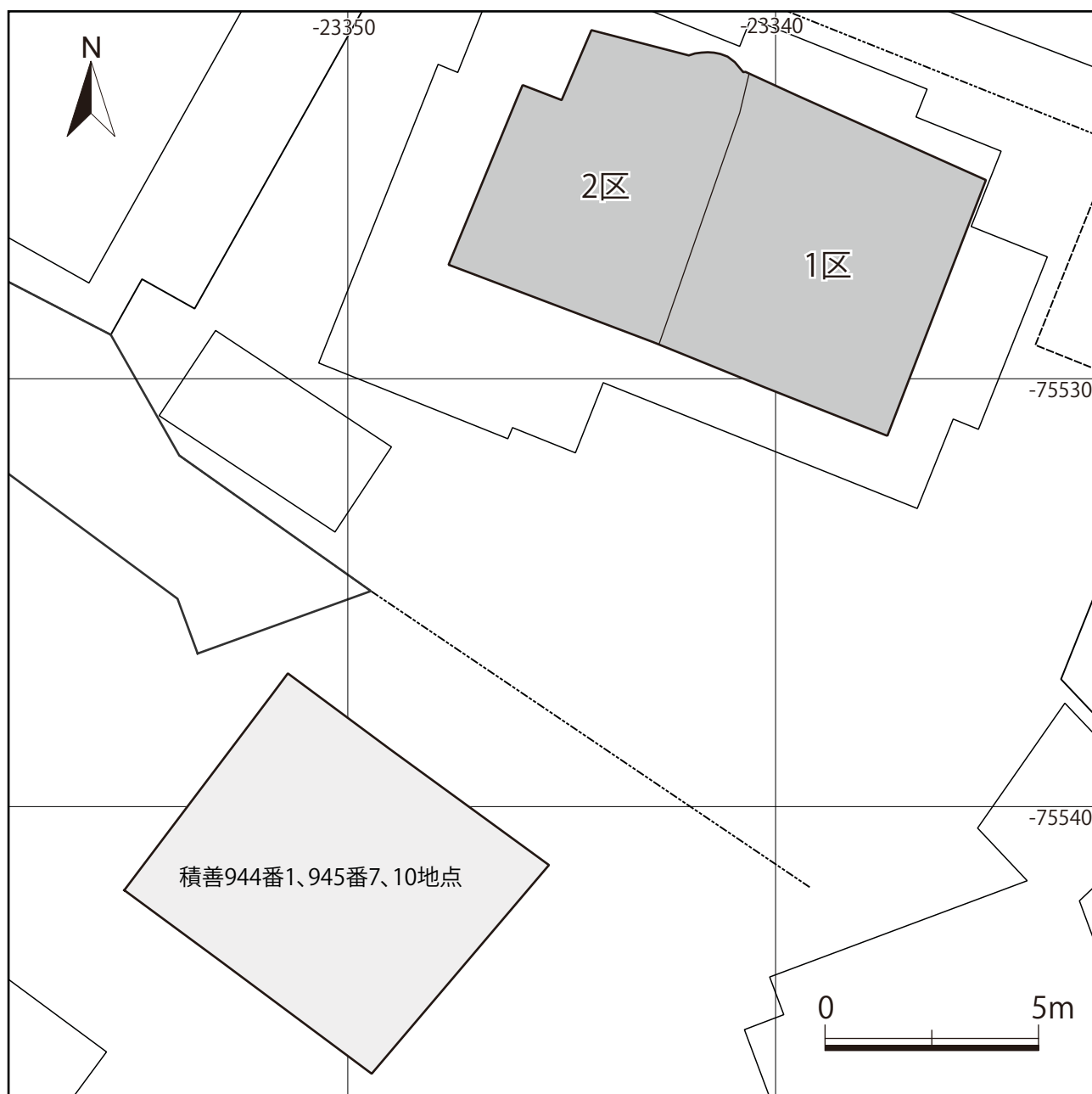


図2 調査位置とグリッド配置図

分割して調査を進めた（図2）。作業を進めるなかで大きく6面におよぶ中世遺構面を確認することができた。遺構面についてはそれぞれ写真と図面による記録を行い、順次掘り下げていった。

地表下約1mにて黄褐色粘質土、その30cm下から黒青色になり、遺物・遺構などが確認できなくなったため、これを中世基盤層と判断し、そこまでの掘削で留めた。2区での調査時に北側に一部確認調査のためのトレンチを設定し、地表下3.2mまで掘り下げて堆積状況の確認を行った。

第3節 堆積土層（図3、4）

本調査地点では上述の通り大きく6面におよぶ中世の遺構面を確認した。基本となる土層の堆積状況を述べておく。

現地表面はおよそ海拔22.40～22.50mとなる。隣接する積善944番1、945番7、10地点よりも約30～40cmほど高い。表土は35～40cmほど堆積しており、それを取り除いた状態で遺構を確認した。全体としては残存状況が一様ではなく、相当掘削されてしまっている箇所もあるが、第1面とした。小粒の泥岩碎片を多く含む暗褐色粘質土の整地層であり、ほぼ平坦で、確認レベルは海拔22.04～22.13mとなる。層厚は10cm程度である。第1面より炭層および密な泥岩地層を除去した面を第1a面とした。暗褐色粘質土を主とした整地層であり、泥岩粒を多く含む。検出レベルはおよそ海拔21.95～22.04mで、層厚は約5cmとなる。

第2面は小粒の泥岩碎片を多く含む締まりのある暗褐色粘質土の整地層であり、検出レベルはおよそ海拔21.94～22.0mである。層厚は約15cmである。

第3面は小粒の泥岩碎片を多く含む締まりのある暗褐色粘質土の整地層でほぼ平坦であり、確認レベルはおよそ海拔21.76～21.84mである。層厚は25cm前後となる。

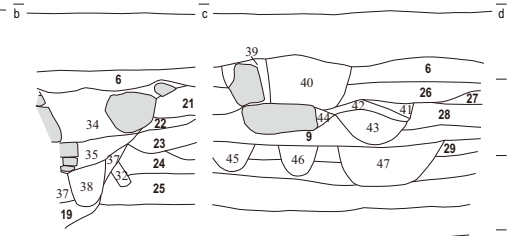
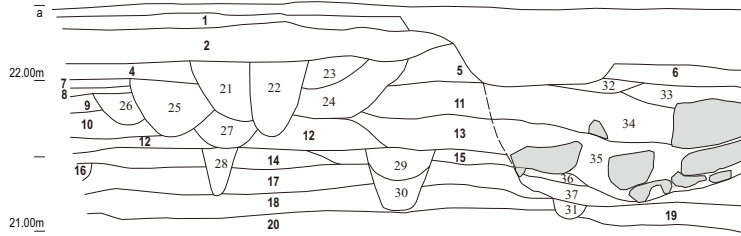
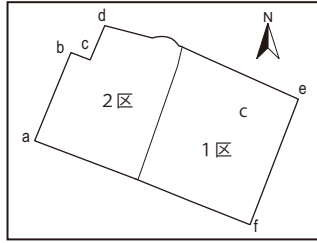
第4面は小粒の泥岩碎片を多く含む締まりのある暗黄褐色粘質土の整地層であり、確認レベルはおよそ海拔21.54～21.67mでほぼ平坦である。層厚は10cm程度である。

第5面は小粒の泥岩碎片を少数含む黄褐色粘質土の整地層で、確認レベルはおよそ海拔21.41～21.56mである。層厚は10～15cmである。

第6面は黄褐色粘質土によって構成される整地層であり。確認レベルはおよそ海拔21.24～21.35mで、ほぼ平坦である。第6a面は黄褐色粘質土によって構成される面であり、海拔21.13～21.19mである。層厚は15cm前後となる。

第6a面以下は褐鉄によって硬化した層が厚く堆積しており、その下約25cmで色調が黒褐色に変化する。さらに20～30cmほど下では締まりのやや弱い暗灰色粘質土の堆積が確認された。少数の木片の混入が見られる。さらに1.2mほど一部を掘り下げ、土層堆積の確認を行った。地表下2.6mほどでやや締まりが悪く、砂が混入した土質に変化した。調査地は尾根のすぐ近隣ではあるが、岩盤を検出することができず、また黒褐色土、暗灰色土の堆積は整地されたような層ではなく、中世の遺物も出土していない。したがって、第6a面の黄褐色粘質土を中世基盤層と判断した。

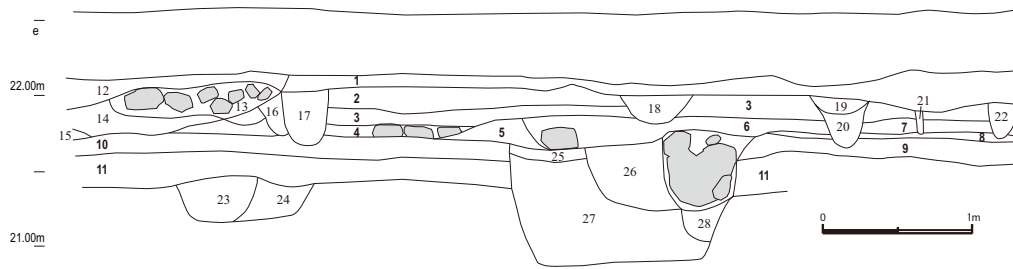
以下に調査区四周の土層断面図を掲載しておく。土層断面では確認することができたが、平面的には不明瞭で確認できなかった遺構も存在している。



(S=1/50)

- 1 暗灰粘質土 泥岩塊粒多い。近現代泥岩地葉。
- 2 暗褐色粘質土 締まりやや弱い。泥岩粒稀。炭化物少、かわらけ片やや少。耕作土か。
- 4 暗褐色粘質土 泥岩地葉面。泥岩塊粒多い。炭化物少、かわらけ片やや多い。
- 5 暗褐色粘質土 泥岩塊粒やや多い。炭化物、かわらけ片やや少。
- 6 暗褐色粘質土 泥岩塊少粒多い。炭化物少、かわらけ片やや少。橙色粒多い。
- 7 暗茶褐色粘質土 締まりややあり。泥岩粒、炭化物やや少、かわらけ片少。粘性の強い朱色の土で張る。
- 8 暗褐色粘質土 締まりややあり。泥岩塊粒やや少。炭化物、かわらけ片少。
- 9 暗褐色粘質土 泥岩塊粒少。炭化物やや少、かわらけ片少。
- 10 暗褐色粘質土 泥岩塊粒、炭化物やや少、かわらけ片少。
- 11 暗褐色粘質土 泥岩塊粒やや多い。炭化物、かわらけ片やや少。
- 12 暗褐色粘質土 締まりややあり。泥岩塊粒、炭化物、かわらけ片やや少。
- 13 暗褐色粘質土 泥岩塊粒、炭化物やや多い、かわらけ片やや少。やや暗い。
- 14 暗黄褐色粘質土 泥岩塊粒、炭化物やや多い、かわらけ片やや少。
- 15 暗褐色粘質土 泥岩粒少。炭化物、砂岩粒やや少。
- 16 暗褐色粘質土 泥岩塊粒やや多い。炭化物、かわらけ片少。
- 17 暗黄褐色粘質土 泥岩塊粒やや少。炭化物やや多い。褐鉄含む。砂岩粒多い。
- 18 暗黄褐色粘質土 締まりややあり。炭化物やや多い、かわらけ片少。褐鉄含む。砂岩粒やや少。
- 19 暗褐色粘質土 締まりややあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片やや少。赤色土混入し、上層より粗い。
- 20 暗黄褐色粘質土 炭化物やや少。褐鉄含む。硬化。砂岩粒少。
- 21 暗褐色粘質土 泥岩塊粒やや少。炭化物少、かわらけ片やや少。
- 22 黒褐色粘質土 締まりややあり。炭層。泥岩粒稀。炭化物多い。焼土塊少量含む。
- 23 暗褐色粘質土 泥岩粒少。炭化物やや多い、かわらけ片稀。
- 24 暗黄褐色粘質土 泥岩塊やや少粒少。炭化物やや多い、かわらけ片稀。
- 25 黄褐色粘質土 泥岩塊粒稀。炭化物少、かわらけ片稀。砂岩小塊入る。
- 26 暗褐色粘質土 泥岩塊多い粒多い。炭化物少、かわらけ片やや少。
- 27 暗褐色粘質土 締まりややあり。泥岩塊多い粒多い。炭化物やや多い、かわらけ片多い。
- 28 暗褐色粘砂質土 泥岩粒多い。炭化物、かわらけ片やや少。砂岩粒多めに混じる。
- 29 暗黄褐色粘質土 泥岩粒少。炭化物やや少、かわらけ片少。

- 遺構
- 21 暗褐色粘質土 泥岩塊粒やや多い。炭化物少、かわらけ片上部に多い。遺構 24。
- 22 暗褐色粘質土 泥岩塊粒やや少。炭化物、かわらけ片少。橙色土塊多い。遺構 14。
- 23 暗褐色粘質土 泥岩塊粒やや多い。炭化物やや少、かわらけ片やや多い。遺構 23。
- 24 暗褐色粘質土 泥岩塊粒多い。炭化物、かわらけ片やや少。遺構 23。
- 26 暗褐色粘質土 泥岩塊粒、炭化物やや少、かわらけ片少。遺構 93。
- 27 暗褐色粘質土 泥岩塊粒やや少。炭化物、かわらけ片少。遺構 109。
- 28 暗褐色粘質土 泥岩塊粒やや少。炭化物、かわらけ片少。土坑。
- 29 黒褐色粘質土 締まりややあり。泥岩粒、炭化物やや少、かわらけ片少。遺構 440。
- 29 暗褐色粘質土 泥岩塊粒、炭化物やや少、かわらけ片少。やや砂質。遺構 293。
- 30 暗褐色粘質土 締まりややあり。混入物少。遺構 293。
- 31 暗褐色粘質土 締まりややあり。泥岩種。炭化物少。
- 32 暗褐色粘質土 締まりややあり。泥岩塊粒少。炭化物やや多い、かわらけ片少。遺構 207。
- 33 暗褐色粘質土 締まりややあり。泥岩塊粒やや多い。炭化物、かわらけ片少。遺構 207。
- 34 暗褐色粘質土 泥岩塊やや少粒多い。炭化物、かわらけ片やや少。遺構 207。
- 35 暗褐色粘質土 泥岩塊粒多い。炭化物やや少、かわらけ片少。遺構 207。
- 36 暗褐色粘質土 泥岩塊粒やや多い。炭化物少、かわらけ片やや少。遺構 207。
- 37 暗褐色粘質土 泥岩塊粒少。炭化物やや多い。遺構 207。
- 38 暗褐色粘質土 締まりややあり。泥岩塊粒やや少。炭化物、かわらけ片少。
- 39 暗褐色粘質土 泥岩塊多い。炭化物、かわらけ片少。板石。
- 40 暗褐色粘質土 泥岩塊多い。炭化物、かわらけ片少。焼土塊多量。板石。
- 41 暗褐色粘質土 泥岩塊粒多い。炭化物少、かわらけ片稀。礎石。
- 42 黒褐色粘質土 締まりやや弱い。泥岩塊少。炭化物多い、かわらけ片稀。礎石。土坑灰層。
- 43 暗褐色粘質土 締まりやや弱い。泥岩塊粒やや多い。炭化物やや少、かわらけ片少。礎石。
- 44 暗褐色粘質土 泥岩塊粒多い。炭化物、かわらけ片少。
- 45 暗褐色粘質土 泥岩塊粒稀。炭化物やや多い、かわらけ片少。遺構 350。
- 46 暗褐色粘質土 泥岩粒稀。炭化物やや多い、かわらけ片少。遺構 287。
- 47 暗褐色粘質土 泥岩塊粒、炭化物、かわらけ片やや多い。遺構 353。



(S=1/50)

- 1 暗褐色粘質土 泥岩塊粒、炭化物やや多い、かわらけ片多い。
- 2 暗褐色粘質土 泥岩塊粒、炭化物、かわらけ片やや多い。
- 3 暗褐色粘質土 泥岩粒、炭化物、かわらけ片やや多い。
- 4 暗赤褐色粘質土 泥岩塊粒、炭化物やや少、かわらけ片少。
- 5 暗褐色粘質土 泥岩塊粒、炭化物やや多、かわらけ片やや少。
- 6 暗褐色粘質土 泥岩塊粒多い。炭化物やや多、かわらけ片やや少。
- 7 暗黄褐色粘質土 泥岩塊粒、炭化物少。
- 8 赤褐色粘質土 泥岩粒、炭化物、かわらけ片少。
- 9 青灰色粘質土 泥岩塊多い。炭化物、かわらけ片少。泥岩地葉。
- 10 黄褐色粘質土 泥岩塊粒やや少、かわらけ片少。
- 11 黄褐色粘質土 泥岩、炭化物、かわらけ片稀。

- 遺構
- 12 暗褐色粘質土 泥岩塊粒多い。炭化物、かわらけ片やや多い。遺構 26。
- 13 暗褐色粘質土 大泥岩塊多量。泥岩粒、炭化物少、かわらけ片やや多い。遺構 26。

- 14 暗褐色粘質土 締まりややあり。泥岩塊少、炭化物、かわらけ片やや多。遺構 26。
- 15 黄褐色粘質土 泥岩粒やや多い。炭化物少、かわらけ片やや少。遺構 26。
- 16 暗黒褐色粘質土 泥岩塊粒、炭化物やや多、かわらけ片少。
- 17 暗褐色粘質土 泥岩塊粒、炭化物、かわらけ片やや多。
- 18 暗褐色粘質土 泥岩塊やや多、炭化物やや多、かわらけ片少。遺構 79。
- 19 暗褐色粘質土 泥岩塊粒、炭化物やや多、かわらけ片やや少。
- 20 暗褐色粘質土 泥岩粒、炭化物やや少、かわらけ片少。
- 21 黒褐色粘質土 炭化物多い。
- 22 黒褐色粘質土 炭化物多い、かわらけ片少。遺構 83。
- 23 暗黄褐色粘質土 締まりややあり。泥岩塊粒、炭化物少。遺構 591。
- 24 黄褐色粘質土 締まりややあり。炭化物少。遺構 591。
- 25 暗赤褐色粘質土 泥岩塊粒多い。炭化物やや多、かわらけ片少。褐鉄含む。遺構 464。
- 26 暗赤褐色粘質土 泥岩塊粒、炭化物、かわらけ片少。褐鉄含む。褐鉄硬化。遺構 464。
- 27 黒赤褐色粘質土 泥岩塊やや少。炭化物やや多、かわらけ片少。褐鉄含む。遺構 464。
- 28 暗赤褐色粘質土 締まりややあり。上部に大型泥岩。炭化物、かわらけ片少。褐鉄含む。遺構 464。

図3 調査区西、東壁堆積土層図

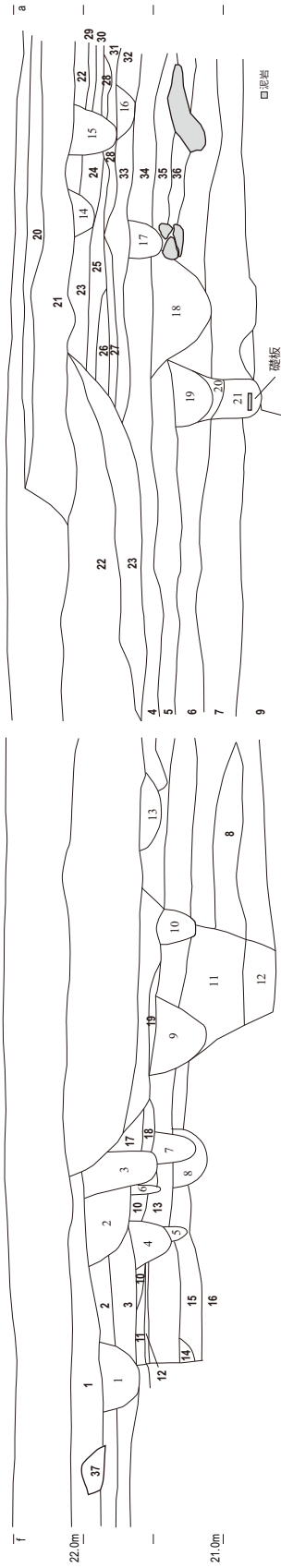


图5 調査区南壁堆積土層図

- | | | | | | |
|----|---------|---|----|---------|--|
| 1 | 暗褐色粘質土 | 泥岩塊粒、炭化物や多い、かわらけ片多い。 | 9 | 黄褐色粘質土 | 縮まりややあり。泥岩塊粒やや少。炭化物やや多い。茶色岩粒多い。遺構 526。 |
| 2 | 暗褐色粘質土 | 泥岩塊粒、炭化物、かわらけ片少。 | 10 | 黄褐色粘質土 | 縮まりあり。泥岩塊多い。炭化物やや多い。遺構 449。 |
| 3 | 暗褐色粘質土 | 縮まりややあり。炭化物、かわらけ片少。 | 11 | 暗茶褐色粘質土 | 縮まりやや弱い。炭化物多い。遺構 596。 |
| 4 | 暗褐色粘質土 | 泥岩塊粒や少。炭化物、かわらけ片少。 | 12 | 黒茶褐色粘質土 | 縮まりあり。泥岩塊少。炭化物やや多い。遺構 335。 |
| 5 | 暗褐色粘質土 | 泥岩塊粒や少。炭化物、かわらけ片少。 | 13 | 暗褐色粘質土 | 縮まりあり。泥岩塊やや少。炭化物、かわらけ片やや少。 |
| 6 | 暗褐色粘質土 | 炭化物少。 | 14 | 暗褐色粘質土 | 焼土塊混入。遺構 27。 |
| 7 | 暗褐色粘質土 | 炭化物少。 | 15 | 暗褐色粘質土 | 縮まりあり。泥岩塊粒やや多い。炭化物、かわらけ片やや少。遺構 17。 |
| 8 | 暗褐色粘質土 | 炭化物少。 | 16 | 黒褐色粘質土 | 縮まりやや弱い。炭層。泥岩塊粒やや多い。炭化物多い。遺構 74。 |
| 9 | 暗褐色粘質土 | 炭化物、かわらけ片少。 | 17 | 暗褐色粘質土 | 縮まりあり。泥岩塊粒やや多い。炭化物やや少。 |
| 10 | 青灰色粘質土 | 泥岩塊や少。炭化物、かわらけ片少。 | 18 | 暗褐色粘質土 | 縮まりややあり。泥岩塊粒やや少。炭化物少、かわらけ片やや少。遺構 463。 |
| 11 | 明黄褐色粘質土 | 泥岩塊や多。炭化物、かわらけ片少。 | 19 | 暗黄褐色粘質土 | 縮まりややあり。炭化物やや多い、かわらけ片少。遺構 561。 |
| 12 | 明黄褐色粘質土 | 縮まりややあり。炭化物、かわらけ片少。 | 20 | 暗黄褐色粘質土 | 縮まりややあり。泥岩塊粒多。炭化物多い。遺構 561。 |
| 13 | 赤黒褐色粘質土 | 炭化物や多。炭化物、かわらけ片少。 | 21 | 暗黄褐色粘質土 | 縮まりあり。泥岩塊粒少。炭化物多い、かわらけ片少。遺構 561。 |
| 14 | 暗赤褐色粘質土 | 縮まりやや弱い。炭化物、かわらけ片少。 | 22 | 暗褐色粘質土 | 縮まりあり。泥岩塊粒やや多い。炭化物少、かわらけ片少。遺構 26。 |
| 15 | 黄褐色粘質土 | 炭化物少。炭度粗い。 | 23 | 暗褐色粘質土 | 縮まりあり。泥岩塊粒多。炭化物やや少、かわらけ片やや少。遺構 26。 |
| 16 | 黄褐色粘質土 | 炭化物少。炭度粗い。 | | | |
| 17 | 黄褐色粘質土 | 炭化物、かわらけ片や少。 | | | |
| 18 | 黄褐色粘質土 | 炭化物、かわらけ片や少。 | | | |
| 19 | 黄褐色粘質土 | 炭化物、かわらけ片や少。 | | | |
| 20 | 黄褐色粘質土 | 炭化物、かわらけ片や少。 | | | |
| 21 | 黄褐色粘質土 | 炭化物、かわらけ片や少。 | | | |
| 22 | 黄褐色粘質土 | 炭化物、かわらけ片や少。 | | | |
| 23 | 黄褐色粘質土 | 炭化物、かわらけ片や少。 | | | |
| 24 | 黄褐色粘質土 | 炭化物、かわらけ片や少。 | | | |
| 25 | 明灰色粘質土 | 炭化物、かわらけ片や少。 | | | |
| 26 | 暗褐色粘質土 | 泥岩塊少。炭化物少。粘性強い土を露る。 | | | |
| 27 | 暗赤灰色粘質土 | 泥岩塊粒少。炭化物や少、かわらけ片少。 | | | |
| 28 | 暗褐色粘質土 | 泥岩塊粒少。炭化物、かわらけ片や少。 | | | |
| 29 | 暗茶褐色粘質土 | 縮まりややあり。泥岩粒、炭化物やや少、かわらけ片少。 | | | |
| 30 | 暗褐色粘質土 | 粘性の強いや赤土 | | | |
| 31 | 暗褐色粘質土 | 縮まりややあり。泥岩塊粒や少、かわらけ片少。 | | | |
| 32 | 暗褐色粘質土 | 泥岩塊粒少。炭化物や少、かわらけ片少。 | | | |
| 33 | 暗褐色粘質土 | 泥岩塊粒、炭化物や多、かわらけ片や少。褐鉄少。 | | | |
| 34 | 暗褐色粘質土 | 泥岩塊粒、炭化物、かわらけ片や少。褐鉄少。 | | | |
| 35 | 暗褐色粘質土 | 泥岩塊粒や多。炭化物、かわらけ片少。 | | | |
| 36 | 暗褐色粘質土 | 泥岩粒、砂岩粒や少。炭化物、かわらけ片少。 | | | |
| 37 | 暗褐色粘質土 | 炭化物、かわらけ片少。茶色土ブロック多。 | | | |
| 遺構 | | | | | |
| 1 | 黒褐色粘質土 | 泥岩塊多。炭化物やや多、かわらけ片、茶色土ブロック少。遺構 84。 | | | |
| 2 | 黒褐色粘質土 | 泥岩塊粒や少。炭化物やや多、かわらけ片や少。 | | | |
| 3 | 黒褐色粘質土 | 縮まりやや弱い。炭層。泥岩塊粒やや少。炭化物多、かわらけ片や少。遺構 105。 | | | |
| 4 | 暗褐色粘質土 | 炭層。泥岩粒少。炭化物や多。遺構 335。 | | | |
| 5 | 暗褐色粘質土 | 炭層。泥岩粒、炭化物少。 | | | |
| 6 | 黒褐色粘質土 | 縮まりやや弱い。炭層。炭化物多、かわらけ片少。 | | | |
| 7 | 暗黄褐色粘質土 | 縮まりややあり。泥岩塊大塊、粒多、炭化物少。 | | | |
| 8 | 暗黄褐色粘質土 | 縮まりややあり。炭化物や少。遺構 525。 | | | |

第二章 発見された遺構と遺物

第1節 第1面の遺構・遺物

第1面はおよそ海拔 22.04 ~ 22.13 m である。西北部は近現代の掘り込みにより削平されている。暗褐色粘質土を基本とした泥岩粒の混じる土による地業面。調査区中央付近は破碎泥岩をやや密に張った強い地業箇所が確認できた。また東側は炭化層が広がり、火災があった可能性がある。遺構はピット 17 穴・土坑 8 基、溝 2 条である。掘立柱建物址の存在が推定できるが明確なプランは復元できなかった。遺構の切りあいより第1面で発見した遺構は、少なくとも 3 時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・白かわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・瀬戸・渥美・瓦器・火鉢・瓦・鉄製品・石製品・銅銭・自然遺物が出土している。

遺構	色調	覆土	レベル	上端	最大上端	レベ	底面
ピット							
1	暗褐色		22.02	0.34	21.49		
2	暗褐色		22.06	0.35	21.68		
3	暗褐色		22.05	0.59	21.88		
4	暗褐色		22.08	0.54	21.98		
5	暗褐色		22.08	0.65	21.84		
6	暗褐色		21.74	0.48	21.71		
7	暗褐色		22.02	0.19	21.82		
8	黒灰色		22.13	0.53	21.96		
9	暗褐色		22.15	0.39	22.01		
10	暗褐色		22.12	0.43	22.03		
11	暗褐色		22.14	0.49	21.57		
12	暗褐色		22.15	0.38	22.08		
13	暗褐色		22.09	0.33	21.98		
14	暗褐色		22.08	0.61	21.78		
15	暗褐色		22.06	0.38	21.92		
土坑							
16	暗褐色		22.04	0.45	21.68		
17	暗褐色		22.06	0.36	21.85		
18	暗褐色		22.14	0.62	21.9		
19	暗褐色		22.11	0.54	21.89		
20	黒灰色		22.13	0.78	21.85		
21	暗褐色		22.14	0.73	21.89		
22	暗褐色		22.17	0.81	22		
その他							
23	暗褐色		22.09	0.42	21.96		
24	暗褐色		22.08	0.61	21.78		
25	暗褐色		22.11	0.92	21.78		
26	暗褐色		22.11	幅 2.82	21.63		
27	暗褐色		22.14	0.6	22.01		

ピット

基本的に円形を呈する。覆土は暗褐色粘質土が主体で締まりあり。泥岩粒、泥岩塊、炭化物、かわらけ片などを少量含む（遺構 1 ~ 7、9 ~ 14）。遺構 5 ~ 7 には橙色のブロック土が多数混入。

遺構 8 (図 6)

円形を呈するピット。遺構覆土：黒灰色粘質土。締まりややあり。泥岩粒やや少、泥岩塊やや多い。炭化物多く、かわらけ片少量。炭層。出土遺物（図 7）：16 は瀬戸の縁釉小皿。

遺構 15 (図 6)

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒やや少。炭化物少。かわらけやや少。出土遺物（図 7）：17 ~ 19 はかわらけ。

土坑

楕円形を主とする。覆土は暗褐色粘質土を主体とし、締まりややあり。泥岩粒、泥岩塊、炭化物、かわらけ片をやや多く含む（遺構 18、19、21、23、25）遺構 23 には橙色のブロック土が多数混入。

遺構 20 (図 6)

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：黒灰色粘質土。締まりあり。泥岩粒、炭化物をやや多く含み、かわらけ片少。遺構 27 に切られる。出土遺物（図 7）：20 は青磁坏。

遺構 22 (図 6)

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒、泥岩塊、炭化物やや少。かわらけ少。出土遺物（図 7）：21 ~ 22 はかわらけ。23 は瓦器質火鉢。

遺構 24 (図 6)

円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒やや少。炭化物少。かわらけ片上部にやや多い。出土遺物（図7）：24はかわらけ。



図6 第1面全測図 (S=1/60)

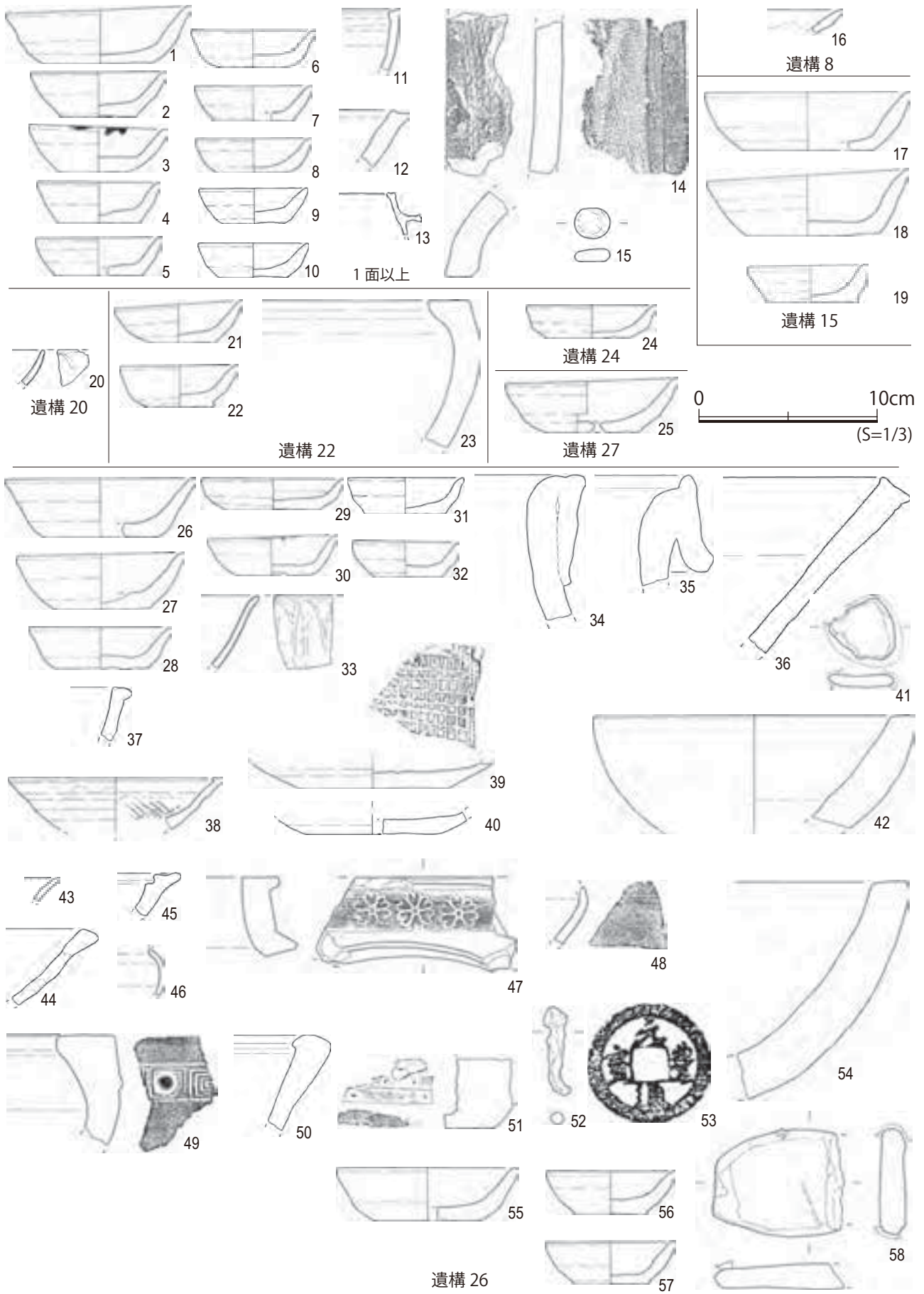


图7 第1面遺構出土遺物

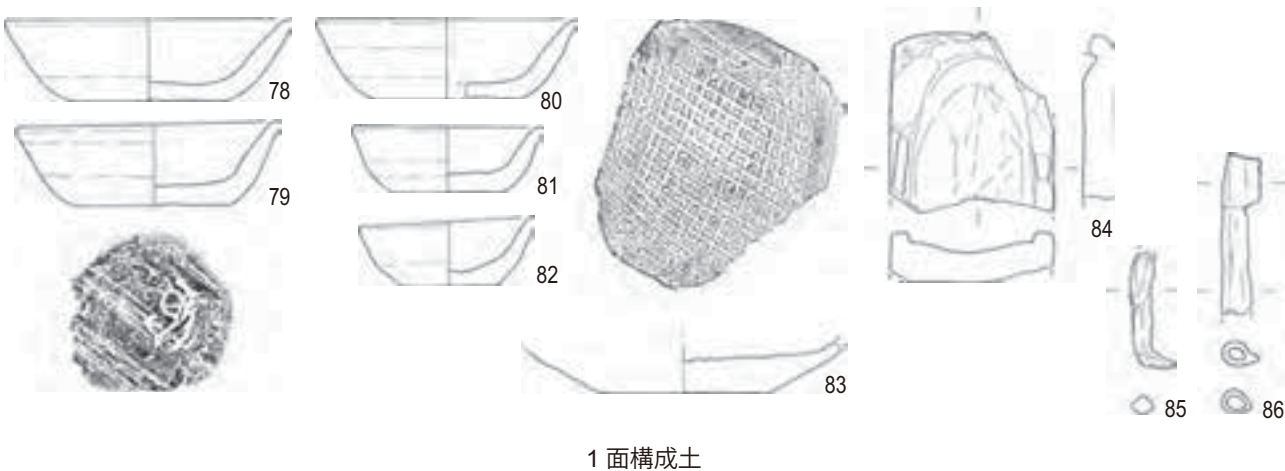
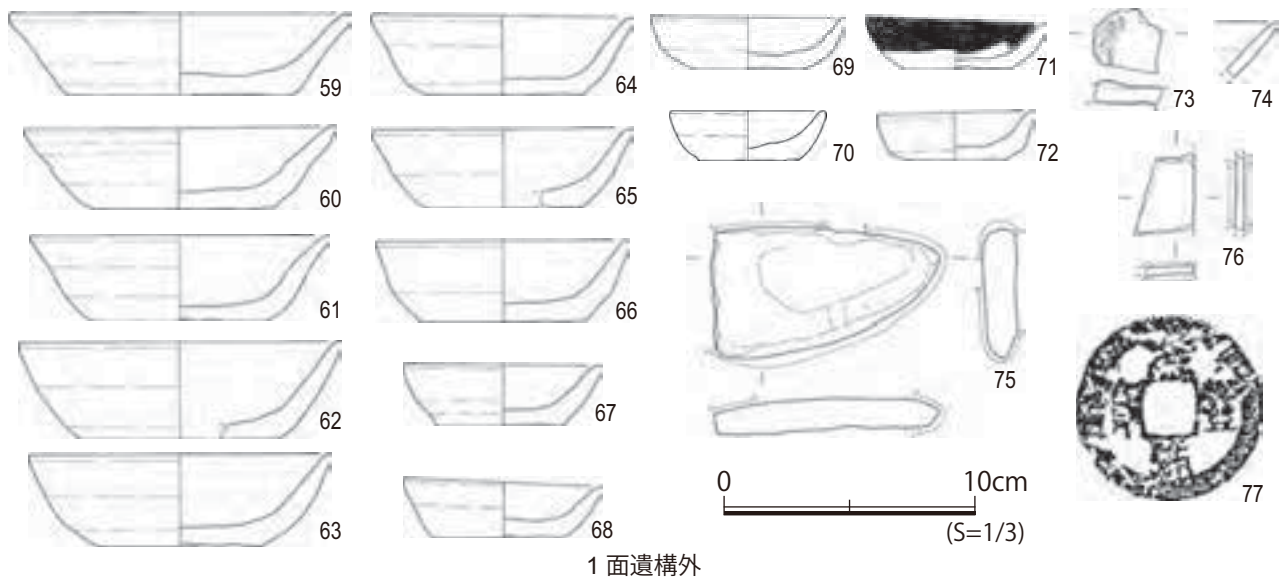


図8 第1面遺構出土遺物

溝状遺構

遺構 26 (図6)

西南から東北へ走るやや広い溝。隣接地域1面の溝(遺構14)につながると推定される。ただし、調査区南部で溝の幅が広がっており、流路が分岐している可能性がある。遺構覆土：暗褐色粘質土。縮まりあり。泥岩粒やや少。炭化物少。かわらけやや少。中央から南端までは大型の泥岩塊や礎石かと思われる凝灰質砂岩などが大量に混入しており、溝を埋める際に廃棄したものと思われる。

出土遺物(図7)：26～42までは上層出土。26は中型かわらけ。27～32は小型かわらけ。33は青磁鎚蓮弁文碗。34、35は常滑甕。36は常滑片口鉢Ⅱ類。37は瀬戸の器種不明。38、39は瀬戸卸皿、40は瀬戸折縁中皿。41はかわらけの加工品。42は石製の白か。

43～58は下層出土。43は白磁口禿皿。44は常滑片口鉢Ⅱ類。45は瀬戸折縁深皿。46は小壺か。47は瓦器質土風炉。48は瓦器質の香炉。49は瓦器質火鉢。50は土器質火鉢。51は軒平瓦。52は鉄釘。53は銅銭。54は石製の白か。55～58は一括出土品。55は中型かわらけ。56～57は小型かわらけ。58は常滑転用品。

遺構 27 (図 6)

調査区西側を西南―東北方向に走る溝。小規模なものである。南側は調査区外にまで伸びているが、北側は近現代の掘り込みで削平されているため途中から不明になる。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒塊、炭化物、かわらけ片いずれも少。橙色土のブロックが多量に混入。出土遺物 (図 7)：25 はかわらけ。

1 面遺構外出土遺物 (図 8)

1 面の遺構面精査時に面上で検出した遺物。59 は大型かわらけ。60～66 は中型かわらけ。67～72 は小型かわらけ。73 は青磁皿。74 は瀬戸の鉛縁小皿。75 は常滑の転用品。76 は砥石。77 は銅銭。

1 面構成土出土遺物 (図 8)

1 面より 1a 面検出までの間の堆積より出土した遺物。78～82 はかわらけ。83 は瀬戸卸皿。84 は硯。85 は鉄釘。86 は加工骨。

第 2 節 第 1a 面の遺構・遺物

第 1a 面はおおよそ海拔 21.95～22.04 m である。上面の遺構により 1/3 近くは削平されている。1 面の炭層を除去した状態で、暗褐色粘質土を主とした地業層であり、泥岩粒を多く含む。遺構はピット 9 穴・土坑 10 基、石組遺構 2 基である。掘立柱建物址の存在は明確ではない。遺構の切りあいより第 1a 面で発見した遺構は、少なくとも 4 時期の時間差があると考えられる。遺物は、かわらけ・白かわらけ・青磁・青白磁・常滑・瀬戸・火鉢・瓦・鉄製品・石製品・銅銭が出土している。

遺構	色調土	レ上端 レベル	最大上端 径	レ底面 レベル	遺構	色調土	レ上端 レベル	最大上端 径	レ底面 レベル	遺構	色調土	レ上端 レベル	最大上端 径	レ底面 レベル	遺構	色調土	レ上端 レベル	最大上端 径	レ底面 レベル
ピット					33	暗褐色	22	0.41	21.84	38	暗褐色	22.09	0.28	21.81	44	黒灰色	22.06	1.56	21.94
28	黒褐色	22.06	0.37	22	34	暗褐色	22.05	0.33	22.01	39	黒褐色	22.08	0.76	21.99	45	暗褐色	22.04	0.71	21.95
29	暗褐色	22.06	0.31	22.01	35	黒褐色	22.07	0.21	21.99	40	黒褐色	22.1	0.85	22.01	46	暗褐色	22.03	0.58	21.8
30	暗褐色	22.03	0.34	21.88	36	暗褐色	22.07	0.43	21.96	41		22.1	0.84	21.91	その他				
31	黒灰色	22.02	0.49	21.91	土坑					42	黒褐色	22.06	0.7	21.98	47	暗褐色	22.04	1.16	21.80
32	暗褐色	22.03	0.5	21.89	37	黒灰色	21.95	0.78	21.87	43	黒灰色	22.03	0.67	21.89	48	暗褐色	22.00	3.14	-

ピット

円形、楕円形を呈する。覆土は暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩粒やや少。炭化物多く、かわらけ片やや多い (遺構 29、30、32、33、34、36)。また黒褐色粘質土は締まりややあり。泥岩粒やや少。炭化物多く、かわらけ片少 (遺構 28、31、35) で、遺構 28 では橙色土のブロックが多く含まれる。いずれのピットからも復元可能な遺物は出土せず。

土坑

隅丸方形を呈する土坑が多い。覆土は炭化物を多く含む黒褐色粘質土が主体である。図示し得る遺物が出土していない土坑のうち、遺構 37 は黒灰色粘質土で炭化物主体。締まり弱く、泥岩粒少。遺構 38 は暗褐色粘質土で締まりややあり。混入物は少量。

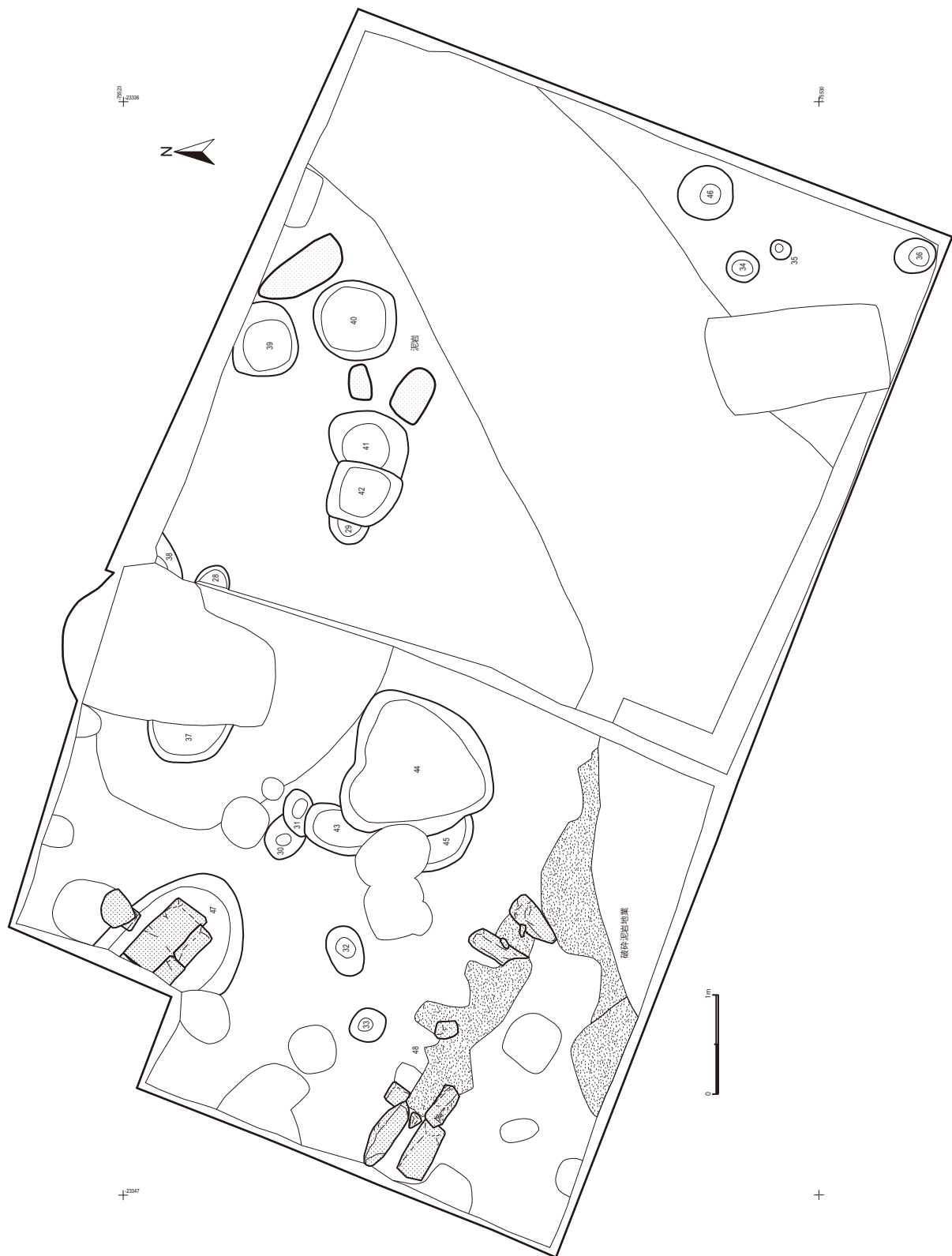


図9 第1a面遺構土出土遺物

遺構 39 (図 9)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：黒褐色粘質土。締まりあり。炭主体で泥岩粒やや多い。かわらけ片やや多い。出土遺物 (図 10)：1 は瓦器質火鉢。

遺構 40 (図 9)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：黒褐色粘質土。締まりあり。炭主体で泥岩粒やや少。茶ブロックやや多い。かわらけ片やや少。出土遺物（図10）：2は瀬戸折縁中皿。

遺構 42（図 9）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：遺構 40 に同じ。遺構 29 に切られる。出土遺物（図10）：3は瓦器質火鉢。

遺構 43（図 9）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：黒灰色粘質土。締まりややあり。炭主体で泥岩粒やや少。かわらけ片少。出土遺物（図10）：4はかわらけ。

遺構 44（図 9）

不整形を呈する土坑。遺構覆土：黒灰色粘質土。締まりややあり。炭主体で泥岩粒やや少。。かわらけ片やや少。出土遺物（図10）：5～10はかわらけ。

遺構 45（図 9）

円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒、泥岩塊、炭化物多い。かわらけ片やや多い。出土遺物（図10）：11はかわらけ。

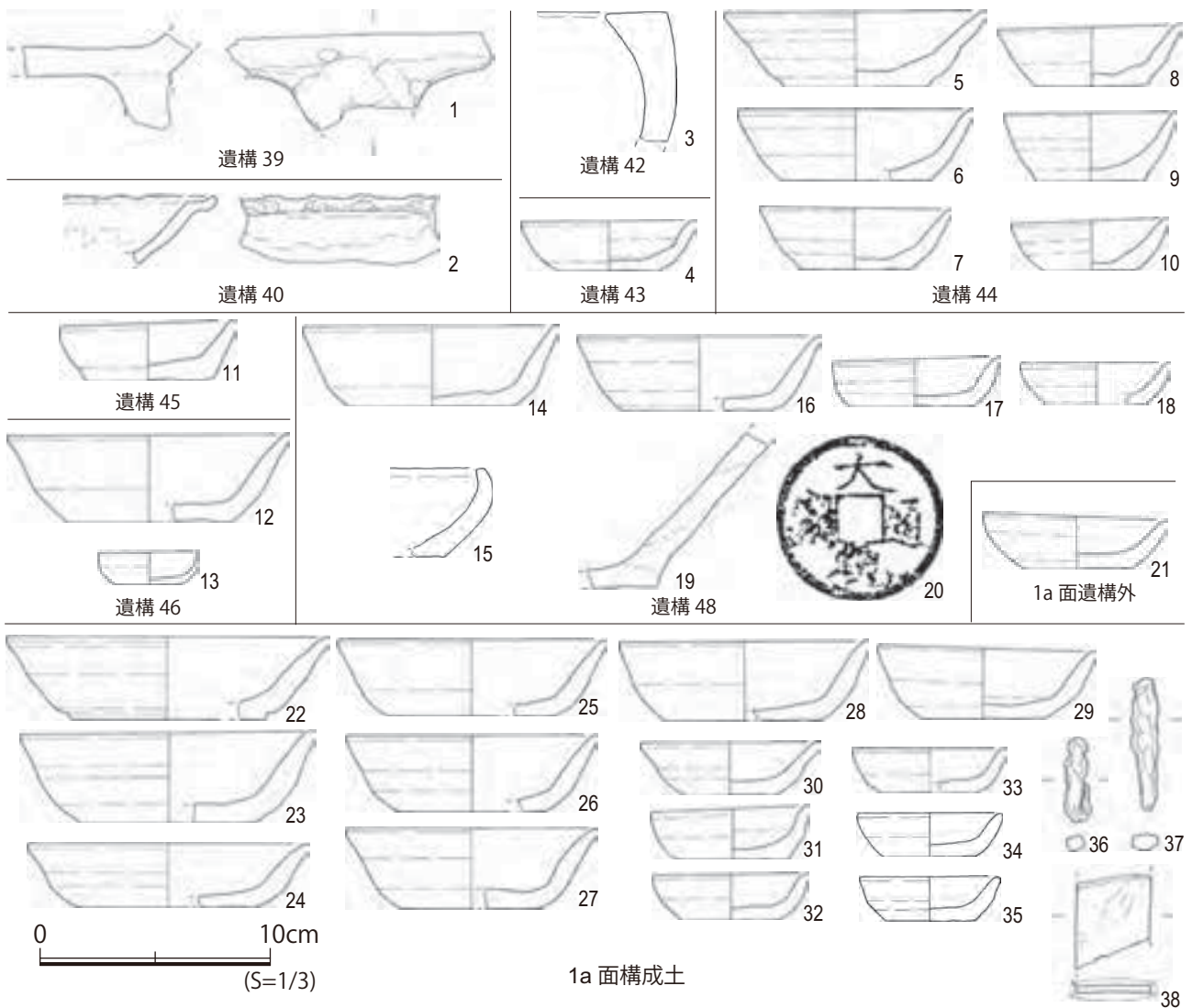


図10 第1a面土出土遺物

遺構 46 (図 9)

円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。炭主体で泥岩粒やや多い。かわらけ片やや少。出土遺物 (図 10)：12 はかわらけ。13 は瀬戸入子。

石列遺構

遺構 48 (図 9)

泥岩による遺構。用途不明。出土遺物 (図 10)：14、15 は泥岩列の上面より出土。14 はかわらけ。15 は瓦器質香炉。16～20 は石列下部より出土。16～18 はかわらけ。19 は常滑片口鉢Ⅱ類。20 は銅銭。

1a 面遺構外出土遺物 (図 10)

1a 面の遺構面精査時に炭層の直上で検出した遺物。21 はかわらけ。

1a 面構成土出土遺物 (図 10)

1a 面より 2 面検出までの間の堆積より出土した遺物。22～24 は大型かわらけ。25～28 は中型かわらけ。29～35 は小型かわらけ。36～37 は鉄釘。38 は砥石。

第 3 節 第 2 面の遺構・遺物

第 2 面はおよそ海拔 21.94～22.0 m である。遺構はピット 45 穴・土坑 16 基、溝 1 条を確認した。掘立柱建物址の存在が推定できるが明確なプランは復元できなかった。遺構の切りあいより第 2 面で発見した遺構は、少なくとも 4 時期の時間差があると考えられる。遺物は、かわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・瀬戸・火鉢・瓦・鉄製品・石製品・銅銭・自然遺物が出土している。

遺構	色調	覆土	レベル	上端	最大上端	レベル	底面
ピット							
49	暗褐色		21.96	0.44	21.63		
50	暗褐色		22.01	0.43	21.71		
51	暗褐色		21.98	0.42	21.75		
52	暗褐色		21.96	0.25	21.7		
53	暗褐色		21.96	0.41	21.7		
54	暗褐色		21.95	0.49	21.73		
55	暗褐色		21.95	0.5	21.75		
56	暗褐色		21.97	0.45	21.54		
57	黒褐色		21.95	0.27	21.84		
58	暗褐色		21.95	0.38	21.79		
59							
60	暗褐色		21.98	0.34	21.95		
61	暗褐色		22.01	0.36	21.93		
62	暗褐色		21.97	0.32	21.89		
63	暗褐色		22.03	0.42	21.86		
64			22.01	0.31	21.59		
65	暗褐色		21.98	0.42	21.8		
66	暗褐色		21.93	0.52	21.82		
67	暗褐色		21.95	0.55	21.85		
68							
69	暗褐色		21.95	0.49	21.86		
70	暗褐色		21.93	0.5	21.84		
71							
72			21.91	0.67	21.73		
73	暗褐色		22.03	0.46	21.84		
74	暗褐色		22.03	0.34	21.95		
75	暗褐色		22.03	0.38	21.82		
76	暗褐色		22.02	0.44	21.74		
77	暗褐色		21.99	0.34	21.87		
78	黒褐色		21.98	0.56	21.73		
79	暗褐色		21.97	0.47	21.75		
80	暗褐色		21.95	0.43	21.82		
81	暗褐色		21.95	0.38	21.68		
82	暗褐色		21.95	0.37	21.82		
83	暗褐色		21.95	0.4	21.83		
84	暗褐色		21.92	0.34	21.68		
85	暗褐色		21.96	0.41	21.83		
86	暗褐色		21.95	0.26	21.84		
87	暗褐色		21.96	0.39	21.7		
88	暗褐色		21.96	0.4	21.82		
89	暗褐色		21.96	0.35	21.72		
90	暗褐色		21.95	0.51	21.52		
91	暗褐色		21.92	0.39	21.74		
92	暗褐色		21.91	0.29	21.79		
土坑							
93			21.87	0.21	21.56		
94	暗褐色		21.95	1.1	21.55		
95	暗褐色		21.98	1.03	21.66		
96	暗褐色		22.01	0.63	21.77		
97	暗褐色		22	0.8	21.75		
98	暗褐色		22	0.75	21.82		
99			22.04	0.98	21.82		
100	暗褐色		21.99	0.58	21.77		
101	黒褐色		22.01	0.6	21.75		
102			21.92	0.61	21.85		
103	暗褐色		0.83	21.73			
104	暗褐色		22	1.4	21.35		
105	黒褐色		21.97	0.49	21.53		
106			21.94	0.68	21.25		
107	暗灰色		21.92	1.06	21.64		
108	暗褐色		21.91	0.54	21.54		
109	暗褐色		21.9	0.34	21.59		
溝							
110	暗灰色		22.04	幅 0.41	21.86		

ピット

円形、隅丸方形を呈する。覆土は基本的に暗褐色粘質土である。泥岩粒、炭化物、かわらけ片などの混入物は少量含まれる。締まりがよい (遺構 49、55、58、60、65、74、79、80、82、88～89、90)。締まりややあり (遺構 51～54、63、66、67、69、70、72、73、77、81、83～86、91、92)。締まり弱く、

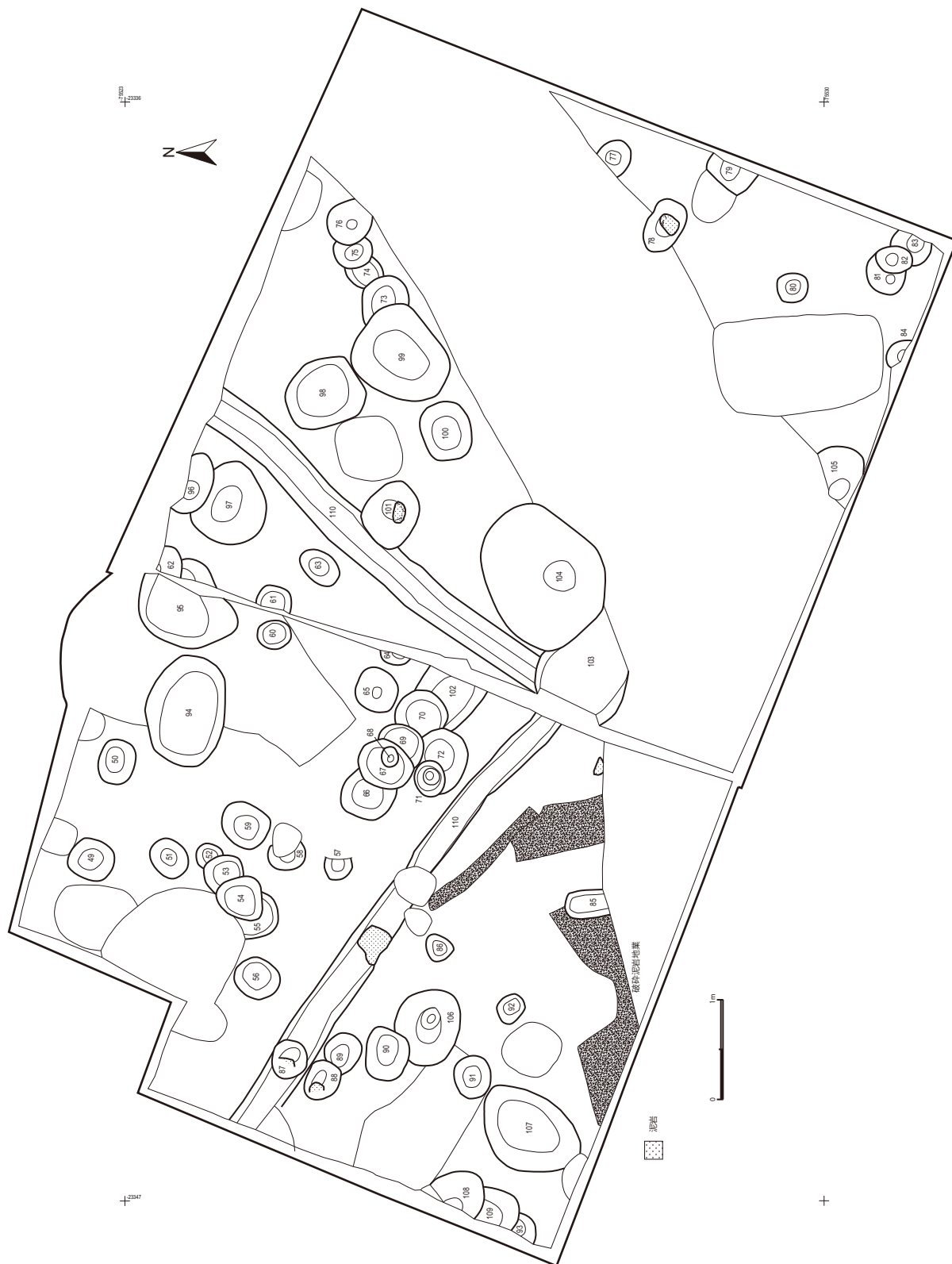


図 11 第 2 面全測図 (S=1/60)

炭化物多い (遺構 62)。

遺構 50 (図 11)

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩粒、炭化物やや少。かわ

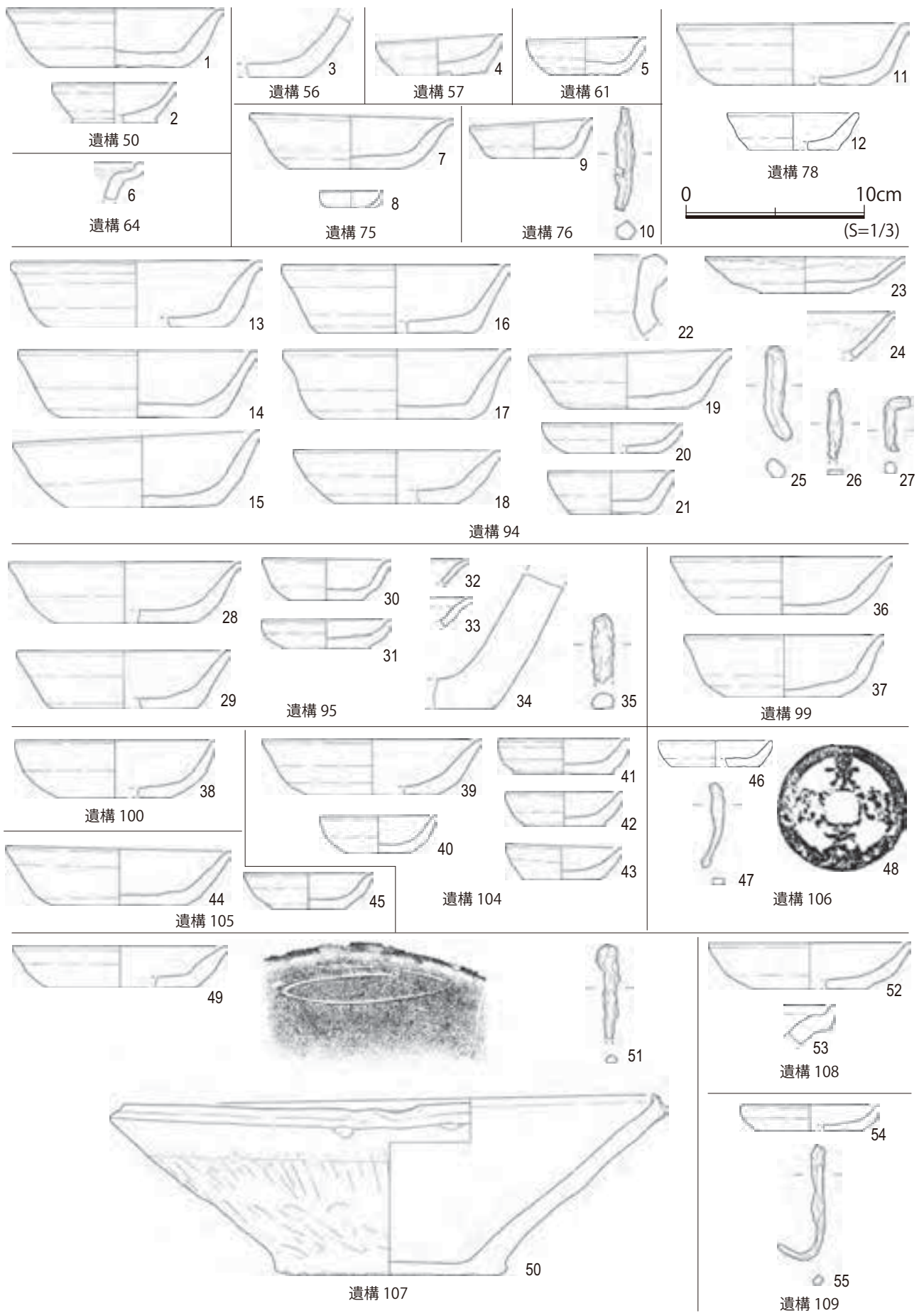


图 12 第 2 面個別遺構出土遺物

らけ片少。出土遺物（図 12）：1～2 はかわらけ。

遺構 56（図 11）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒やや少。炭化物少。かわらけやや片少。出土遺物（図 12）：3 は産地不明陶器。

遺構 57（図 11）

円形を呈するピット。遺構覆土：黒褐色粘質土。締まりややあり。泥岩粒少。炭化物多く、かわらけ片少。出土遺物（図 12）：4 はかわらけ。

遺構 61（図 11）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩粒塊やや多い。炭化物、かわらけ片少。出土遺物（図 12）：5 はかわらけ。

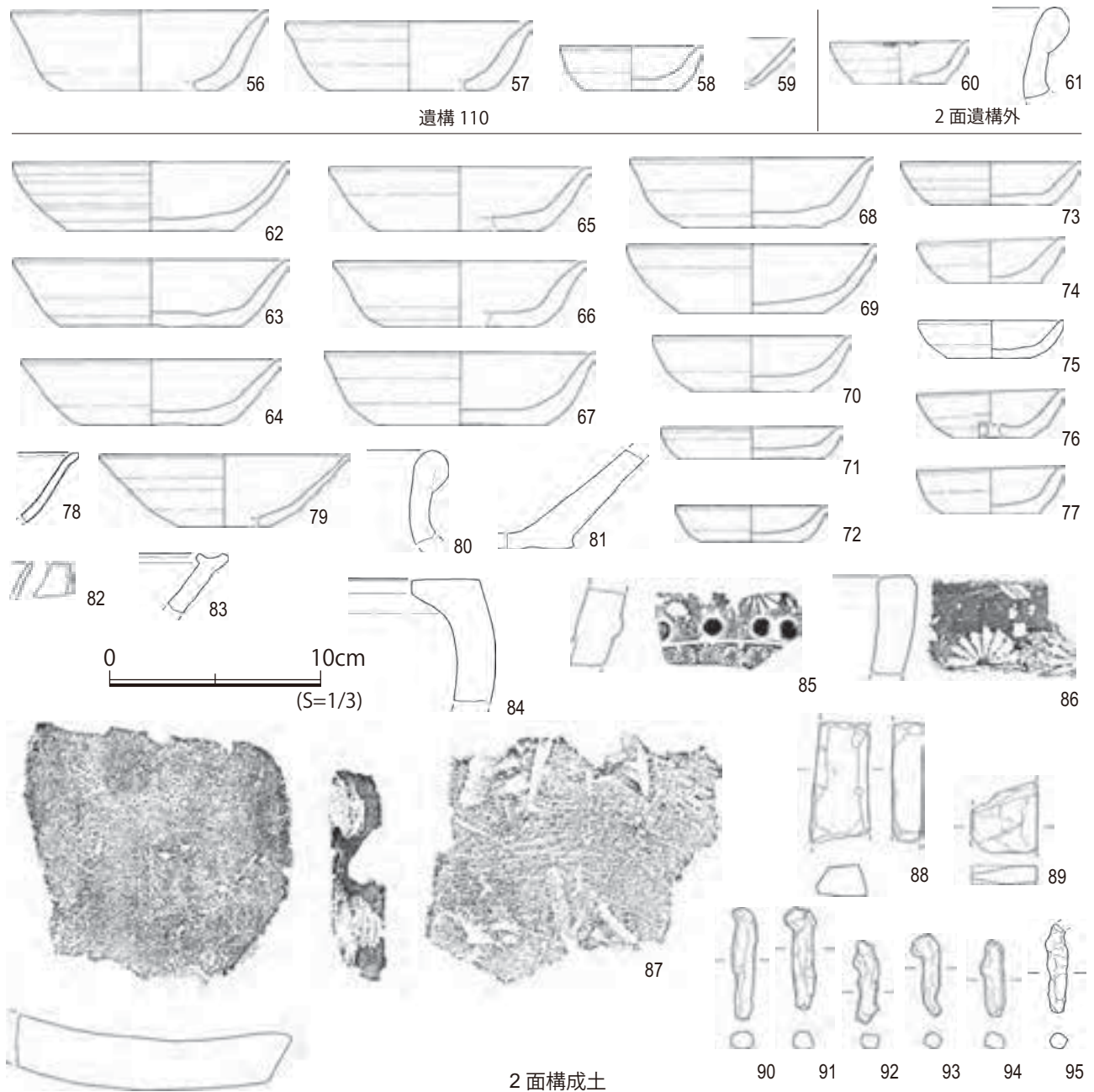


図 13 第 2 面出土遺物

遺構 64 (図 11)

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。出土遺物 (図 12)：6 は瀬戸折縁深皿。

遺構 75 (図 11)

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片やや多く含む。遺構 76 に切られ、74 を切る。出土遺物 (図 12)：7 はかわらけ。8 は瀬戸入子。

遺構 76 (図 11)

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒やや多い。炭化物やや多い。かわらけ少。遺構 27 を切る。出土遺物 (図 12)：9 はかわらけ。10 は鉄釘。

遺構 78 (図 11)

隅丸長方形を呈するピット。遺構覆土：黒褐色粘質土。締まりややあり。泥岩粒やや多い。炭化物多い。かわらけ片少。出土遺物 (図 12)：11～12 はかわらけ。

土坑

隅丸方形、楕円形を呈する。遺構覆土は暗褐色粘質土を基本とする。締まりありで、泥岩粒、炭化物、かわらけ片などの混入物は少量 (遺構 96～98)。

遺構 94 (図 11)

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩塊粒やや多い。炭化物やや少だが、上に炭層が乗る。かわらけ片少。出土遺物 (図 12)：13～21 はかわらけ。22 は産地不明の壺類。23～24 は瀬戸の縁釉小皿。25～27 は鉄釘。

遺構 95 (図 11)

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩塊粒やや多い。炭化物やや少。かわらけ片少。中央に 1 層炭層を挟む。出土遺物 (図 12)：28～31 はかわらけ。32 は白磁口元皿。33 は瀬戸縁釉小皿。34 は瓦器質火鉢。35 は鉄釘か。

遺構 99 (図 11)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。出土遺物 (図 12)：36～37 はかわらけ。

遺構 100 (図 11)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩塊やや少。炭化物少。かわらけ片やや多い。出土遺物 (図 12)：38 はかわらけ。

遺構 101 (図 11)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：上層は黒褐色粘質土で締まりやや弱い。炭化物主体で泥岩粒少。下層は暗褐色粘質土。締まりややあり。混入物少量で、底に大型泥岩。復元可能な遺物出土せず。

遺構 103 (図 11)

楕円形を呈する土坑か。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土で締まりややあり。炭化物多く、泥岩塊、かわらけやや多い。中層は黒褐色粘質土で締まりややあり。炭化物多く、泥岩塊、かわらけ片やや少。下層は暗褐色粘質土で締まりややあり。泥岩塊、炭化物、かわらけ片少量。復元可能な遺物出土せず。

遺構 104 (図 11)

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土で締まりややあり。泥岩粒、炭化物やや多い。かわらけ片やや少。中層は黒褐色粘質土で締まりややあり。炭化物の多い炭層で、泥岩塊、かわらけ片

少。下層は暗褐色粘質土で締まりややあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量。出土遺物（図 12）：39～43 はかわらけ。

遺構 105（図 11）

円形を呈する土坑。遺構覆土：黒褐色粘質土。締まりあり。炭化物多量で、泥岩粒、かわらけ片やや多い。出土遺物（図 12）：45 はかわらけ。

遺構 106（図 11）

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。出土遺物（図 12）：46 はかわらけ。47 は鉄釘。48 は銅銭。

遺構 107（図 11）

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：上層は暗灰色粘質土で締まりあり。泥岩粒、炭化物少。かわらけやや多い。下層は暗褐色粘質土で締まりややあり。泥岩粒やや少。炭化物、かわらけ少。出土遺物（図 12）：49 はかわらけ。50 は常滑片口鉢Ⅱ類で内面に刻線あり。51 は鉄釘。

遺構 108（図 11）

円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片やや少。遺構 109 を切る。出土遺物（図 12）：52 はかわらけ。53 は常滑甕の口縁破片。

遺構 109（図 11）

円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片少。遺構 108 に切られる。出土遺物（図 12）：54 はかわらけ。55 は鉄釘。

溝状遺構

遺構 110（図 11）

調査区西側で検出。浅く小規模な溝で、方形に区画するためのものか。調査区外に延びるため、全体の規模などは不明。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩塊やや多く、炭化物、かわらけ少。出土遺物（図 12）：56～58 はかわらけ。59 は白かわらけ。

2面遺構外出土遺物（図 12）

2面の遺構面精査時に炭層の直上で検出した遺物。60 はかわらけ。61 は産地不明の壺類。

2面構成土出土遺物（図 12）

2面より3面検出までの間の堆積より出土した遺物。62～63 は大型かわらけ、64～69 は中型かわらけ、70～77 は小型かわらけ。78 は青磁碗。79 は山茶碗。80 は産地不明の壺類。81 は常滑片口鉢Ⅱ類。82 は瀬戸入子、83 は瀬戸摺鉢。84～86 は瓦器質火鉢。87 は平瓦。88～89 は砥石。90～95 は鉄釘。

第4節 第3面の遺構・遺物

第3面はおよそ海拔 21.76～21.84 mである。遺構はピット 75 穴・土坑 19 基、井戸 1 基、石組遺構 1 基である。掘立柱建物址の存在が推定できるが明確なプランは復元できなかった。遺構の切りあいより第3面で発見した遺構は、少なくとも4時期の時間差があると考えられる。遺物は、かわらけ・青磁・

白磁・青白磁・常滑・瀬戸・火鉢・瓦・鉄製品・石製品・銭・自然遺物が出土している。

ピット

円形、隅丸方形を呈する。調査区北側は土坑が多く、ピットはやや少ない。覆土は暗褐色粘質土がほとんどで、締まりあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片などは少量（遺構 118、121～123、130、141、143、146、160、162、172、173、175～177、180、181、183）。141 は大型泥岩が入る。146 は炭化物多い。締まりややあり（126、128、129、133、147～149、151、152、154、158、159、161、164～166、170、178、185）。混入物はいずれも少量だが、133、151、159 は炭化物が多い。黒褐色粘質土は締まりあり、混入物少量（遺構 116、167、181、182）。そのほか遺構 135 は暗茶褐色粘質土で締まりややあり。炭化物多い。遺構 138 は暗灰色粘質土で締まりややあり。炭化物多く、他は少量である。

遺構	色覆土	レ上端	最大上端	レ底面	遺構	色覆土	レ上端	最大上端	レ底面	遺構	色覆土	レ上端	最大上端	レ底面	遺構	色覆土	レ上端	最大上端	レ底面
ピット					136		21.89	0.48	21.78	161	暗褐色	21.81	0.36	21.65	186		21.81	0.82	21.57
112	暗褐色	21.83	0.47	21.57	137	暗褐色	21.9	0.45	21.66	162	暗褐色	21.81	0.27	21.61	187				
113		21.78	0.3	21.77	138	暗灰色	21.9	0.42	21.8	163	黒褐色	21.81	0.3	21.58	188	暗褐色	21.8	0.8	21.5
114		21.48	0.19	21.34	139		21.87	0.42	21.8	164	暗褐色	21.81	0.47	21.55	土坑				
115	暗褐色	21.8	0.49	21.37	140		21.87	0.55	21.56	165	暗褐色	21.81	0.53	21.5	189		21.76	0.59	21.47
116	黒褐色	21.79	0.38	21.74	141	暗褐色	21.84	0.58	21.66	166	暗褐色	21.82	0.53	21.72	190		21.77	0.97	21.49
117	暗褐色	21.66	0.3	21.63	142	暗褐色	21.82	0.45	21.56	167	黒褐色	21.83	0.62	21.5	191	暗褐色	21.77	1.1	21.44
118	暗褐色	21.83	0.51	21.69	143	暗褐色	21.83	0.32	21.73	168	暗褐色	21.82	0.46	21.58	192	暗褐色	21.77	0.62	21.64
119		21.68	0.25	21.57	144		欠番			169		21.79	0.54	21.61	193	黒褐色	21.81	1.52	21.7
120		21.8	0.55	21.6	145	暗褐色	21.86	0.27	21.68	170	暗褐色	21.8	0.4	21.54	194		21.9	0.75	21.67
121	暗褐色	21.89	0.56	21.76	146	暗褐色	21.85	0.43	21.73	171	暗褐色	21.81	0.44	21.55	195		21.89	0.59	21.62
122	暗褐色	21.79	0.4	21.65	147	暗褐色	21.84	0.57	21.61	172	暗褐色	21.81	0.4	21.58	196		21.91	0.46	-
123	暗褐色	21.85	0.4	21.35	148	暗褐色	21.87	0.47	21.38	173	暗褐色	21.84	0.44	21.72	197	暗褐粘砂	21.84	0.86	21.6
124	暗褐色	21.84	0.3	21.53	149	暗褐色	21.85	0.5	21.65	174	暗褐色	21.83	0.49	21.46	198				
125	暗褐色	21.84	0.35	21.41	150	暗褐色	21.81	0.53	21.44	175	暗褐色	21.84	0.45	21.59	199	暗褐色	21.9	0.85	21.61
126	暗褐色	21.84	0.37	21.58	151	暗褐色	21.82	0.32	21.6	176	暗褐色	21.85	0.42	21.59	200	暗褐色	21.83	0.87	21.55
127	暗褐色	21.86	0.35	21.73	152	暗褐色	21.86	0.35	21.55	177	暗褐色	21.85	0.48	21.57	201	暗褐色	21.86	0.97	21.63
128	暗褐色	21.86	0.31	21.63	153		21.86	0.38	21.36	178	暗褐色	21.84	0.37	21.59	202	暗褐色	21.84	0.51	21.64
129	暗褐色	21.87	0.49	21.57	154	暗褐色	21.8	0.31	21.34	179	黒褐色	21.85	0.35	21.79	203	暗褐色	21.88	0.61	21.61
130	暗褐色	21.8	0.29	21.62	155		21.87	0.34	21.65	180	暗褐色	21.82	0.2	21.68	204	暗褐色	21.89	0.8	21.5
131		21.87	0.38	21.79	156		21.83	0.25	21.3	181	暗褐色	21.84	0.31	21.57	205	暗褐色	21.81	0.69	21.73
132	暗褐色	21.86	0.58	21.71	157	暗褐色	21.84	0.2	21.33	182	黒褐色	21.82	0.33	21.43	206		21.6	2.88	-
133	暗褐色	21.86	0.36	21.59	158	暗褐色	21.83	0.43	21.57	183	黒褐色	21.78	0.36	21.5	207		21.76	1.63	21.01
134	暗褐色	21.86	0.3	21.5	159	暗褐色	21.81	0.4	21.6	184	暗褐色	21.82	0.56	21.61					
135	暗茶褐色	21.89	0.47	21.62	160	暗褐色	21.81	0.31	21.69	185	暗褐色	21.78	0.53	21.63					

遺構 112 (図 14)

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒やや少。炭化物、かわらけ片やや多い。出土遺物（図 15）：1 はかわらけ。

遺構 112 (図 14)

切り合いにより平面形は不明。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。出土遺物（図 15）：2 はかわらけ。3 は常滑転用品。

遺構 115 (図 14)

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量。出土遺物（図 15）：4～5 はかわらけ。6 は青白磁の把手で器種は不明。7 は鉄釘。

遺構 117 (図 14)

切り合いにより平面形は不明。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩塊粒、炭化物、かわらけ片少。出土遺物（図 15）：8 は鉄釘。

遺構 120 (図 14)

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。出土遺物（図15）：9～10は鉄釘。
遺構 124（図14）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩塊粒、炭化物、かわらけ片少。
出土遺物（図15）：11は鉄釘。

遺構 125（図14）



図14 第3面全測図 (S=1/60)

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩粒やや多い。炭化物、かわらけ片少。出土遺物（図 15）：12 は砥石。

遺構 127（図 14）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒やや多い。炭化物、かわらけ片少。出土遺物（図 15）：13 は舶載陶器の甕。

遺構 132（図 14）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩塊少粒やや多く、炭化物、かわらけ片少。出土遺物（図 15）：14 はかわらけ。

遺構 134（図 14）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。全体的に炭混入。泥岩粒、かわらけ片少量。出土遺物（図 15）：15 はかわらけ。

遺構 137（図 14）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩塊やや多く、炭化物、かわらけ片少。出土遺物（図 15）：16 は白磁の皿。

遺構 142（図 14）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒やや少。炭化物、かわらけ片少。大型泥岩塊入。出土遺物（図 15）：17 は銅銭。

遺構 145（図 14）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒やや少。炭化物少。かわらけ片やや多い。遺構 146 に切られる。出土遺物（図 15）：18 はかわらけ。

遺構 150（図 14）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。炭化物やや多い。泥岩粒、かわらけ片少。出土遺物（図 15）：19 はかわらけ。

遺構 156（図 14）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。炭化物多い。泥岩粒、かわらけ片少。出土遺物（図 15）：20 はかわらけ。

遺構 157（図 14）

円形を呈するピット。遺構覆土：遺構 156 に同じ。出土遺物（図 15）：21 はかわらけ。

遺構 163（図 14）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：黒褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片やや少。出土遺物（図 15）：22 は鉄釘。

遺構 168（図 14）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒多い。炭化物、かわらけ片少。出土遺物（図 15）：23 は滑石鍋。

遺構 171（図 14）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片少。出土遺物（図 15）：24～25 はかわらけ。

遺構 174（図 14）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒やや多い。炭化物、かわらけ片

少。出土遺物（図 15）：26 は瀬戸の折縁深皿。

遺構 179（図 14）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：黒褐色粘質土。締まりややあり。泥岩粒、炭化物や、かわらけ片少。出土遺物（図 15）：27～28 はかわらけ。

遺構 184（図 14）



図 15 第 3 面遺構出土遺物 (1)

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。出土遺物（図 15）：29 はかわらけ。
土坑

隅丸方形、楕円形を呈する。覆土は暗褐色粘質土が主体で、締まりあり。泥岩粒、炭化物はやや多く、かわらけ片少量含む（遺構 192、193、199、202、203）。また遺構 195 は規模が大きく、かわらけを大量に廃棄した土坑であり、井戸の上に位置しているため、井戸の廃棄との関連が推定できる。

遺構 186（図 14）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。出土遺物（図 15）：30 は丸瓦。

遺構 187（図 14）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩塊粒、炭化物、かわらけ片やや少。出土遺物（図 15）：31 は山茶碗。32 は砥石。

遺構 190（図 14）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒やや多く、大型泥岩塊が複数中央部に入れられる。炭化物、かわらけ片少。出土遺物（図 15）：33～35 はかわらけ。

遺構 195（図 14、16）

楕円形を呈する土坑。井戸の上を掘りこんでおり、大量のかわらけが廃棄されていた。遺構覆土：図参照。出土遺物（図 17、18）：かわらけは出土状態から 4 群のまとまりに大きく分けられる。

1 群、48～51。48 は中型、49～51 は小型。52 は大型かわらけ。

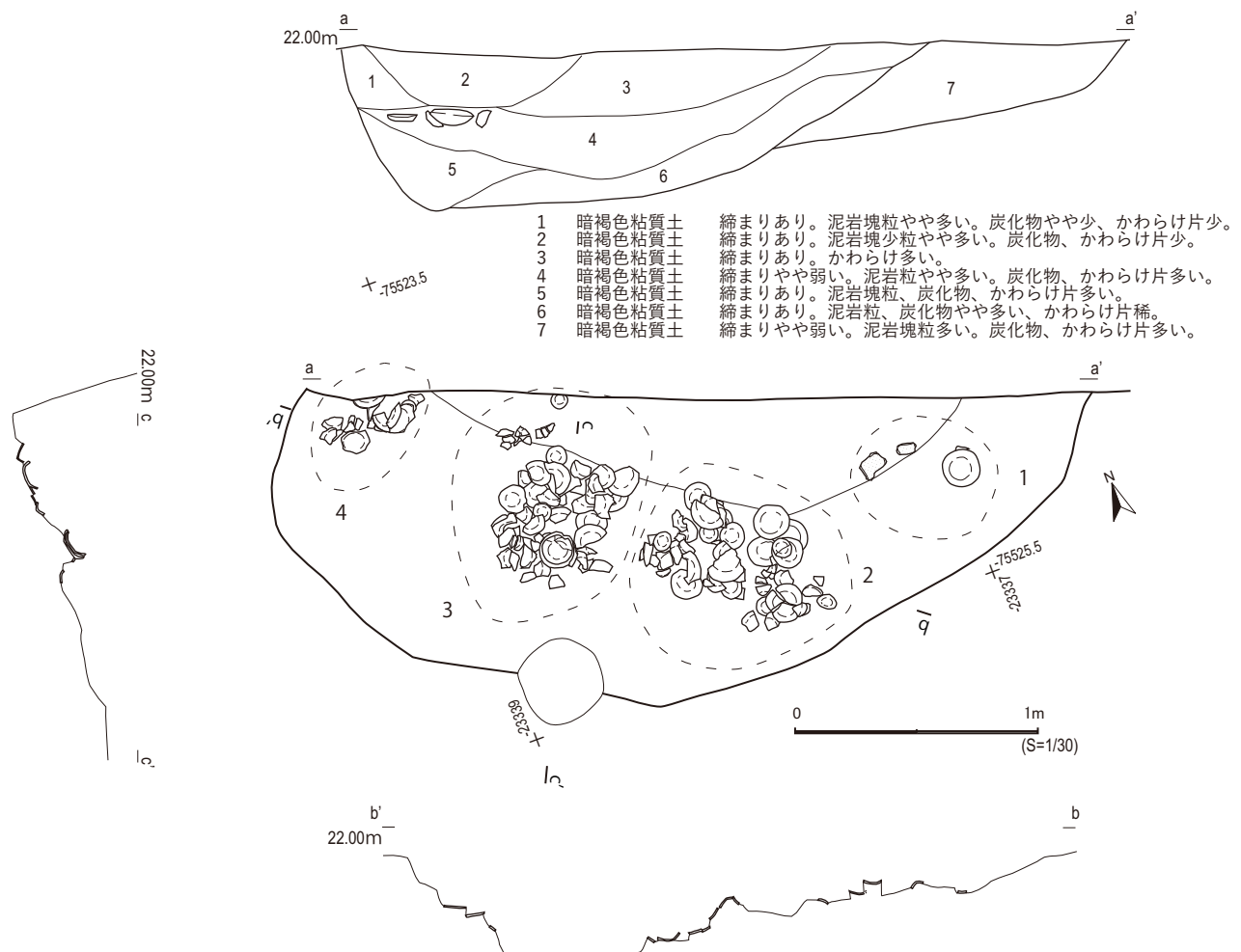


図 16 第 3 面遺構 195

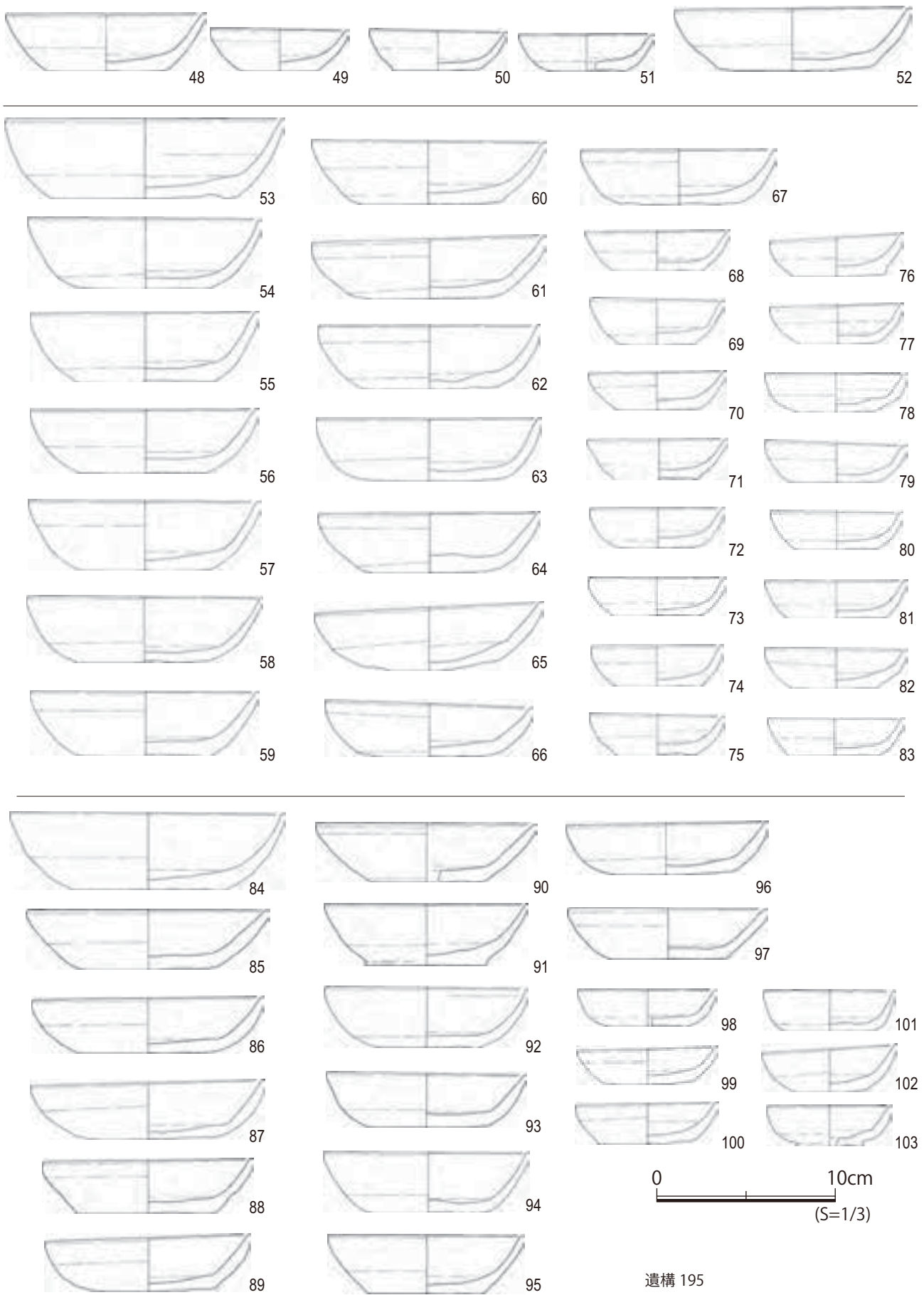


图 17 第 3 面遺構出土遺物 (2)

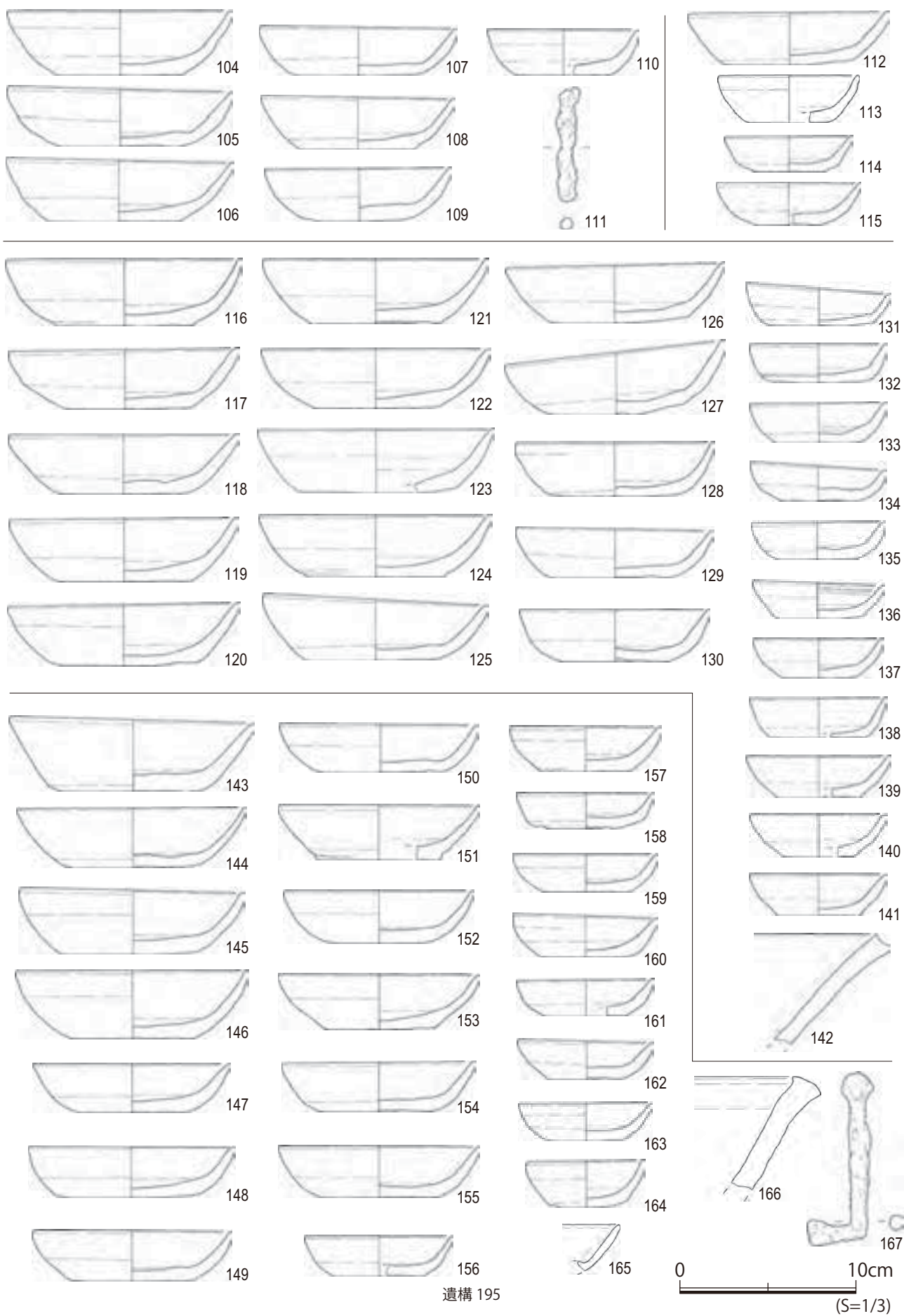


图 18 第 3 面遺構出土遺物 (3)

2群、53～83。53は特大、54から61は大型、62～67は中型。68～83は小型。

3群、84～103。84は特大、85～87は大型、88～97は中型、98～103は小型のかわらけ。104～111は4群の下層。104～106は大型、107～109は中型、110は小型のかわらけ。111は鉄釘。

4群、112～115。112は大型、その他は小型。116～142は北側壁面出土。116～127は大型、128～130は中型、131～141は小型かわらけで、142は常滑片口鉢Ⅱ類。

143～167は覆土一括。143～146は大型、147～155は中型、156～165は小型のかわらけ。166は土器質火鉢。167は鉄釘。

遺構 196 (図 14)

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘砂質土。締まりややあり。泥岩塊粒多い。炭化物、かわらけ片やや多い。出土遺物 (図 15)：36は白磁皿。37～38は鉄釘。

遺構 199 (図 14)

切り合いにより平面形不明。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩塊粒多い。炭化物多い。かわらけ片やや多い。出土遺物 (図 15)：39は青磁碗。40は常滑甕。41は鉄釘。

遺構 200 (図 14)

楕円形を呈する土坑か。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩塊粒多い。炭化物やや多い。かわらけ少。出土遺物 (図 15)：42～44はかわらけ。45は軒丸瓦。

遺構 203 (図 14)

円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片やや多い。

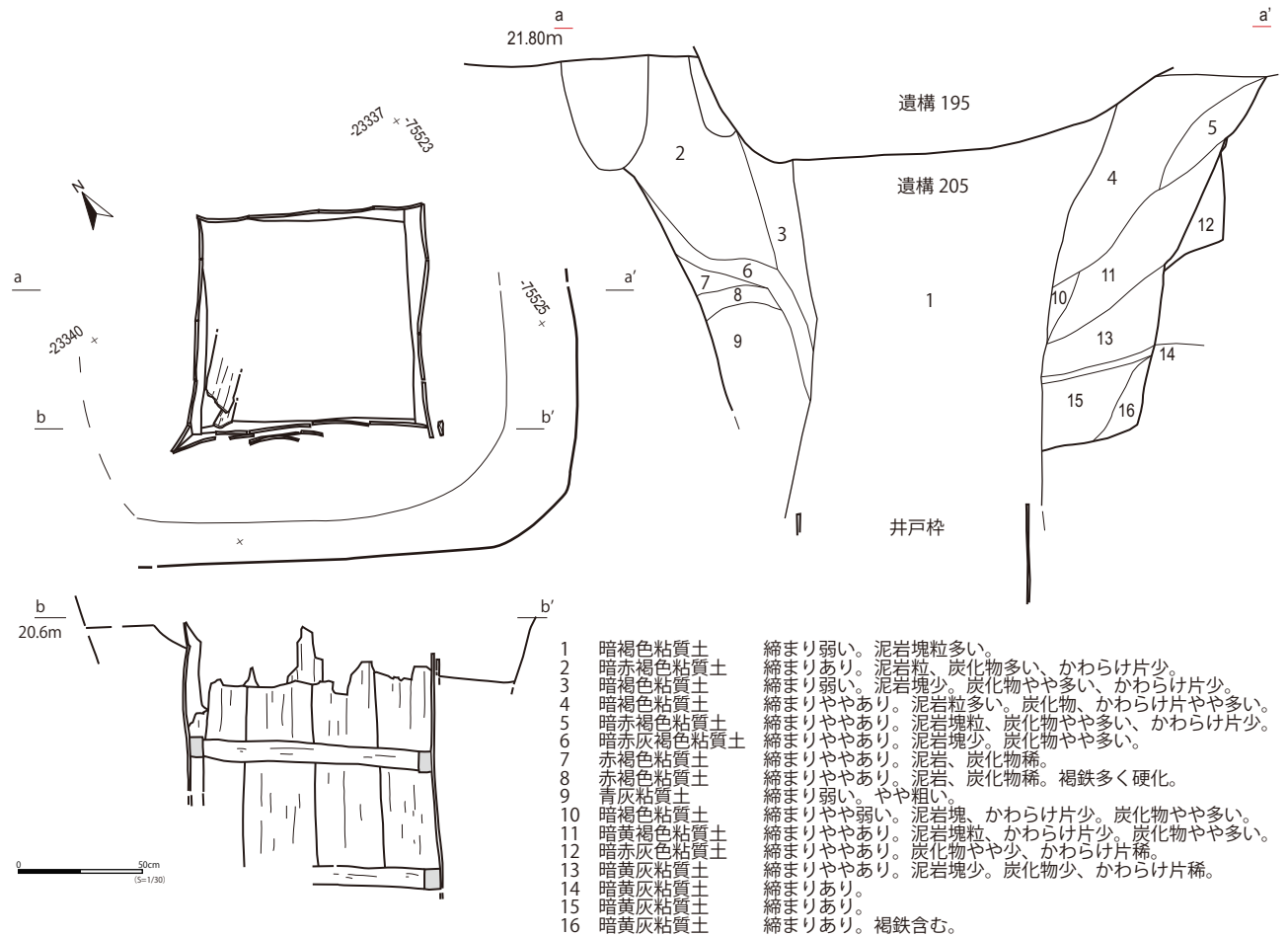
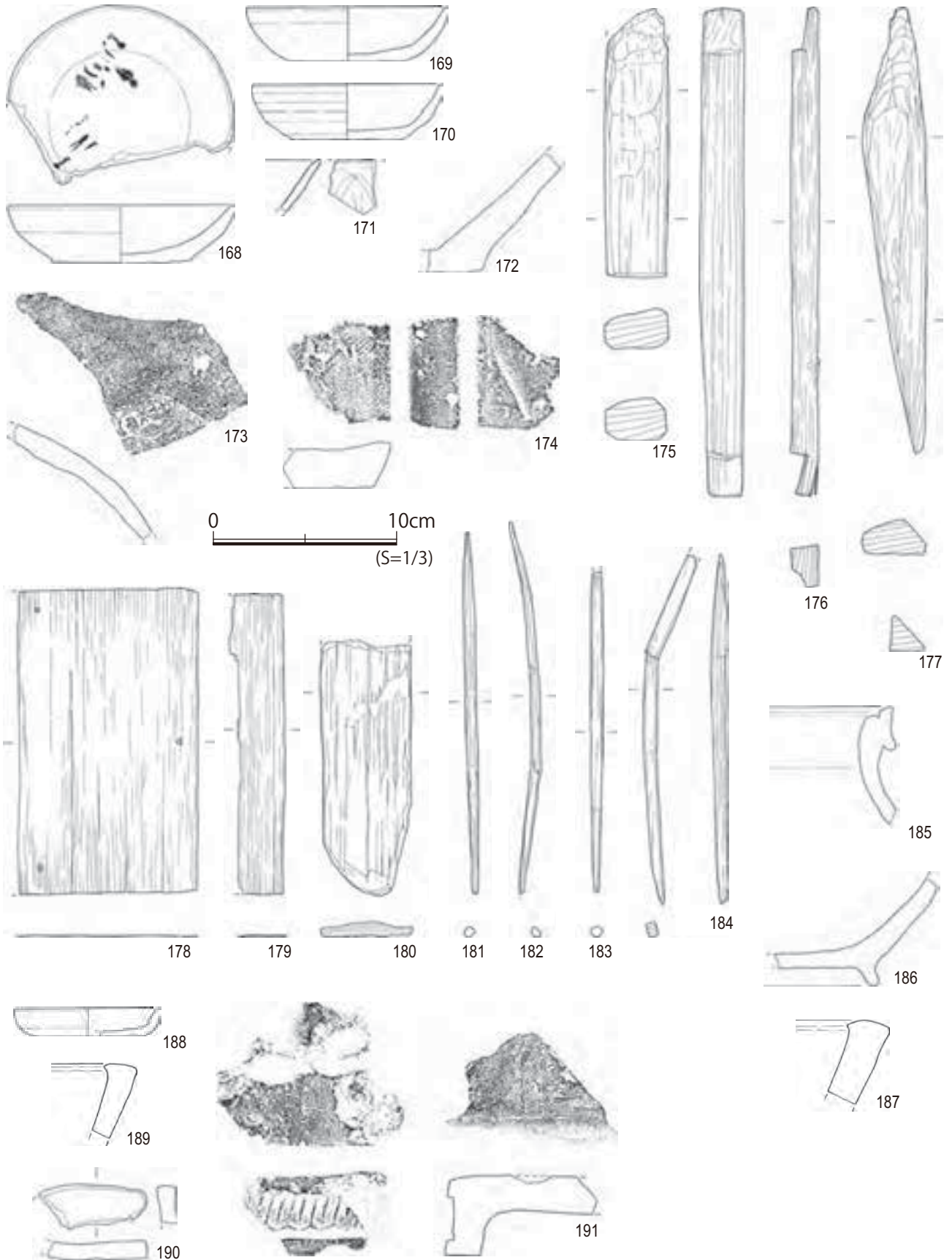


図 19 3面遺構 205

出土遺物 (図 15) : 46 は青磁碗。



遺構 205

図 20 第 3 面遺構出土遺物 (4)

遺構 204 (図 14)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片少。出土遺物 (図 15)：47 はかわらけ。

井戸

遺構 205 (図 14、19)

遺構 195 に切られる。底面に横棧立板組の木枠が残る。北側は調査区外にあたり、また非常に深いこと、さらに井戸枠内に多数の木材が絡み合って投げ込まれていたため、井戸底まで完掘することができな

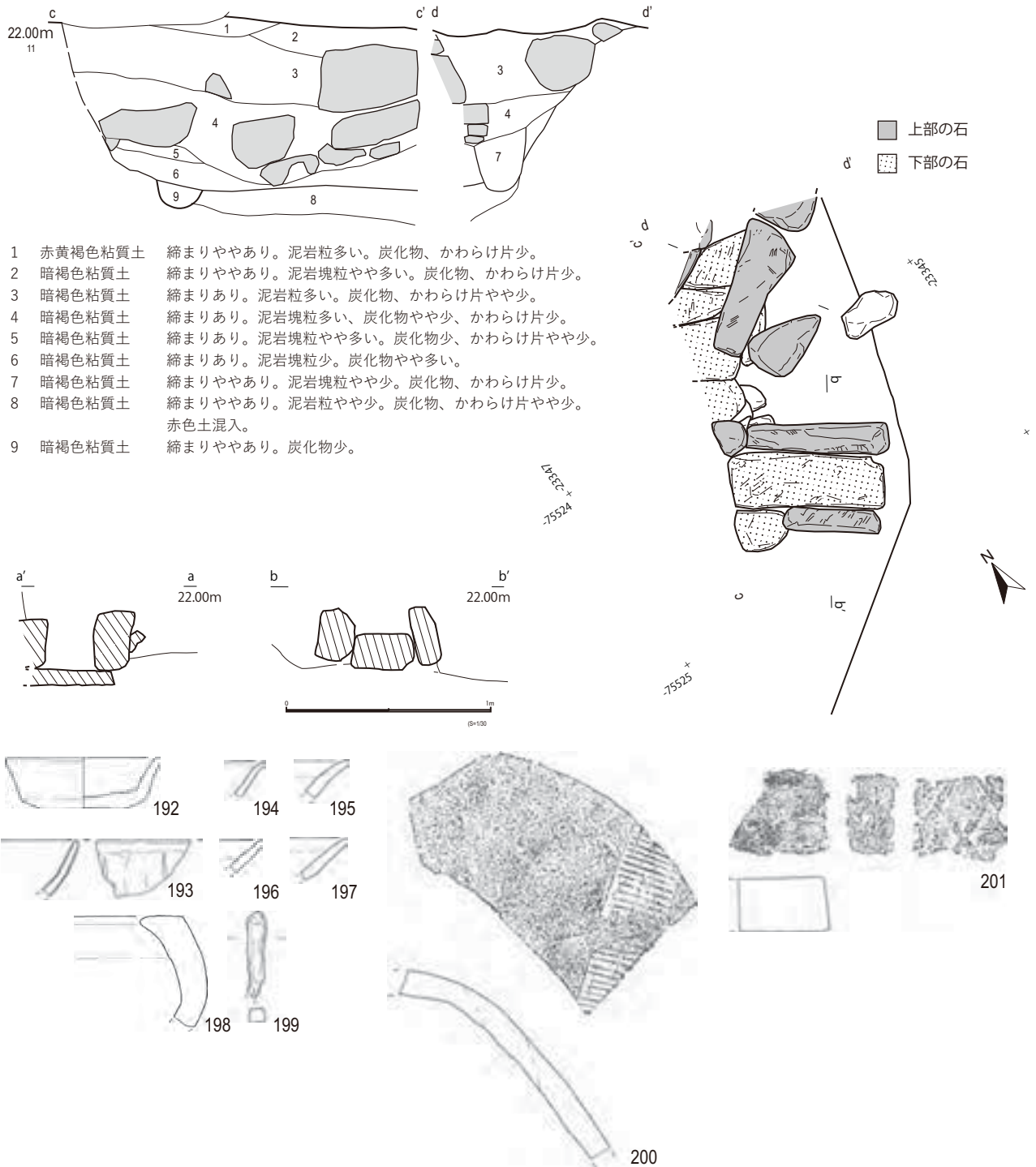
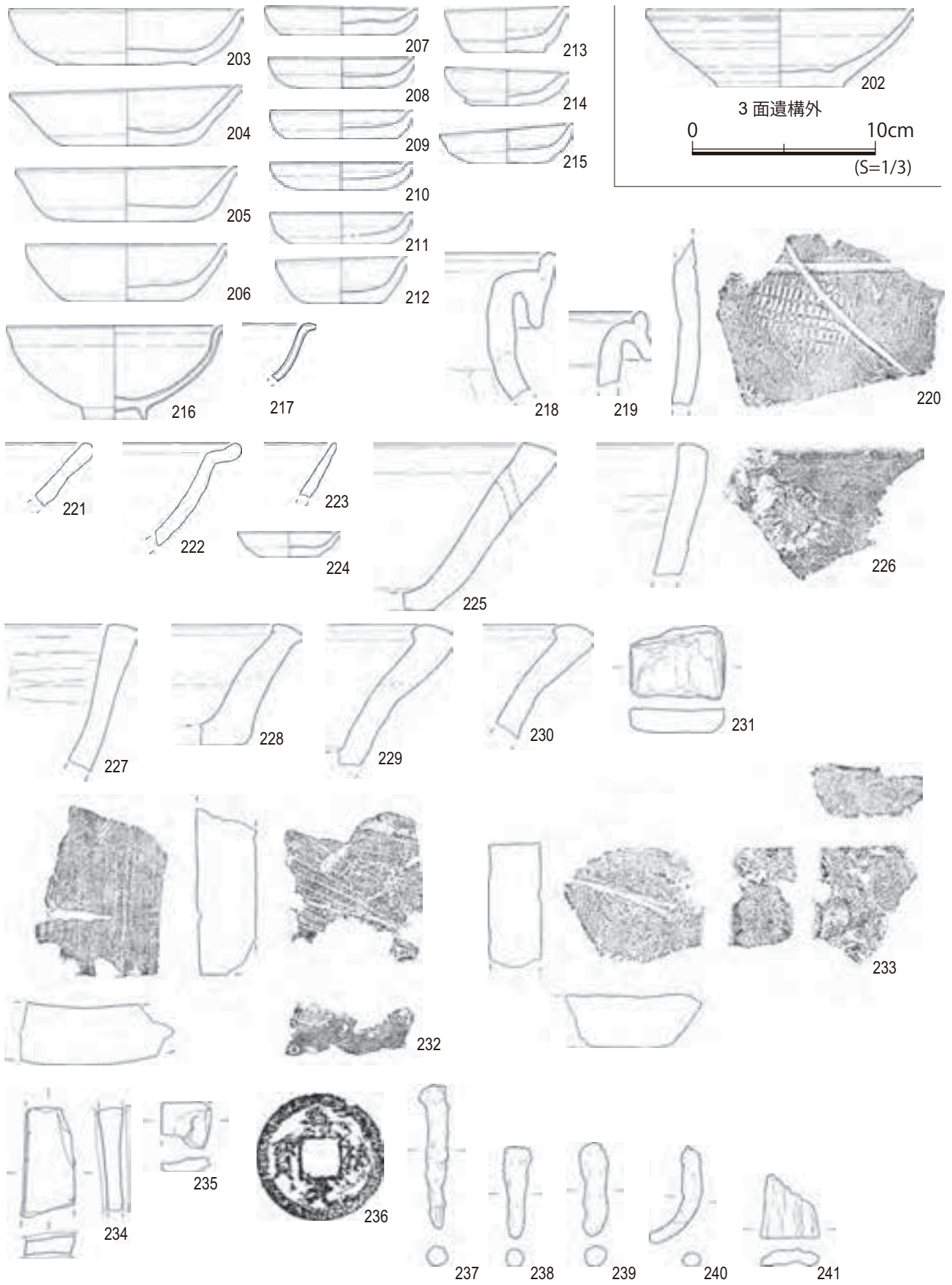


図 21 3面遺構 206



3面構成土

图 22 第 3 面遺構出土遺物 (5)

かった。掘り方はやや大きく径 2.5 mをはかるが、北側は調査区外にあたり正確な全体の規模は不明である。遺構覆土：図 19 参照。出土遺物（図 20）：168～184 は井戸枠内からの出土遺物。168～170 はかわらけ。168 は内底面に墨書が見られるが判読不明。171 は鎬蓮弁文碗。172～173 は常滑甕。173 には押印あり。174 は平瓦。175～177 は用途不明の木製品。なんらかの部材か。178～179 は折敷、180 も部材か。181～183 は箸、184 は菜箸か。185～187 は木枠内下層出土遺物。185 は常滑甕、186 は常滑片口鉢 I 類。187 はかわらけ質火鉢。188～191 は掘り方の裏込め出土遺物。188 はかわらけ。189 は土器質火鉢。190 は常滑の転用品。191 は軒平瓦。

石組遺構

遺構 206（図 14、21）

方形の凝灰質砂岩を組み合わせた形態の遺構大型の土坑を掘り込み、その中に凝灰質砂岩を入れている。何枚かの砂岩板を重ねあわせ、その板の両側に板石を立てて配したような構造で、それが L 字に直行するように組まれている。構造的には水路のように見えるが、調査区西北隅で一部しか検出しておらず、全体としてどのような構造であったかは詳細を明らかにしえず、機能も推定困難である。遺構覆土：図 21 参照。出土遺物（図 21）：192 はかわらけ。193 は青磁碗。194 は白磁皿。195 は瀬戸碗。196～197 は瀬戸緑釉小皿。198 は瓦器質火鉢。199 は鉄釘。200 は常滑甕、201 は平瓦。

3 面遺構外出土遺物（図 22）

3 面の遺構面精査時に炭層の直上で検出した遺物。202 は産地不詳のかわらけ。

3 面構成土出土遺物（図 21）

3 面より 4 面検出までの間の堆積より出土した遺物。203～205 は大型かわらけ、206 は中型かわらけ、207～215 は小型かわらけ。216 は青磁碗。217 は青磁坏。218～220 は常滑甕で、220 は押印と沈線による文様がある。221 は常滑片口鉢 I 類。222 は瀬戸折縁深皿。223 は瀬戸の器種不明。224 は瀬戸入子。225～230 は瓦質火鉢。231 は不明土製品。232～233 は平瓦。234 は砥石。235 は不明石製品。236 は銅銭。237～240 は鉄釘。241 は加工骨。

第 5 節 第 4 面の遺構・遺物

第 4 面はおよそ海拔 21.54～21.67 m である。遺構はピット 108 穴・土坑 39 基、溝 1 条である。掘立柱建物址の存在が推定できるが明確なプランは復元できなかった。東側および西南隅には泥岩塊の集積部が検出されたが、その性格は不明である。遺構の切りあいより第 4 面で発見した遺構は、少なくとも 4 時期の時間差があると考えられる。遺物は、かわらけ・青磁・白磁・常滑・瀬戸・瓦器・火鉢・瓦・鉄製品・石製品・銅銭・自然遺物が出土している。

ピット

円形、隅丸方形を呈するピットが散在する。覆土は暗褐色粘質土であり、締まりあり、泥岩粒、炭化物、かわらけ片いずれも少量を含む（遺構 207～212、217、218、221、225、233～235、238～244、

247、249～253、255～257、260、261、268、269～273、275、277、280、282～286、291、296～298、301、303、305、306、314)。うち218、225、238はやや炭化物を多く含む。

縮まりややあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ少(遺構213、214、220、224、227、229、230、236、237、240、245、246、248、265、276、292、293、295、299、304、308～311、313)。うち230は大型



図 23 第 4 面全測図 (S=1/60)

い。かわらけやや多い。遺構 283 を切る。出土遺物 (図 24) : 6 はかわらけ。

遺構 307 (図 23)

楕円形を呈するピット。遺構覆土:暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩塊粒やや多い。炭化物やや多い。かわらけ少。出土遺物 (図 24) : 7 はかわらけ。

土坑

およそ隅丸方形、楕円形を呈する。覆土は暗褐色粘質土を主とする。締まりあり。泥岩粒少、炭化物少、かわらけ片少 (遺構 316、321、323、326 ~ 329、332、334、338、346、349、351、352)。334、338 は炭化物を多く含んでいる。締まりやや弱い。泥岩粒、炭化物、かわらけ片やや多く含む (遺構 324、335、350)。赤褐色粘質土は締まり弱く、泥岩粒、炭化物多い。かわらけ片少 (遺構 317、318)。

遺構 315 (図 23)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:黒褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒少。炭化物やや多い。かわらけ片少。出土遺物 (図 24) : 8 ~ 10 はかわらけ。

遺構 319 (図 23)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:暗褐色粘質土。締まりやや弱い。泥岩粒、炭化物、かわらけ片少。出土遺物 (図 24) : 11 ~ 12 はかわらけ。

遺構 320 (図 23)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒少。炭化物やや多い。かわらけ片少。出土遺物 (図 24) : 13 は青磁蓮弁文碗。

遺構 330 (図 23)

円形を呈する土坑。遺構覆土:暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒やや少。炭化物ブロック多い。かわらけ片少。出土遺物 (図 24) : 14 はかわらけ。

遺構 331 (図 23)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:上層は暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片やや多い。下層は赤褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ少。出土遺物 (図 24) : 15 はかわらけ。

遺構 333 (図 23)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩塊やや少。炭化物、かわらけ片多い。出土遺物 (図 24) : 16 はかわらけ。17 は瓦器質火鉢。

遺構 336 (図 23)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩塊粒やや少。炭化物、かわらけ片多い。遺構 338 に切られる。出土遺物 (図 24) : 18 はかわらけ。19 は常滑広口壺か。20 は滑石製鍋。

遺構 337 (図 23)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:暗褐色粘質土。締まりあり。出土遺物 (図 24) : 21 はかわらけ。22 は青磁蓮弁文碗。23 ~ 24 は鉄釘。

遺構 338 (図 23)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片少。出土遺物 (図 24) : 25 ~ 27 はかわらけ。28 は砥石。

遺構 339 (図 23)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：出土遺物（図 24）：29 はかわらけ。30 は青磁坏か。

遺構 340（図 23）

円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒やや少。炭化物やや多い。かわらけ片少。出土遺物（図 24）：31 は大型かわらけ、32～36 は小型かわらけ。37 は極小かわらけ。38 は鉄釘。

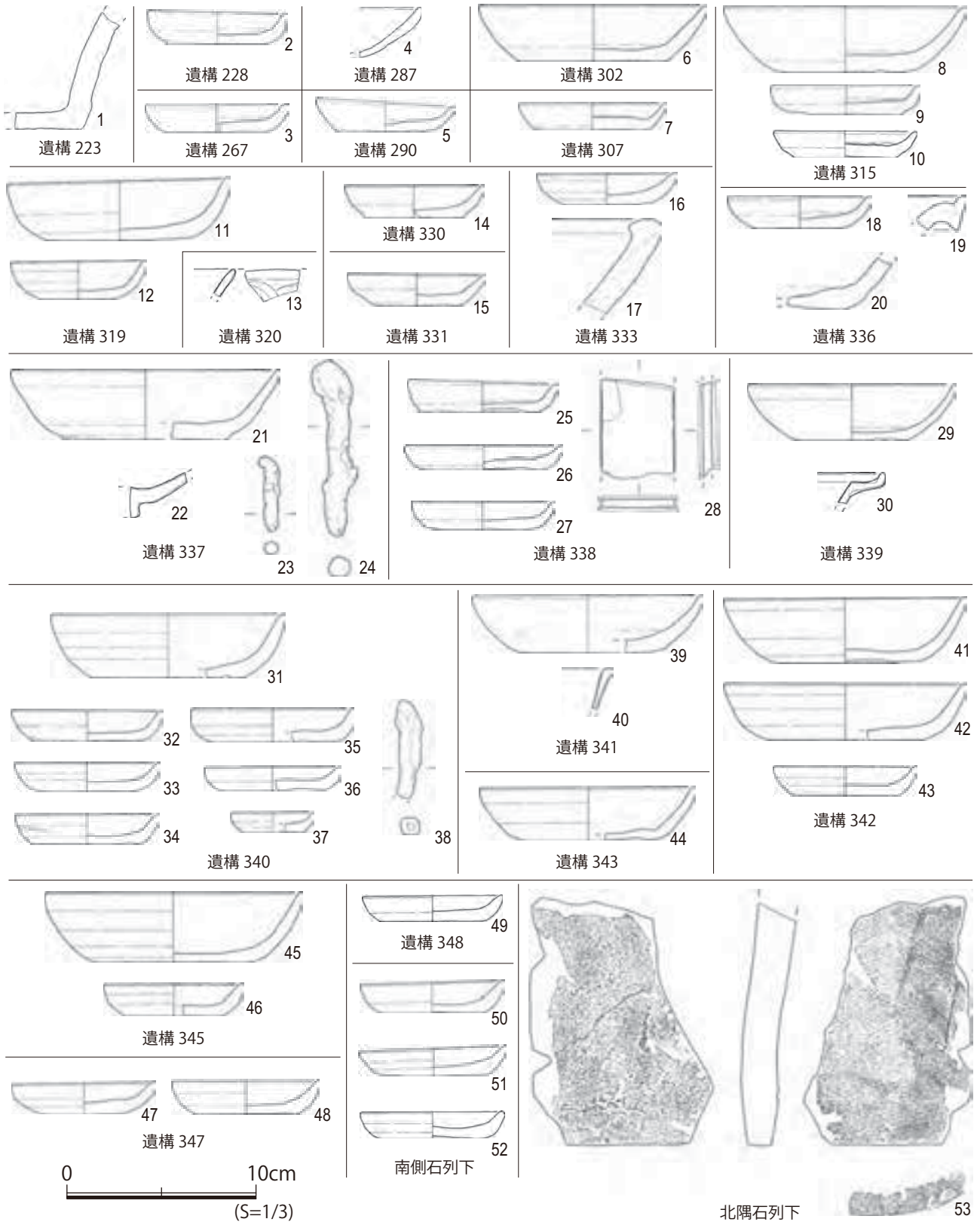


図 24 第 4 面遺構出土遺物

遺構 341 (図 23)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片少。出土遺物 (図 24)：39 はかわらけ。40 は青磁で器種は不明。

遺構 342 (図 23)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩塊粒やや多い。炭化物、かわらけ片少。遺構 343 を切る。出土遺物 (図 24)：41 ~ 43 はかわらけ。

遺構 343 (図 23)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩塊粒やや多い。炭化物、かわらけ片少。遺構 280 を切る。出土遺物 (図 24)：44 はかわらけ。

遺構 345 (図 23)

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩塊粒、炭化物やや多い。かわらけ片やや少。出土遺物 (図 24)：45 ~ 46 はかわらけ。

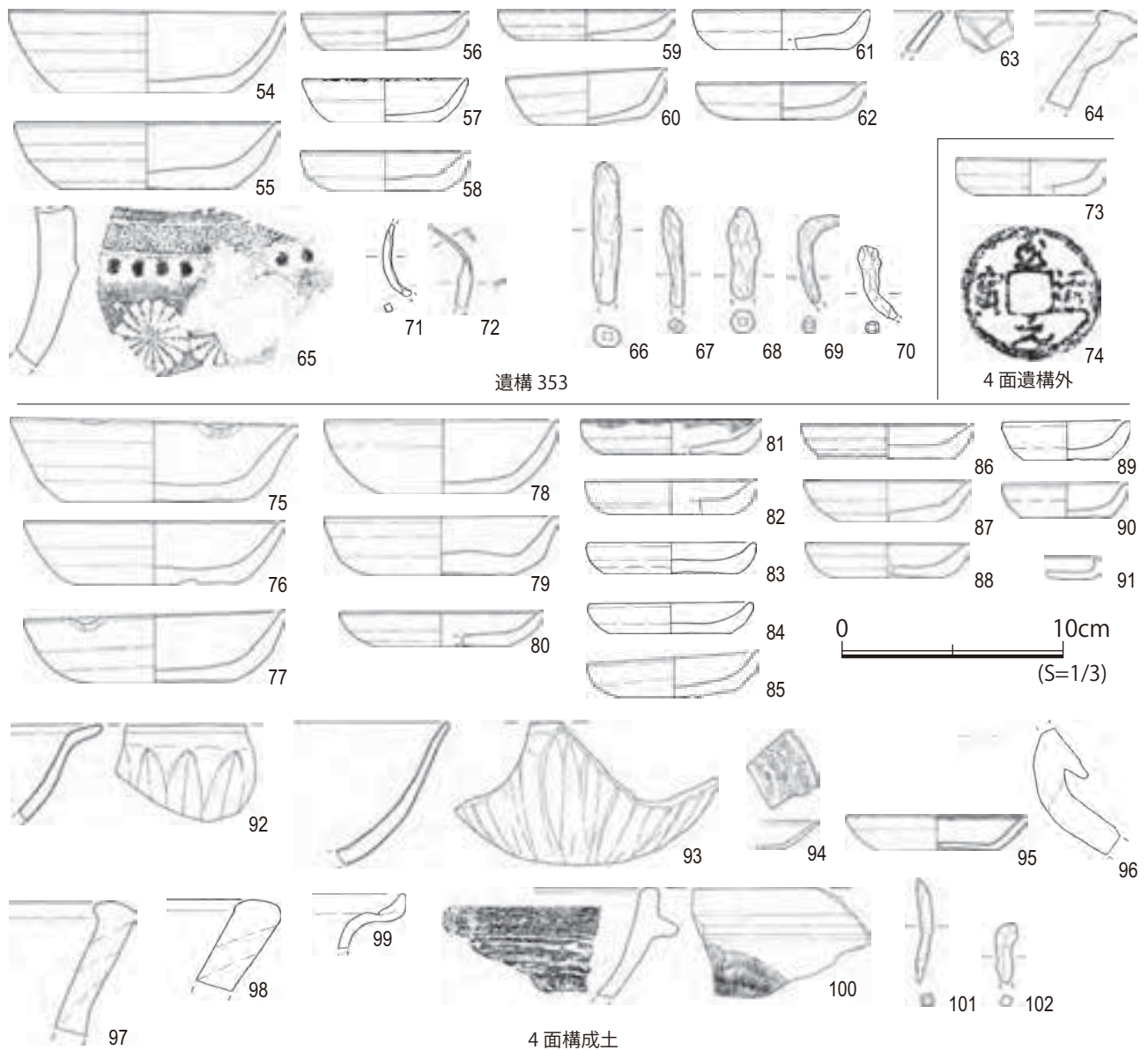


図 25 第 4 面出土遺物

遺構 347 (図 23)

円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩塊粒、炭化物やや少。かわらけ片少。出土遺物 (図 24)：47～48 はかわらけ。

遺構 348 (図 23)

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩塊粒やや少。炭化物、かわらけ片少。出土遺物 (図 24)：49 はかわらけ。

石列

調査区西南部では人頭大の泥岩塊を配した一角が見られる (図 23)。上面はさほど平滑ではない。溝などを埋めたものとも考え難い。調査区南へさらに伸びている。機能などは不明。泥石の間よりの出土遺物 (図 24)：50～52 はかわらけ。53 は平瓦。

溝状遺構

遺構 353 (図 23)

調査区北側を西北―南東方向に走るやや小規模な溝。上端幅は 0.9 m、底部幅は 0.51 m。覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩粒やや少。炭化物少。かわらけ片やや少。出土遺物 (図 25)：54～55 は大型かわらけ。56～62 は小型かわらけ。63 は青磁蓮弁文碗。64～65 は瓦器質火鉢。66～71 は鉄釘。72 は不明鉄製品。

4 面遺構外出土遺物 (図 25)

4 面の遺構面精査時に炭層の直上で検出した遺物。73 はかわらけ。74 は銅銭。

4 面構成土出土遺物 (図 25)

4 面より 5 面検出までの間の堆積より出土した遺物。75 は大型かわらけ、76～80 は中型かわらけ、81～90 は小型かわらけ。91 は内折れの白かわらけ。92～93 は青磁鎬蓮弁文碗で、93 は米色青磁か。94～95 は白磁口元皿。96 は常滑甕。97～98 は瓦器質火鉢。99 は伊勢系土鍋。100 は滑石製鍋。101～102 は鉄釘。

第 6 節 第 5 面の遺構・遺物

第 5 面はおよそ海拔 21.41～21.56 m である。遺構はピット 80 穴・土坑 22 基、溝状遺構 1 条である。掘立柱建物址の存在が推定できるが明確なプランは復元できなかった。遺構の切りあいより第 5 面で発見した遺構は、少なくとも 3 時期の時間差があると考えられる。遺物は、かわらけ・青磁・白磁・常滑・瀬戸・瓦器・火鉢・瓦・鉄製品・石製品・木製品・自然遺物が出土している。

ピット

円形、楕円形、隅丸方形を呈する。覆土は暗褐色粘質土が主体で、締まりはおおむねあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片などいずれも少量含む (遺構 357、359、360、361、365、366、370、372～374、

380、382、395～397、399～401、405、406、408～416、418～420、422～424、426～433)。ただし、399、428は炭化物をやや多く含む。黒褐色粘質土は締まりややあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片いずれも少量（遺構385、404、407、417、421）。404、407は炭化物やや多い。暗赤褐色粘質土は締まりやや弱い。泥岩粒、炭化物、かわらけ片いずれも少量（遺構375～378、381、386、389）。389は炭化物をやや多く含む。暗灰色粘質土。締まりやや弱く、泥岩粒、かわらけ片は少量だが炭化物をやや多く

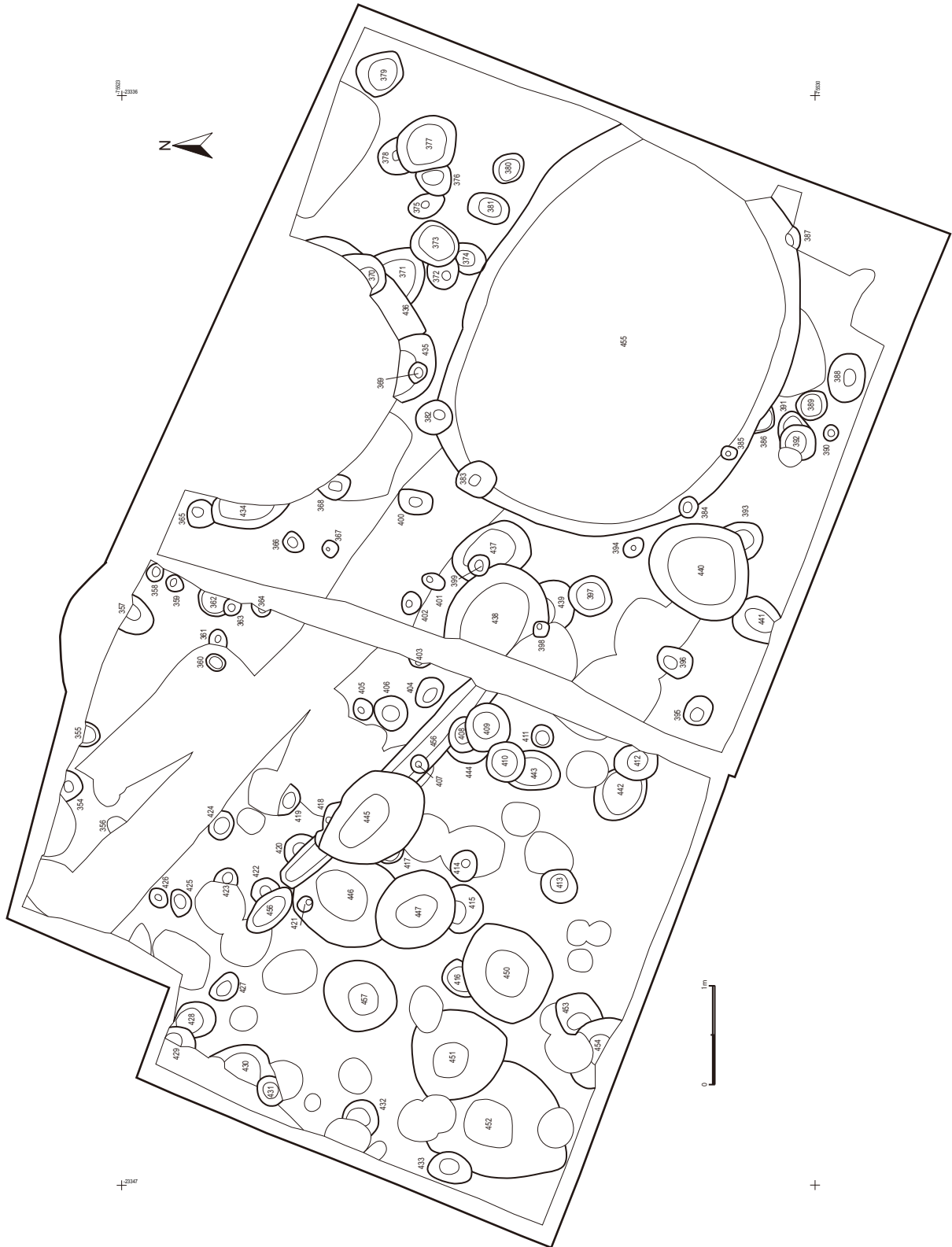


図 26 第 5 面全測図 (S=1/60)

遺構	色調	覆土	レ	上	最大	上	底面
			ベル	端	径	端	レベル
ピット							
354			21.57	0.31			21.2
355			21.59	0.26			21.53
356							
357	暗褐色		21.61	0.37			21.36
358	暗褐色		21.61	0.2			21.26
359	暗褐色		21.58	0.17			21.27
360	暗褐色		21.43	0.21			21.31
361	暗褐色		21.5	0.21			21.4
362			21.53	0.33			21.45
363			21.52	0.18			21.23
364			21.65	0.2			21.46
365	暗褐色		21.47	0.27			21.31
366	暗褐色		21.51	0.21			21.34
367			21.48	0.18			21.28
368			21.44	0.32			21.26
369			21.31	0.23			21.27
370	暗褐色		21.6	0.44			21.45
371			21.58	0.6			21.57
372	暗褐色		21.55	0.32			21.37
373	暗褐色		21.57	0.49			21.44
374	暗褐色		21.52	0.32			21.42
375	暗赤褐色		21.56	0.37			21.35
376	暗赤褐色		21.55	0.48			21.42
377	暗赤褐色		21.58	0.64			21.45
378	暗赤褐色		21.58	0.35			21.45
379	暗黄褐色		21.59	0.49			21.4

遺構	色調	覆土	レ	上	最大	上	底面
			ベル	端	径	端	レベル
380	暗褐色		21.52	0.32			21.46
381	赤褐色		21.54	0.43			21.46
382	暗褐色		21.37	0.36			20.88
383	暗褐色		21.35	0.41			21.07
384			21.43	0.22			21.2
385	黒褐色		21.44	0.14			21.33
386	赤褐色						
387							
388	黄褐色		21.41	0.5			21.2
389	暗赤褐色		21.44	0.28			21.36
390	暗灰色		21.42	0.16			21.29
391	暗灰色		21.43	0.3			21.32
392	暗灰色		21.43	0.38			21.29
393	暗褐色		21.42	0.41			21.15
394	暗灰色		21.48	0.21			21.14
395	暗褐色		21.46	0.31			21.31
396	暗褐色		21.45	0.36			21.14
397	暗褐色		21.46	0.46			21.33
398			21.42	0.19			21.12
399	暗褐色		21.46	0.21			21.17
400	暗褐色		21.37	0.38			21.25
401	暗褐色		21.41	0.26			21.2
402			21.36	0.25			21.13
403			21.54	0.21			21.29
404	黒褐色		21.54	0.33			21.32
405	暗褐色		21.53	0.21			21.18
406	暗褐色		21.53	0.34			21.42

遺構	色調	覆土	レ	上	最大	上	底面
			ベル	端	径	端	レベル
407	黒褐色		21.43	0.18			20.73
408	暗褐色		21.47	0.45			21.3
409	暗褐色		21.53	0.5			21.23
410	暗褐色		21.5	0.4			21.35
411	暗褐色		21.49	0.22			21.39
412	暗褐色		21.48	0.44			21.32
413	暗褐色		21.51	0.39			21.36
414	暗褐色		21.25	0.32			21.16
415	暗褐色		21.43	0.48			21.25
416	暗褐色		21.47	21.41			21.21
417	黒褐色		21.49	0.26			21.24
418	暗褐色		21.49	0.27			21.24
419	暗褐色		21.51	0.36			21.27
420	暗褐色		21.52	0.32			21.14
421	黒褐色		21.4	0.16			21.97
422	暗褐色		21.51	0.3			21.22
423	暗褐色		21.51	0.22			21.41
424	暗褐色		21.49	0.29			21.41
425	暗褐色		21.48	0.27			21.26
426	暗褐色		21.47	0.21			21.06
427	暗褐色		21.48	0.34			21.31
428	暗褐色		21.53	0.41			21.25
429	暗褐色		21.44	0.33			21.23
430	暗褐色		21.48	0.36			21.36
431	暗褐色		21.42	0.31			21.24
432	暗褐色		21.45	0.39			21.28
433	暗褐色		21.37	0.45			21.17

遺構	色調	覆土	レ	上	最大	上	底面
			ベル	端	径	端	レベル
土坑							
434	暗褐色		21.48		0.74		21.33
435	暗褐色		21.5		0.66		21.27
436	暗褐色		21.57		1.47		21.14
437	暗褐色		21.45		0.81		21.23
438	暗褐色		21.47		0.86		21.09
439	暗褐色		21.4		0.47		21.24
440	暗黄褐色		21.48		1.03		21.21
441	暗褐色		21.46		0.48		21.18
442	暗褐色		21.42		0.53		21.37
443	青黒色		21.51		0.52		21.33
444	暗褐色		21.53		0.41		21.3
445	暗褐色		21.49		1.18		21.08
446	黒褐色		21.5		1.15		21.23
447	暗褐色		21.52		0.88		21.16
448	暗褐色		21.36		0.61		21.28
449	暗褐色		21.34		0.75		21.14
450	暗褐色		21.41		1.06		21.03
451	暗褐色		21.33		0.98		21.14
452	暗褐色		21.36		1.35		21.06
453	暗褐色		21.41		0.35		21.11
454	暗褐色		21.49		0.74		21.07
その他							
455	白灰色		21.59		3.94		20.91
456	暗褐色		21.53		幅 2.84		21.12

含む（遺構 390、391、392、394）。暗黄褐色粘質土。締まりやや弱く、混入物少量（遺構 379、388）。

遺構 354（図 26）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。出土遺物（図 28）：1 はかわらけ。

遺構 358（図 26）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量。出土遺物（図 28）：2 はかわらけ。

遺構 365（図 26）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。出土遺物（図 28）：3 は砥石。

遺構 425（図 25）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量。出土遺物（図 28）：4 は青磁鎗蓮弁文碗で、米色青磁か。

土坑

楕円形、隅丸方形を呈する。調査区東南部には巨大な土坑が 1 基（遺構 455）あり、やや他とは性格の異なる遺構であると推定される。覆土は暗褐色粘質土が主で、締まりややあり。泥岩粒、やや多く、炭化物、かわらけ片を少量含む（遺構 434～437、439、441、442、444、445、448）。うち 434、437、441 は炭化物がやや多い。暗黄褐色粘質土は締まりあり。混入物少量（遺構 440）。

遺構 438（図 26）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりやや弱い。泥岩粒、炭化物、かわらけ片やや多い。出土遺物（図 28）：5 は瓦器質火鉢。

遺構 446（図 26）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒やや少。炭化物、かわらけ片少。出土遺物（図 28）：6 は瓦器質火鉢。

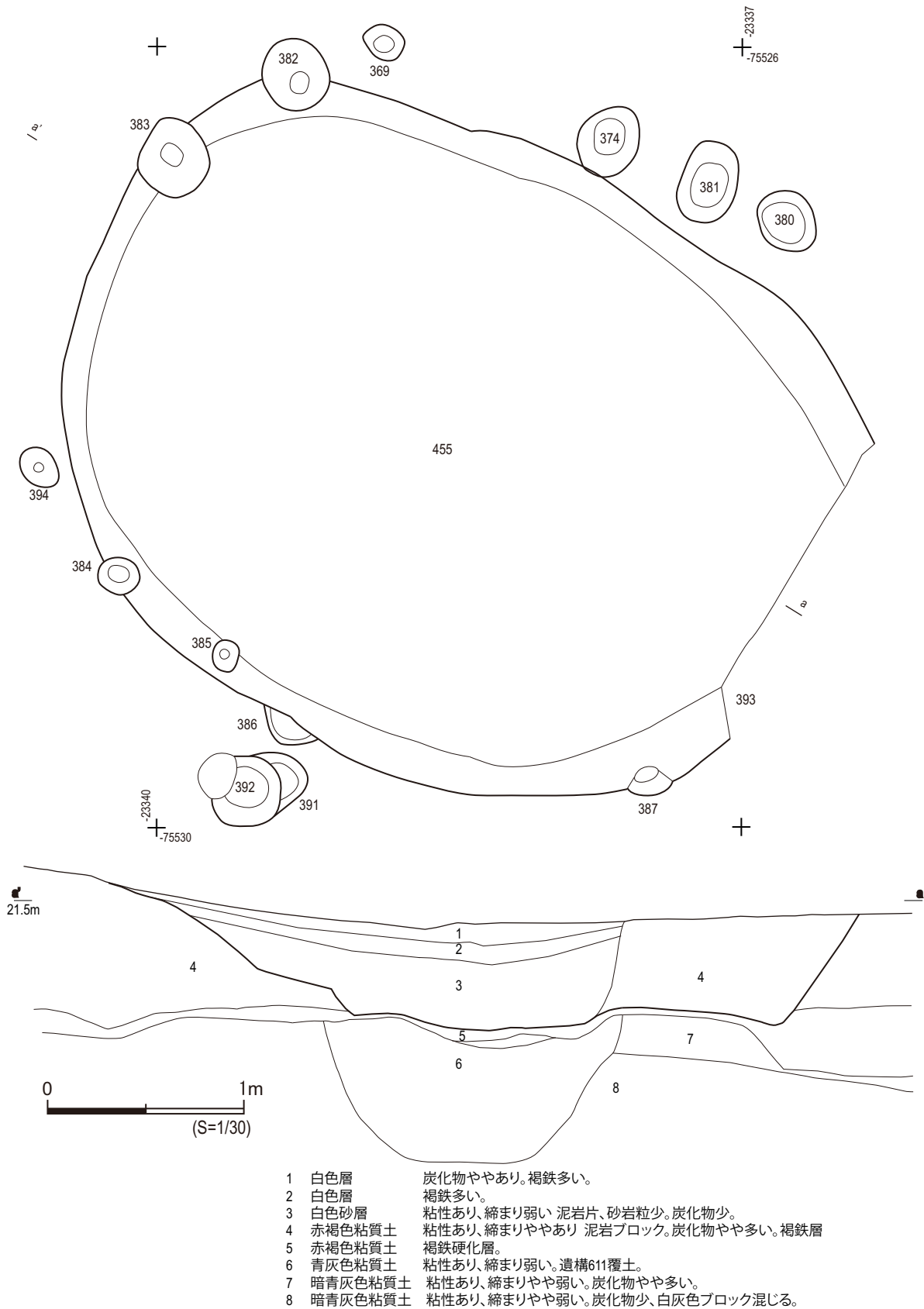


図 27 第 5 面遺構 455

遺構 447 (図 26)

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：黒褐色粘質土。縮まりあり。泥岩塊粒、炭化物やや少。かわらけ片少。遺構 454 を切る。出土遺物 (図 28)：7 は鉄釘。

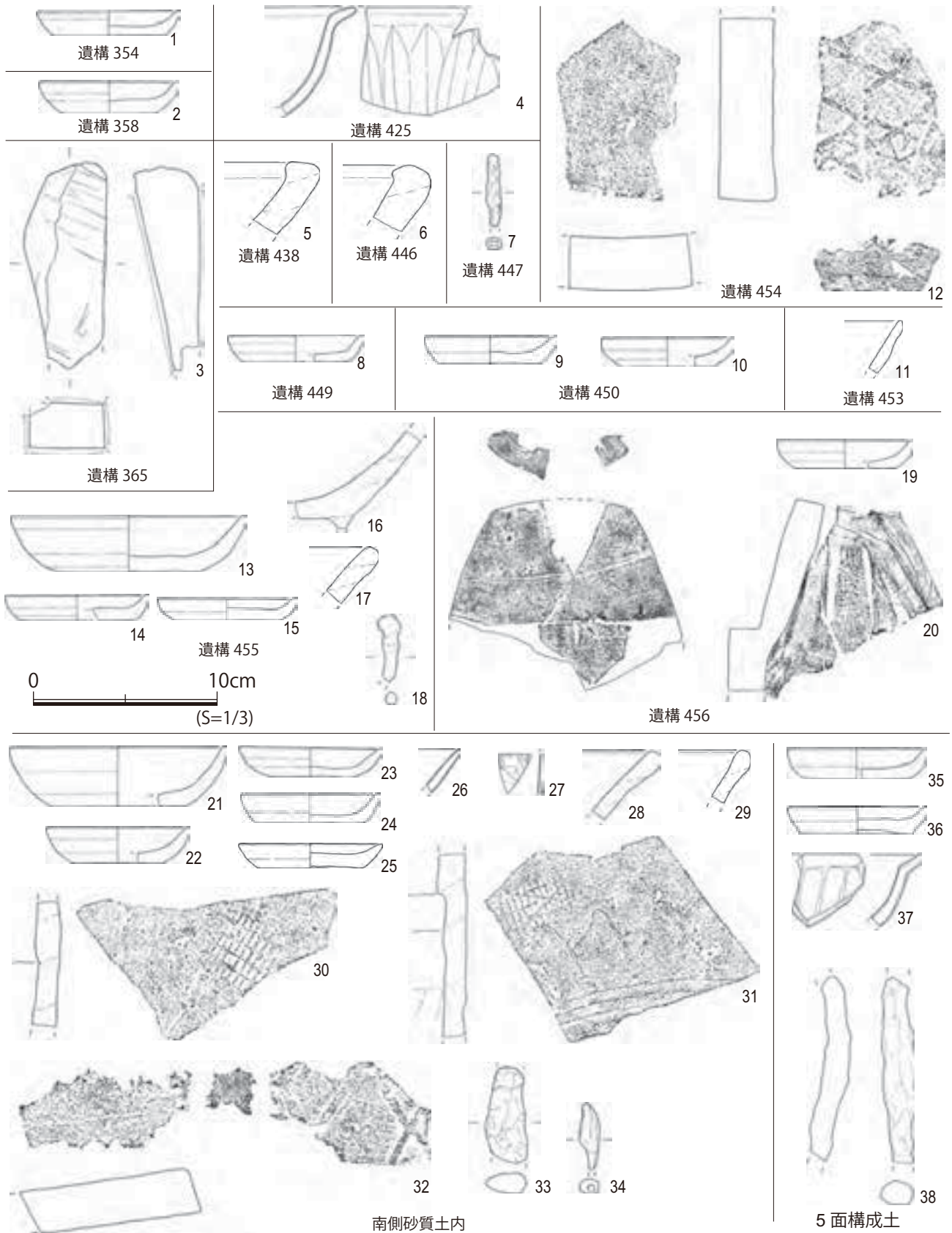


図 28 第 5 面遺構出土遺物

遺構 449 (図 26)

円形を呈する土坑。暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩やや多い。炭化物、かわらけ片少。出土遺物(図 28)：8 はかわらけ。

遺構 450 (図 26)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まり弱い。砂状。泥岩粒やや多い。炭化物、かわらけ片少。出土遺物 (図 28)：9～10 はかわらけ。

遺構 453 (図 26)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩粒、砂岩、炭化物、かわらけ片少量。出土遺物 (図 28)：11 は山茶碗。

遺構 454 (図 26)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩塊粒やや多い。炭化物、かわらけ片少。出土遺物 (図 28)：12 は平瓦。

遺構 455 (図 26、27)

隅丸長方形を呈する土坑。砂質土を覆土とする。壁体は垂直に掘りこまれ、床面は褐鉄で硬化している。周囲には小型のピットが巡っていた可能性がある。遺構覆土：図参照。出土遺物 (図 28)：13 は大型かわらけ。14～15 は小型かわらけ。16～17 は常滑片口鉢 I 類。18 は鉄釘。

溝状遺構

遺構 456 (図 26)

調査区西側中央に走る溝状の遺構。ただし両端は不明で溝としての機能があるかどうか疑わしい。遺構覆土：白灰色粘質土。締まりややあり。泥岩塊やや少。炭化物、かわらけ少。出土遺物 (図 28)：19 はかわらけ。20 は丸瓦。

5 面遺構外出土遺物 (図 28)

5 面の遺構面精査時に検出した遺物。21～34 は南方に薄くみられた砂質土中より出土。21 は中型かわらけ。22～25 は小型かわらけ。26 は青磁無文碗。27 は白磁で器種は不明。28～29 は常滑片口鉢 I 類。30～31 は常滑甕。32 は平瓦。33 は鉄製品で残存がよくないが刀子か。34 は鉄釘。

5 面構成土出土遺物 (図 28)

5 面より 6 面検出までの間の堆積より出土した遺物。35～36 はかわらけ。37 は青磁の坏。38 は東南側の石敷下より検出。鉄釘。

第 7 節 第 6 面の遺構・遺物

第 6 面はおおよそ海拔 21.24～21.35 m である。遺構はピット 113 穴・土坑 17 基である。掘立柱建物址の存在が推定できるが明確なプランは復元できなかった。遺構の切りあいより第 6 面で発見した遺構は、少なくとも 3 時期の時間差があると考えられる。遺物は、かわらけ・青磁・白磁・常滑・瀬戸・渥美・瓦器・火鉢・瓦・鉄製品・石製品・木製品・銅銭・自然遺物が出土している。

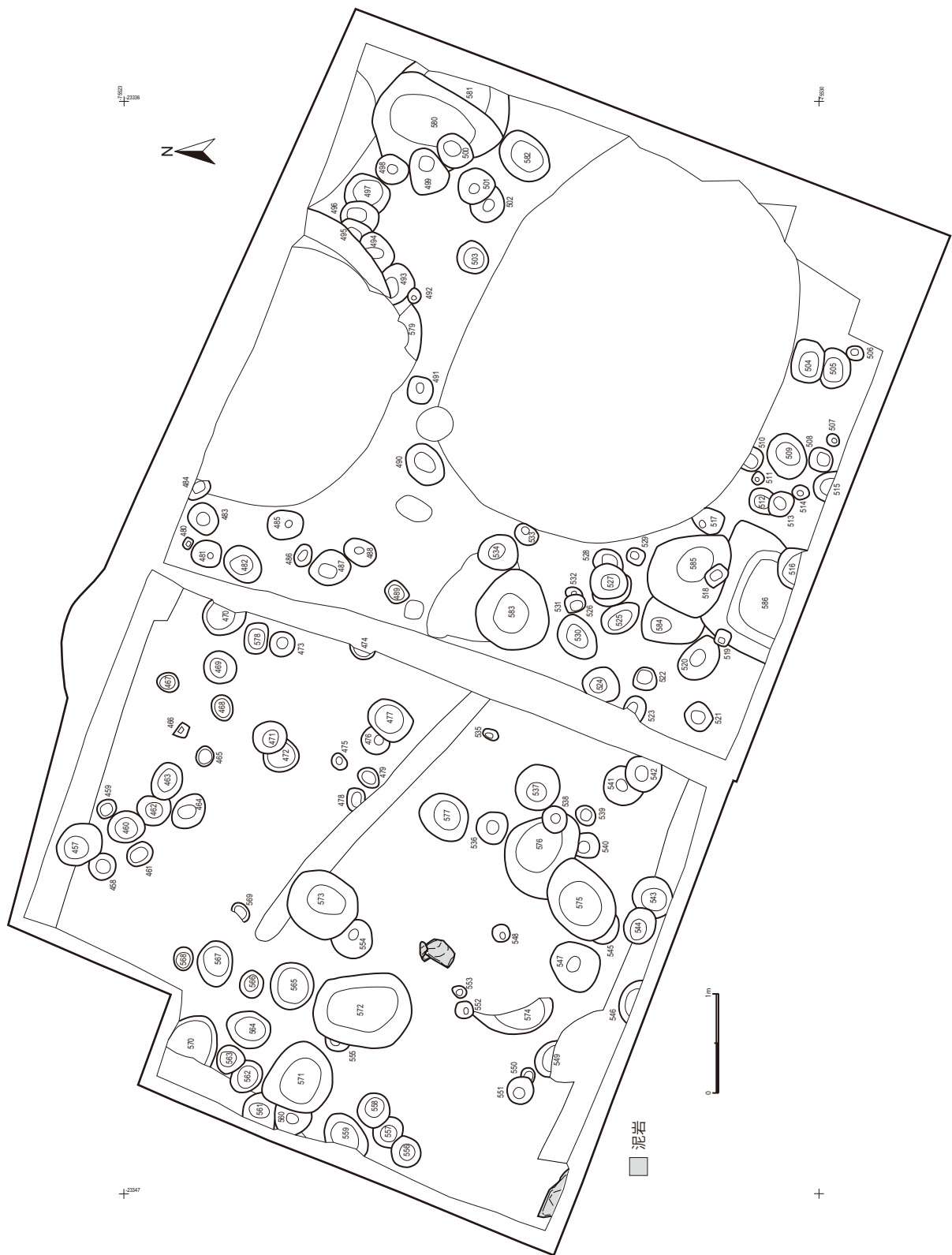


図 29 第 6 面全測図 (S=1/60)

ピット

基本円形、楕円形を呈する。覆土は暗褐色粘質土が主体で締まりややあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片は少量か含まない（遺構 457、458、461、464、465、467～469、475、484、499、500～502、

504～506、509、510、516、521、522、524、527、529、531、532、540、542～544、547、548、550～552、554～564、566、568、569)。そのうち502、504～506、509、516、521、524、527、531、532、555、559は炭化物をやや多く含む。黒褐色粘質土。締まりやや弱い。締まりやや弱く、泥岩粒、かわらけ片は稀。炭化物を多く含む（遺構498、511～513）。暗黄褐色粘質土。締まりややあり。泥岩粒、かわらけ片はほぼ含まず、炭化物も少量（遺構459、460、462、463、470、472、473、476、478、479、481～483、485～490、528、530、534、536、537）。暗赤褐色粘質土。締まりややあり。混入物は稀だが炭化物を少量含む（遺構496、497、508、517、520、533）。暗灰色粘質土。締まりややあり。炭化物やや多く、かわらけ片少量含む（遺構480、503、526）。赤灰色粘質土。締まりあり。炭化物をやや含む（遺

遺構	色調土	上端レベル	最大上端レベル	底面レベル	遺構	色調土	上端レベル	最大上端レベル	底面レベル	遺構	色調土	上端レベル	最大上端レベル	底面レベル	遺構	色調土	上端レベル	最大上端レベル	底面レベル
ピット					489	暗黄褐色				522	暗褐色	21.3	0.24	21.28	555	暗褐色	21.29	0.24	21.1
457	暗褐色	21.36	0.49	21.21	490	黄褐色	21.36	0.44	21.29	523		21.3	0.23	21.18	556	暗褐色	21.3	0.31	21.12
458	暗褐色	21.38	0.26	21.16	491		21.24	0.3	20.93	524	暗褐色	21.3	0.41	21.02	557	暗褐色	21.23	0.32	21.12
459	暗黄褐色	21.38	0.21	-	492		21.3	0.16	21.28	525		21.31	0.42	21.17	558	暗褐色	21.29	0.35	21.11
460	暗黄褐色	21.38	0.39	21.23	493	赤灰	21.32	0.44	21.05	526	暗灰色	21.3	0.42	21.15	559	暗褐色	21.33	0.48	21.08
461	暗褐色	21.35	0.28	21.3	494	赤灰	21.33	0.4	21.1	527	暗褐色	21.29	0.38	21.15	560	暗褐色	21.34	0.38	20.93
462	暗黄褐色	21.34	0.26	21.27	495	赤灰	21.34	0.33	21.22	528	黄褐色	21.32	0.28	21.16	561	暗褐色	21.24	0.4	21.19
463	暗黄褐色	21.36	0.39	21.23	496	暗赤褐色	21.35	0.38	21.25	529	暗褐色	21.31	0.18	21.06	562	暗褐色	21.31	0.39	21.16
464	暗褐色	21.36	0.39	21.5	497	暗赤褐色	21.37	0.45	21.27	530	黄褐色	21.29	0.49	21.16	563	暗褐色	21.32	0.28	21.19
465	暗褐色	21.27	0.2	21.29	498	黒褐色	21.35	0.34	21.23	531	暗褐色	21.32	0.21	21.15	564	暗褐色			
466		21.34	0.16	21.29	499	暗褐色	21.33	0.45	21.07	532	暗褐色	21.31	0.17	21.15	565	暗褐色			
467	暗褐色	21.34	0.19	21.3	500	暗褐色	21.31	0.4	21.18	533	赤褐色	21.31	0.24	21.08	566	暗褐色	21.38	0.37	21.13
468	暗褐色	21.36	0.25	21.24	501	暗褐色	21.31	0.35	21.07	534	黄褐色	21.31	0.41	21.08	567	暗黄褐色	21.39	0.46	21.1
469	暗褐色	21.34	0.34	21.2	502	暗褐色	21.28	0.41	21.08	535		21.26	0.16	21.08	568	暗褐色	21.38	0.25	21.29
470	暗黄褐色	21.36	0.41	21.22	503	暗灰	21.28	0.33	21.14	536	暗黄褐色	21.3	0.34	21.49	569	暗褐色	21.35	0.21	21.26
471	暗黄褐色	21.33	0.32	21.14	504	暗褐色	21.24	0.43	21.12	537	暗黄褐色	21.33	0.48	21.94	土坑				
472	暗黄褐色	21.34	0.35	21.31	505	暗褐色	21.23	0.42	21.1	538		21.33	0.29	21.12	570	暗褐色	21.37	0.49	21.24
473	暗黄褐色	21.33	0.28	21.28	506	暗褐色	21.24	0.16	21.17	539	暗褐色	21.34	0.21	21.28	571	暗褐色	21.32	0.71	21.13
474		21.35	0.24	21.09	507	青灰	21.3	0.13	21.21	540	暗褐色	21.35	0.25	20.91	572	暗褐色	21.34	0.98	21.08
475	暗褐色	21.33	0.18	21.22	508	暗赤褐色	21.3	0.26	21.1	541		21.34	0.4	21.16	573	暗褐色	21.23	0.72	21.02
476	暗黄褐色	21.36	0.3	21.03	509	暗褐色	21.27	0.45	21.05	542	暗褐色	21.35	0.39	21.11	574	暗褐色	21.32	0.79	21.19
477	暗黄褐色	21.36	0.47	21.16	510	暗褐色	21.35	0.23	21.29	543	暗褐色	21.35	0.4	21.01	575	暗褐色	21.33	0.83	21.14
478	暗黄褐色				511	暗褐色	21.28	0.13	21.27	544	暗褐色	21.31	0.35	21.24	576	暗褐色	21.33	0.9	21.11
479	暗黄褐色				512	暗褐色	21.28	0.3	21.16	545	暗褐色	21.35	0.31	21.18	577	暗褐色	21.32	0.53	21.17
480	暗灰	21.32	0.12	21.26	513	暗褐色	21.27	0.26	21.16	546					578	暗黄褐色			
481	黄褐色	21.32	0.3	21.11	514		21.27	0.16	21.13	547	暗褐色	21.34	0.54	20.9	579	赤灰	21.37	0.54	21.18
482	黄褐色	21.33	0.41	21.22	515	暗褐色	21.31	0.32	21.14	548	暗褐色	21.3	0.19	21.08	580	暗褐色	21.34	1.32	21.06
483	黄褐色	21.31	0.32	21.18	516	暗褐色	21.3	0.41	20.89	549	暗黄褐色	21.32	0.36	21.18	581	暗褐色	21.35	1.14	21.1
484	暗褐色	21.31	0.24	21.16	517	暗赤褐色	21.28	0.31	20.88	550	暗褐色	21.3	0.14	21.26	582	赤褐色	21.31	0.54	21.19
485	黄褐色	21.34	0.36	21.07	518		21.21	0.25	20.95	551	暗褐色	21.29	0.25	21.14	583				
486	黄褐色	21.34	0.21	-	519	暗褐色	21.31	0.19	21.04	552	暗褐色	21.34	0.18	21.18	584	暗褐色	21.27	0.66	20.72
487	黄褐色	21.35	0.42	21.22	520	赤褐色	21.32	0.47	20.78	553		21.2	0.15	21.05	585	暗褐色	21.28	0.61	21.07
488	暗黄褐色	21.35	0.33	21.19	521	暗褐色	21.31	0.29	21.11	554	暗褐色	21.31	0.4	21.02	586	暗褐色	21.11	0.97	20.87

構493～495)。青灰色粘質土。締まりあり。混入物稀（遺構495、507）。

遺構471（図29）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗黄褐色粘質土。締まりややあり。炭化物少。出土遺物（図30）：1はかわらけ。

遺構474（図29）

円形を呈するピット。遺構覆土：出土遺物（図30）：2は瓦器質火鉢。3は鉄釘。

遺構477（図29）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗黄褐色粘質土。締まりあり。炭化物少。出土遺物（図30）：4はかわらけ。5は常滑片口鉢I類。

遺構515（図29）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩粒、炭化物多い。かわらけ片やや少。出土遺物（図 30）：6 はかわらけ。

遺構 519（図 29）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりやや弱い。炭化物やや多い。かわらけ片少。出土遺物（図 30）：7 はかわらけ。

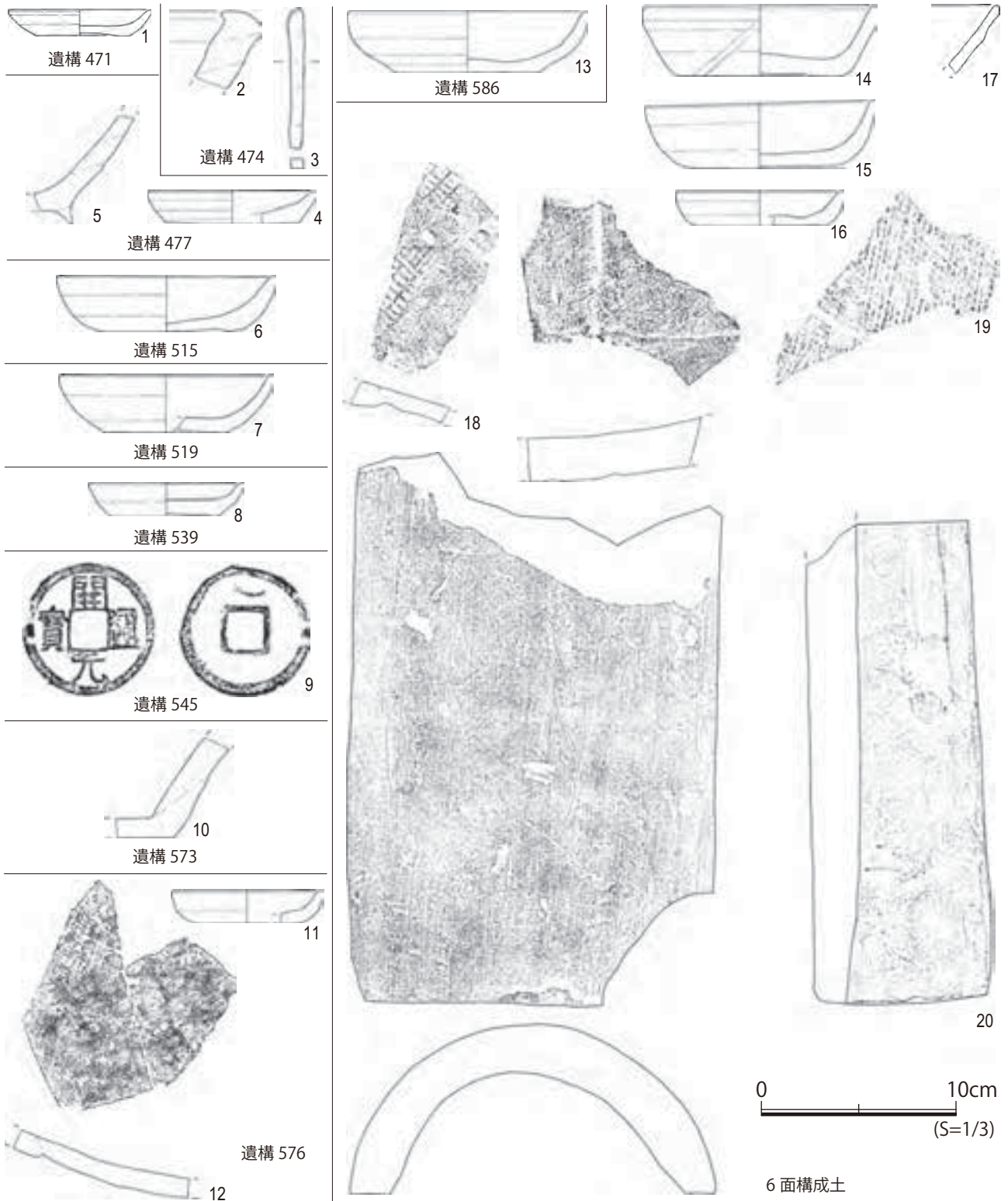


図 30 第 6 面遺構出土遺物

遺構 539 (図 29)

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりやや弱い。炭化物、かわらけ片少。出土遺物(図 30)：8 はかわらけ。

遺構 545 (図 29)

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩塊やや少。炭化物、かわらけ片少。出土遺物(図 30)：9 は銅銭。

土坑

隅丸方形、楕円形を呈する。覆土は暗褐色粘質土が主体。締まりややあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片いずれも少量(遺構 570～572、574、575、577、578、580、581、585)。571、572 には砂岩片が少量、572、585 は炭化物をやや多く含む。579 は赤灰色粘質土。582 は赤褐色粘質土。締まりはややあり、混入物は稀。

遺構 573 (図 29)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりややあり。泥岩塊粒やや多い。炭化物、かわらけ片少。遺構 386 を切る。出土遺物(図 30)：10 は瓦器質火鉢。

遺構 576 (図 29)

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まりあり。泥岩塊、炭化物、かわらけ片少。出土遺物(図 30)：11 はかわらけ。12 は常滑甕。

遺構 586 (図 29)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。締まり弱い。泥岩粒、砂岩粒少量。炭化物やや多い。出土遺物(図 30)：13 はかわらけ。

6 面構成土出土遺物 (図 30)

6 面より 6a 面検出までの間の堆積より出土した遺物。14～16 はかわらけ。17 は山茶碗。18 は常滑甕、19 は平瓦。20 は丸瓦。

第 8 節 第 6 a 面の遺構・遺物

第 6a 面はおおよそ海拔 21.13～21.19 m である。遺構はピット 23 穴・土坑 2 基である。掘立柱建物址の存在が推定できるが明確なプランは復元できなかつた。遺構の切りあいより第 6a 面で発見した遺構は、少なくとも 2 時期の時間差があると考えられる。遺物は、かわらけ・常滑・木製品が出土している。

遺構	色調	覆土	レベル	上端	最大径	上端	レベル	底面
ピット								
587	暗黄褐色		21.19	0.2	21.03			
588	暗黄褐色		21.2	0.42	21			
589	暗黄褐色		21.2	0.4	21.06			
590	暗黄褐色		21.19	0.35	20.96			
591			21.21	0.1	21.14			
592			21.2	0.22	21.14			
593	暗黄褐色		21.19	0.36	21			
594	暗黄褐色		21.18	0.28	21.02			
595	暗黄褐色		21.19	0.21	21.07			
596	暗黄褐色		21.21	0.18	21.11			
597	暗黄褐色		21.15	0.31	21.01			
598			21.12	0.41	21.02			
599	暗褐色		21.13	0.24	20.96			
600			21.09	0.18	20.96			
601	暗黄褐色		21.12	0.4	20.96			
602	暗黄色黒		21.11	0.17	21.05			
603	暗黄褐色		21.12	0.43	20.94			
604			21.11	0.31	21			
605	暗黄褐色		21.11	0.46	20.95			
606	暗黄褐色		21.12	0.43	20.95			
土坑								
607	赤褐色		21.13	0.47	21.05			
608	暗褐色		21.13	0.43	20.66			
609	暗褐色		21.14	0.47	20.96			
610	暗褐色		21.12	幅 0.39	20.94			
611			-	幅 2.8	-			

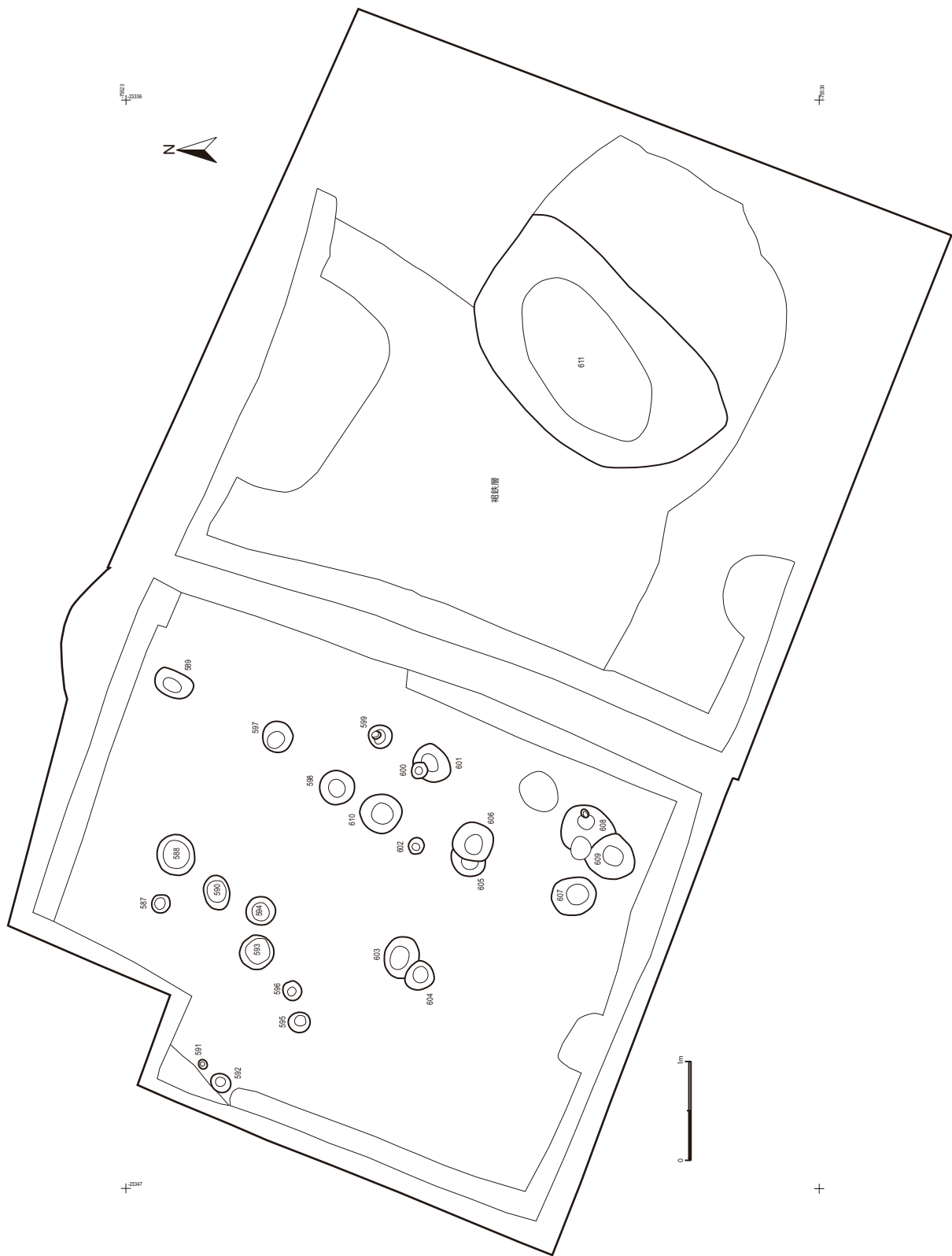


図 31 第 6 a 面全測図 (S=1/60)

ピット (図 31)

円形、楕円形を呈する。覆土は暗黄褐色粘質土を主とする。縮まりはややあり。泥岩粒、炭化物、かわらけ片などの混入物はいずれも稀 (遺構 587 ~ 590、593 ~ 597、601 ~ 606、610)。暗褐色粘質土。縮まりややあり。炭化物を少量含む (遺構 599、608、609)。暗赤褐色粘質土。縮まりあり。炭化物、

かわらけ片を少量含む（遺構 607）。復元可能な遺物は出土せず。

土坑

遺構 611（図 31）

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：図 27 参照。出土遺物（図 32）：1 は草履芯。2 は用途不明の部材。3～6 は木製の箸。

6a 面遺構外出土遺物（図 32）

6a 面の遺構面精査時に検出した遺物。7 は山茶碗。8 は常滑甕。

第 9 節 その他の遺物

試掘や攪乱より出土した保存状況のよい遺物を提示しておく（図 32）。9～13 は試掘時に出土した遺物で、9～11 はかわらけ。12 は常滑片口鉢 I 類。13 は瀬戸緑釉小皿。14～17 は攪乱出土。いずれも小型かわらけ。

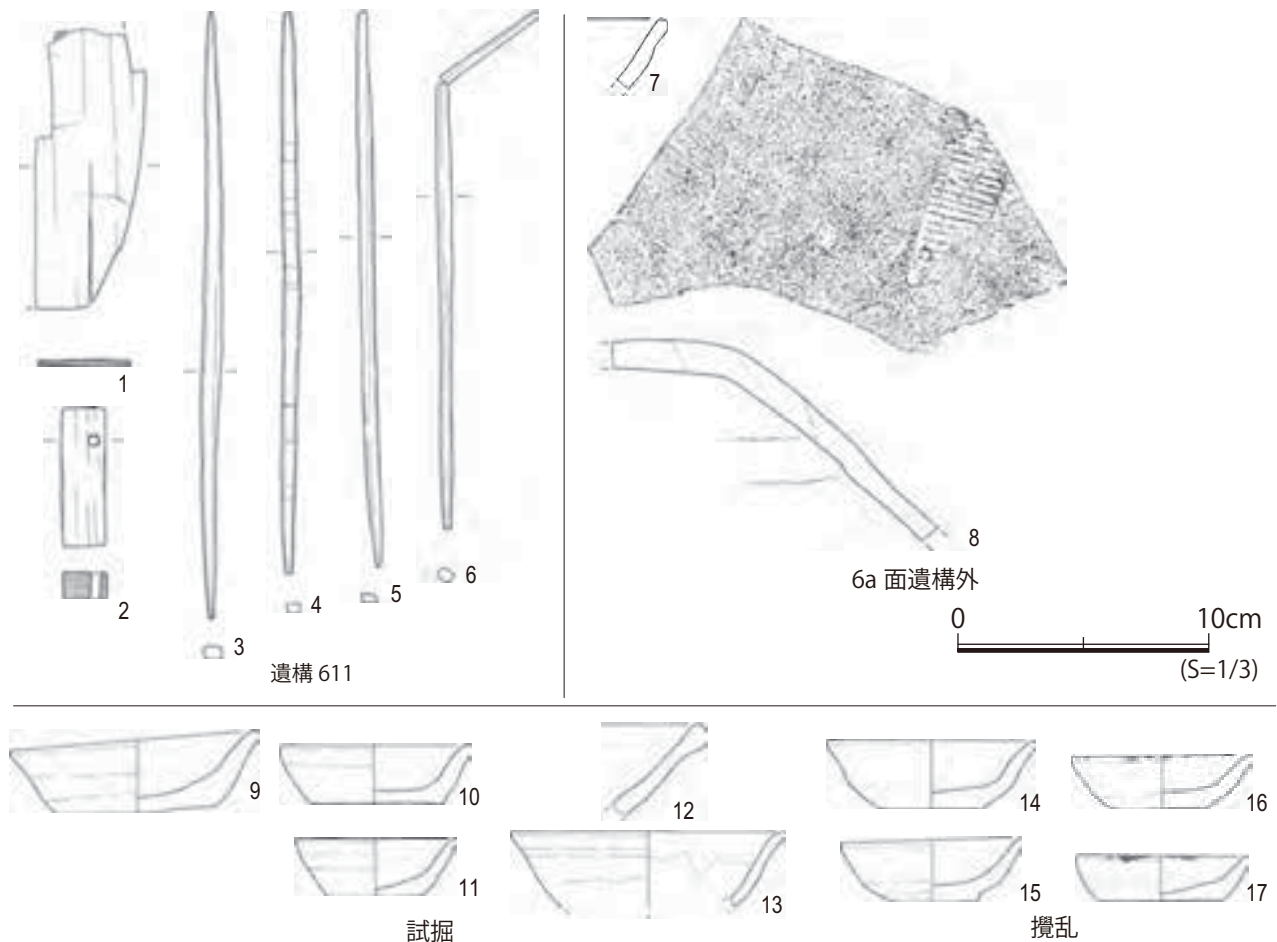


図 32 第 6 a 面出土遺物ほか

第三章 考察とまとめ

中世は生活面が6面検出され、それぞれに建造物が確認された。面の地業は第1面、第2面は泥岩を多用してしっかりとした面を構築している。6面以下は黒色に近く粘性の高い土が深く続いており、遺構などは検出できず地山と判断した。尾根がすぐ東に迫っているが、岩盤を確認するには至らなかった。

第1面

小粒の泥岩碎片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、ほぼ平坦で、確認レベルは海拔22.04～22.13となる。第1面での検出遺構は少なくとも3期の切り合いがある。検出遺構はピット17穴・土坑8基、溝2条で、ピットは少数で明確な建物址の存在は不明である。重機の掘削痕が見られ、上層部や一部の地面は後世の破壊を受けている。調査区東側には東北-西南方向に走る溝が1条検出された。南端はやや不明瞭だが幅が広がっており、西に分岐している可能性もある。溝には大量の大型泥岩塊、凝灰質砂岩塊が見られ、廃棄する際に投げ捨てたものと推定される。この溝は、隣接する十二所字積善944番1、945番7、10地点の第1面の溝と一連のもので、つながっていると考えられる。中央付近の地面はやや大型の泥岩を密に敷き詰めた地業が広がる。北側はそうした地業がみられず、土には多量の炭化物が含まれており、火災の整地層の可能性もある。西側の溝は細く、北側は後世の破壊で消失してしまっている。東側の溝がこの面では最も新しい遺構である。出土遺物は、かわらけ・舶載青磁・国産陶磁器が主体であり、瓦器・瓦質火鉢、銅製品、石製品も一定数みられる。1面の時期は15世紀中頃に属すると考えられる。

第1a面

第1面より炭層および密な泥岩地業を除去した面を1a面とした。暗褐色粘質土を主とした地業層であり、泥岩粒を多く含む。検出レベルはおおよそ海拔21.95～22.04mで、遺構はピット9穴・土坑10基、石組遺構2基である。掘立柱建物址の存在は明確ではない。第1a面で発見した遺構は少なくとも4時期の時間差がある。西南では泥岩と鎌倉石を列状に配した構造物があり、その南側は小粒の泥岩塊によって密な地業がほどこされている。西北でも板状の凝灰質砂岩を組み合わせた構築物があり、軸はほぼ共通しているが、遺構の機能は不明である。出土遺物は、かわらけが主体で、舶載青磁・国産陶磁器、瓦器・瓦質火鉢、鉄製品、石製品が少数みられる。1a面の時期は1面と大差なく15世紀中頃と考えられる。

第2面

第2面は小粒の泥岩碎片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、検出レベルはおおよそ海拔21.94～22.0mである。遺構はピット45穴・土坑16基、溝1条である。調査区西側では掘立柱建物址の存在が推定できるが明確なプランは復元できなかった。遺構の切りあいより少なくとも4時期の時間差があると考えられる。北側には細く浅い溝が方形に配されており、なんらかの区画であると思われる。西南側には薄いが、小粒泥岩による密な地業が見られるが、調査区内ではごく一部で調査区以南にも続いている。遺物は、かわらけが主体で、舶載陶磁器・国産陶磁器、瓦質火鉢、鉄釘、砥石などが一定数みられる。2面の時期は出土遺物より15世紀初頭と考えられる。

第3面

第3面は小粒の泥岩碎片を多く含む暗褐色粘質土の地業面でほぼ平坦であり、確認レベルはおよそ海拔21.76～21.84 mである。遺構はピット75穴・土坑19基、井戸1基、石組遺構1基を検出した。東側は1面の溝の掘り込みによって失われているが、第3面に属するものと判断した。井戸は北側の調査区壁面に接して検出され、北半分は調査区外にあたっている。直上からは大量にかわらけが廃棄された大型の土坑が検出されている。そのため井戸の掘り込みは削平されている。南側ではピットが複数検出され、掘立柱建物の存在が示唆されるが、明確なプランは明らかにしえなかった。調査区西壁に接して、板状の凝灰質砂岩を縦と横に組み合わせた構造物が検出された。直交する形で組み合わせられるようであるが、主体は調査区外にあたり、その機能などは詳細が不明である。遺物はかわらけ主体で、舶載陶磁器・国産陶磁器、瓦質火鉢、瓦、滑石鍋、鉄釘、自然遺物などが一定数出土している。井戸からは木製品が出土しているが、箸以外は部材などのみである。3面の時期はおおむね14世紀中頃と推定される。

第4面

第4面は小粒の泥岩碎片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海拔21.54～21.67 mでほぼ平坦である。遺構はピット108穴・土坑39基、溝1条である。遺構の切りあいより第4面で発見した遺構は、少なくとも4時期の時間差があると考えられる。ピットが多く検出され、特に西側では掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できなかった。東側では一部に砂質土が面上に広がり、西側の南では大型の泥岩塊が面的に敷き詰められた一角が見られ、東西では地業の様相に差異が見られる。調査区のほぼ中央を西北-東南方向に走るやや小規模な溝が1条確認された。溝に切られているピットが複数あるため、溝自体は4面でもやや新しいと考えられる。遺物は、かわらけ、舶載陶磁器・国産陶磁器、瓦質火鉢、瓦、滑石鍋、鉄釘、自然遺物などが一定数出土している。4面の時期はおおむね14世紀前半と推定される。

第5面

第5面は小粒の泥岩碎片を少数含む黄褐色粘質土の地業面で、確認レベルはおよそ海拔21.41～21.56 mであり、南側がやや低い。遺構はピット80穴・土坑22基、溝状遺構1条である。遺構の切りあいより第5面で発見した遺構は、少なくとも3時期の時間差があると考えられる。西側ではピット、土坑が多く、掘立柱建物の存在が推定できるが、上面からの遺構の削平が多いことなどもあり、やはり明確なプランの復元は困難である。東側では非常に大型の土坑が1基検出された。覆土は砂質土や炭化物層などが見られ、小型のピットが周囲にやや密に配置されている。出土遺物には際立った特徴が見られないが、規模や構造からもやや特殊な機能をもった遺構であり、この一面が西側とは違う土地利用のされ方をしていると考えられるが、正確な機能については判別することが難しい。出土遺物は、かわらけが主体で、舶載陶磁器・国産陶磁器、瓦質火鉢、鉄釘、砥石、木製品、自然遺物などが少数見られるのみである。5面の時期はおよそ13世紀後半から14世紀初頭と推定される。

第6面

第6面は黄褐色粘質土によって構成される面であり。確認レベルはおよそ海拔21.24～21.35 mで、ほぼ平坦である。検出遺構はピット113穴・土坑17基である。掘立柱建物址の存在が推定できるが明確なプランは復元できなかった。第6面で発見した遺構は少なくとも3時期の時間差があると考えら

れる。やや小型のピットが多数検出されたが、明確な建物址のプランは復元しえなかった。出土遺物はかわらけが主体で、舶載陶磁器、国産陶磁器などはごくわずかである。瓦が複数出土しているが、建物との関連などは明確ではない。第6面の時期はおおむね13世紀後半に属すると考えられる。

第6a面

第6a面は黄褐色粘質土によって構成される面であり、第2区において確認した。海拔21.13～21.19mである。遺構はピット23穴・土坑2基である。掘立柱建物址の存在が推定できるが明確なプランは復元できなかった。第6a面で発見した遺構は、少なくとも2時期の時間差があると考えられる。第1区では5面の大型土坑である遺構464の底面より掘り込みを確認した遺構があり、上面の掘り込みが不明であるが、遺構のレベルより6a面に属するものと判断した。遺物は少数で、かわらけ、国産陶磁器、木製品が見られる。第6a面の時期はおおむね13世紀後半に属すると考えられる。

第6a面以下は褐鉄によって硬化した層が厚く堆積しており、その下には黒褐色粘質土が、さらにその下には締まりのやや弱い暗灰色粘質土の堆積が確認された。それらの堆積は必ずしも平坦ではなく、遺物も出土していない。したがって、第6a面の黄褐色粘質土を地山と判断した。暗灰色粘質土がどこまで堆積しているか、岩盤が存在しているかは深堀の範囲(地表下3.2m)では確認することができなかったため、明らかではない。

以上を概観すると、当調査地点では、およそ13世紀の終わりに土地利用が始まり、複数の地業面の作り替えが行われていることが明らかになった。第5面の大型の土坑はその機能が不明な点があるが、単なる屋敷地とはいいたい利用のされ方であった可能性がある。第4面から第2面までは掘立柱建物を主体とした空間であり、14世紀から15世紀にかけては屋敷地であったと思われる。南側調査地点(図1:地点2)の5面で確認された石積み遺構については同様のものは本調査地点では確認できなかった。また第4面でも、南側の調査地点でみられたような溝や玉砂利面などの延長にあたる箇所は本調査地点では確認できず、両地点の距離は約12mであるが、土地利用の仕方は14世紀から15世紀にかけては異なるものであったと判断せざるを得ない。

第1面では最終的に大型の溝が構築され、15世紀中頃に大きく土地利用が変化したことが想定される。この溝は地点2でも確認されているため、比較的大規模なものであったと考えられ、やや広い範囲にわたって土地利用の再編が行われた可能性がある。しかし溝などの軸については1面以前とはややずれがあるもののおおむね共通している。それは地点2とも共通している。溝の方向などは現県道の方角とほぼ平行あるいは直交であり、それは道を挟んだ地点3(図1)ともやや差はあるが大きく変わらない。当時の六浦道がどのように構築されていたかは大きな課題であるが、少なくとも調査地点一帯についての建物などの基準となる軸は共通性の高いものであり、おそらくは六浦道との関わりで決定されていた可能性が高いのではないかと考えられる。

大慈寺、明王院、六浦道、また積善院や、周囲のやぐらとの関連などこの一帯については検討すべき点も多いが、現状では細かく検討するだけの資料に欠ける。当該地区の空間の開発状況については今後の資料増加によってさらなる検証が必要である。

表 1 中世出土遺物観察表

図番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm)				観察項目 a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
						口径	底径	器高	重	
7-1	表土層		土製品	ロクロ かわらけ(中)	ほぼ完形	10.4	6.2	3.1		a: 内底ナデ 外底回転糸切(左?) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 白色粒 良土 c: 橙色 e: 良好
7-2			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.6)	(4.4)	2.6		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 黄橙色 e: 良好
7-3			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	7.8	3.9	2.7		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色(断面中心部灰黄色) e: 良好 f: 口縁部一か所に煤付着
7-4			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	(6.9)	4.6	2.4		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 粗土 c: 赤橙色 e: 良好
7-5			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.1)	(5.0)	2.2		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 角閃石 やや粗土 c: 橙色(断面中心赤橙色) e: 良好
7-6			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.0)	(4.0)	2.1		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 赤橙色 e: 良好
7-7			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(6.6)	(4.6)	2.0		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好
7-8			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(6.5)	(4.1)	2.0		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 灰黄色 e: 良好
7-9			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(6.1)	(3.6)	2.0		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
7-10			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(6.2)	4.0	2.0		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 灰黄色 e: 良好
7-11			陶器	瀬戸 筒型香炉	口縁部片	—	—	[3.4]		a: ロクロ成形か b: 灰色 白色粒 d: 緑灰色 外面全体、内面口縁部付近にツケガケ(ナガシカケ?) e: 良好 f: 古瀬戸後期か
7-12			陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	—	—	[3.2]		a: 粘土紐輪積み技法 b: 褐色 砂粒 白色粒 c: にぶい褐色 e: 良好 f: 中野編年8~9型式か
7-13			土製品	南伊勢系 土鍋(羽釜)	口縁部片	—	—	[1.8]		b: 灰白色(断面中心部暗灰色) 砂粒 赤色粒 長石 c: 灰白色 ツバ先端付近灰色 e: 良好
7-14			土製品	丸瓦	筒部片	—	筒部高 [4.9]	厚さ 1.5		a: 凸面縄目叩き 凹面布目痕 b: 灰色 砂粒 白色粒 精良土 c: 灰色 e: 良好 f: 永福寺A類に相当か
7-15			石製品	基石(黒)	—	—	長さ 1.6	幅 1.9	厚さ 0.7	
7-16	1面		陶器	瀬戸 緑釉小皿	口縁部片	—	—	[1.3]		a: ロクロ成形 b: 淡黄色 白色粒 c: 淡黄色 d: 灰黄色 口縁部にツケガケ e: 良好 f: 古瀬戸後期後半
7-17			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	11.5	(7.6)	3.4		a: 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 角閃石 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
7-18			土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	11.3	7.5	3.2~ 3.8		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
7-19			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	6.8	5.4	2.0~ 2.3		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 粗土 c: 黄橙色 e: 良好
7-20			磁器	青磁 坏	口縁部片	—	—	[2.0]		b: 灰白色 精良 d: 灰緑色不透明 貫入あり f: 蓮弁文 龍泉窯系坏Ⅲ-5b類
7-21			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.2)	3.7	1.9~ 2.3		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 角閃石 やや良土 c: 橙色 e: 良好
7-22			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(6.6)	4.0	2.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 黒色粒 やや良土 c: 橙色 e: 良好 f: 外面器表黒色に変色
7-23			土製品	瓦器質火鉢	口縁部片	—	—	[8.3]		a: 粘土紐輪積み技法 内面横位ナデ b: 灰白色 砂粒 白色粒 小石粒 c: 外面灰色 内面灰白(下体部は灰色) e: 良好 f: 河野編年Ⅵ類
7-24			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	7.3	4.8	1.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 黒色粒 やや良土 c: 橙色 e: 良好
7-25			土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	9.7	5.4	2.9~ 3.1		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 底部1か所に穿孔あり(孔径0.5~0.7cm)
7-26			土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/4	(10.7)	(6.4)	3.3		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや良土 c: 橙色 e: 良好
7-27			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(9.4)	(5.6)	3.2		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好
7-28			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(8.0)	5.2	2.3		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
7-29			土製品	ロクロ かわらけ(小)	5/6	8.0	5.3	1.8		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
7-30			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.3)	4.2	2.1~ 2.4		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
7-31	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(6.5)	(4.7)	2.1		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好		
7-32	土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	6.0	4.0	2.0~ 2.2		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好		
7-33	磁器	青磁 鎗蓮弁文碗	口縁部片	—	—	[4.0]		b: 灰色 精良堅緻 d: 緑灰色透明 薄い 貫入あり f: 蓮弁文 龍泉窯系Ⅱb類?		
7-34	陶器	常滑 甕	口縁部片	—	—	[7.9]	緑帯幅 6.0	a: 粘土紐輪積み技法 b: 暗灰黄色 長石 微砂 白色粒 c: 口縁~内面褐色 外面暗灰黄色 d: 灰色(緑帯部~頸部外面に降灰) e: 良好 f: 中野編年9~10型式		
7-35	陶器	常滑 甕	口縁部片	—	—	[6.0]	緑帯幅 5.3	a: 粘土紐輪積み技法 b: 灰色 長石 微砂 c: にぶい赤褐色 d: 緑灰色(緑帯部に降灰、ほとんど剥落) e: 良好 f: 中野編年8~9型式		
7-36	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	—	—	[7.2]		a: 粘土紐輪積み技法 口縁ヨコナデ 外面指頭調整 b: 灰色 砂粒 長石 白色粒 c: 内面にぶい褐色 外面にぶい黄褐色(口縁灰褐色) e: 良好 f: 内面摩滅 中野編年10型式か 復元、傾き確認		
7-37	陶器	瀬戸 器種不明	口縁部片	—	—	[2.9]		a: ロクロ成形 b: 黄橙色 白色粒 d: 灰黄色 全面にツケガケ(ナガシカケ?) e: 良好		

図番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
7-38	1面	26	陶器	瀬戸 卸皿	1/5	(12.0)	—	[2.9]	a: ロクロ成形か b: 灰色 白色粒 c: 灰色 d: 灰緑色透明 口縁部にツケガケ e: 良好 f: 古瀬戸後Ⅲ期	
7-39			陶器	瀬戸 卸皿	1/4	—	(8.0)	[1.4]	a: ロクロ成形 外底回転系切 b: 灰色 長石 d: 灰緑色透明 口縁部～上体部にツケガケか e: 良好 f: 古瀬戸後期	
7-40			陶器	瀬戸 折縁中皿	1/3	—	(7.2)	[1.2]	a: ロクロ成形 外底回転系切(右) b: 灰色 白色粒 c: 灰色 d: 緑灰色 内底に降灰 e: やや弱いか f: 古瀬戸後期後半か	
7-41			土製品	かわらけ 加工品	—	長さ [3.3]	幅 [3.5]	厚さ 0.4～0.7	b: 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 黄灰色 f: 底部破片の全体を研磨したもの(自然摩滅の可能性もある)	
7-42			石製品	鉢か白	1/5	(18.0)	—	[6.4]	f: 内面摩滅	
7-43			磁器	白磁 口禿皿	口縁部片	—	—	[1.2]	b: 灰色 精良堅緻 d: 透明 薄い f: 口唇部釉はぎ	
7-44			陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部片	—	—	[4.2]	a: 粘土紐輪積み技法 b: 灰白色 微砂 白色粒 c: 灰白色 d: 緑灰色(口縁部、体部内面に降灰) e: 良好 f: 中野編年Ⅵ型式か	
7-45			陶器	瀬戸 折縁深皿	口縁部片	—	—	[2.3]	a: 粘土紐輪積み後、ロクロ成形か? b: 灰白色 白色粒 d: 灰緑色透明 残存部全体にナガシカケ e: 良好 f: 古瀬戸後Ⅲ期	
7-46			陶器	小壺か	胴部片	—	—	—	b: におい 橙色 微砂 白色粒 c: 内面無釉の部分は褐色 d: 鉄釉? 灰釉?? 内面一部に釉だれ 被熱による変色ありか e: 良好	
7-47			土製品	瓦器質 土風炉	口縁～頸 部片	—	—	[4.4]	a: 粘土紐輪積み技法 内外ヨコミガキ b: 灰白色 砂粒 白色粒 c: 灰色 e: 良好 f: 頸部に六弁花(桜の変形?) スタンプ押印	
7-48			土製品	瓦器質 香炉	体部片	—	—	—	a: ミガキ b: 灰白色 砂粒 c: 灰色 e: 良好 f: 雷文スタンプ押印	
7-49			土製品	瓦器質 火鉢	口縁部片	—	—	[6.2]	a: 粘土紐輪積み技法か 珠文貼り付け 口縁部～外面ミガキ b: 灰白色 赤色粒 白色粒 小石粒 c: 灰色～灰白色 e: 良好 f: 河野編年ⅣB類 雷文スタンプ	
7-50			土製品	土器質火鉢	口縁部片	—	—	[5.3]	a: 粘土紐輪積み技法 口縁部～内面ヨコナデ 外面下体部指頭調整 b: 橙色 雲母 赤色粒 白色粒 c: 橙色 e: 良好 f: 河野編年ⅠC類 外面黒色に変色している箇所あり	
7-51			土製品	軒平瓦	—	—	—	瓦当部 厚さ [3.9]	a: 頸貼り付け b: 灰色～におい 黄褐色 微砂 白色粒 赤色粒 c: ? 色 e: 良好 f: 陽刻唐草文(極楽寺旧境内Ⅶ-B類) 下外区幅0.8cm 顎下面深さ2.7cm	
7-52			鉄製品	釘	—	長さ 4.9	幅 0.7	厚さ 0.6	f: 断面四角形に鍛造	
7-53			銅製品	銭	—	直径 2.3	内孔 0.6	重量 2.9g	f: 元豊通寶 北宋 1078年 行書	
7-54			石製品	鉢か白	口縁～体 部片	—	—	[12.2]	c: 黄灰色 f: 内面下部摩耗	
7-55			土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/6	(10.2)	(5.9)	3.0	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 橙色 e: 良好	
7-56			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.2)	(4.2)	2.5	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 黒色粒 良土 c: 橙色(断面中心部黒色) e: 良好	
7-57			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/5	(7.3)	(4.3)	2.4	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 橙色 e: 良好	
7-58			陶器	常滑 転用品	—	長さ [7.3]	幅 5.9	厚さ 1.5	b: 橙色 長石 白色粒 小石 c: 内面灰褐色 外面におい 褐色 e: 良好 f: 常滑甕の破片を擦っている	
8-59			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(13.6)	8.9	3.3	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 橙色 e: 良好	
8-60			土製品	ロクロ かわらけ(中)	ほぼ完形	12.4	7.4	3.4	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 橙色 e: 良好	
8-61			土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/3	(11.9)	(7.0)	3.4	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 黒色粒 やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好	
8-62			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/4	(12.8)	(8.1)	3.9	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好	
8-63			土製品	ロクロ かわらけ(中)	2/3	12.0	6.4	3.7	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好	
8-64	土製品	ロクロ かわらけ(中)	9/10	10.4	6.3	3.3	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 橙色 e: 良好			
8-65	土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/6	(10.4)	(6.4)	3.2	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好			
8-66	土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/2	(10.1)	6.6	3.3	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 白色粒 角閃石 やや粗土 c: 橙色 e: 良好			
8-67	土製品	ロクロ かわらけ(小)	9/10	7.9	5.2	2.5	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好			
8-68	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.9)	(5.1)	2.1～ 2.4	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好			
8-69	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.7)	4.2	2.1	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 橙色 e: 良好			
8-70	土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	6.2	4.0	2.0	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 角閃石 やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好			
8-71	土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.2	4.3	1.9～ 2.1	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 内外上端部全体に煤			
8-72	土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	6.3	4.1	2.0	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 角閃石 やや粗土 c: 橙色 e: 良好			
8-73	磁器	青磁 皿	底部片	—	—	[0.9]	b: 灰白色 精良 d: 灰緑色不透明 厚い 貫入あり f: 双鱼文 龍泉窯系Ⅲ-3c類			
8-74	陶器	瀬戸 緑釉小皿	口縁部片	—	—	[2.2]	b: 灰色 白色粒 c: 外面無釉の部分のみ褐色 d: 内面刷毛塗り→内外口縁付近ツケガケ e: 良好 f: 古瀬戸後期前半			
8-75	陶器	常滑 転用品	—	長さ 9.1	幅 5.2	厚さ 1.3	f: 常滑甕の破片を擦っている			
8-76	石製品	砥石	—	長さ [2.8]	幅 [2.2]	厚さ 0.3	c: 黄味灰色 f: 仕上げ砥 2面使用 側面1か処の工具痕は明瞭でない			

図番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm)				観察項目	
						口径	底径	器高	重		
8-77	1面	外遺構	銅製品	銭	—	直径 2.47	内孔 0.65	重量 2.8g		f: 元豊通寶 北宋 1078年 篆書	
8-78		土製品	かわらけ(中)	1/2	(11.4)	(6.2)	3.3		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好		
8-79		土製品	かわらけ(中)	完形	10.6	6.5	3.2~3.4		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好		
8-80		土製品	かわらけ(中)	1/3	(10.4)	(6.0)	3.3		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好		
8-81		土製品	かわらけ(小)	1/3	(7.6)	(4.6)	2.6		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 黄灰色 e: 良好		
8-82		土製品	かわらけ(小)	ほぼ完形	7.0	4.0	2.5~2.8		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 黄橙色 e: 良好		
8-83		陶器	瀬戸 卸皿	底部片	—	6.4	[2.1]		a: ロクロ成形 b: 灰色 白色粒 c: 灰色 d: 上部部に灰袖ツケガケか? 外面に飛び散りがみられるのみ e: 良好		
8-84		石製品	硯	—	長さ [7.1]	幅 6.5	高さ 2.0		c: 灰色		
8-85		鉄製品	釘	—	長さ [4.5]	幅 0.7	厚さ 0.7		f: 断面四角形に鍛造		
8-86		骨製品	加工骨	—	長さ [6.4]	幅 [1.5]	厚さ 1.1		f: 注記なし		
10-1	1a面	39	土製品	瓦器質 火鉢	脚部片	—	—	[5.1]		a: 粘土紐輪積み技法か 脚部貼り付け 外体面ミガキ 内面ナデ b: 灰白色 微砂 c: 灰色 e: 良好 f: 河野編年IV A または、IV B 類	
10-2		40	陶器	瀬戸 折縁中皿	口縁部片	—	—	[2.8]		a: ロクロ成形か? b: 灰白色 白色粒 c: 灰白色 d: 灰緑色 口縁部~上部部にツケガケ(またはナガシカケ) e: 良好 f: 古瀬戸後III期	
10-3		42	土製品	瓦器質 火鉢	口縁部片	—	—	[5.4]		a: 粘土紐輪積み技法か 口縁部ミガキ b: 灰白色 微砂 赤色粒 小石粒 c: 灰色 e: 良好 f: 河野編年IV類 外面は器表の摩滅が著しい	
10-4		43	土製品	かわらけ(小)	1/2	(7.6)	4.5	2.2		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
10-5		44	土製品	かわらけ(大)	1/4	(11.4)	(6.4)	3.3		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
10-6			土製品	かわらけ(中)	1/5	(10.2)	(6.5)	3.1		a: 内底ナデ 摩滅し外底回転系切不明瞭 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 黒色粒 やや良土 c: 黄橙色 e: 良好	
10-7			土製品	かわらけ(小)	2/3	8.3	4.8	2.8		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 黄橙色 e: 良好	
10-8			土製品	かわらけ(小)	3/4	8.0	5.0	2.6		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 角閃石 良土 c: 黄橙色 e: 良好	
10-9			土製品	かわらけ(小)	2/3	(7.5)	4.8	3.0		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 黒色粒 やや良土 c: 灰黄色 e: 良好	
10-10			土製品	かわらけ(小)	9/10	6.8	4.2	2.2		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 黄橙色 e: 良好	
10-11			45	土製品	かわらけ(小)	完形	7.7	5.7	2.6		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 角閃石 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
10-12			46	土製品	かわらけ(大)	1/5	(12.2)	(7.2)	3.8		a: 内底ナデ不明瞭 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 角閃石 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
10-13		陶器		瀬戸 入子	1/4	(4.4)	(3.0)	1.5		a: ロクロ成形 底部回転系切り b: 灰白色 c: 灰白色 d: 緑灰色 口縁~内面降灰 e: 良好 f: 古瀬戸中期	
10-14		48	土製品	かわらけ(中)	1/3	(11.1)	(7.3)	3.6		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
10-15			土製品	瓦器質 香炉	口縁~底部片	—	—	[3.9]		a: 粘土紐輪積み技法 外面~内面口縁付近までヨコミガキ 外底部ミガキ b: 淡橙色 砂粒 白色粒 赤色粒 c: 淡橙色 口縁部付近のみ灰色 e: 良好	
10-16			土製品	かわらけ(中)	1/5	(10.6)	(6.5)	3.3		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 角閃石 やや良土 c: 橙色 e: 良好	
10-17			土製品	かわらけ(小)	ほぼ完形	7.3	5.4	2.0~2.2		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 橙色 e: 良好 f: 内外面 1/4 ほど黒色に変色	
10-18			土製品	かわらけ(小)	1/5	(6.5)	(4.6)	1.9		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
10-19			陶器	常滑 片口鉢II類	底部~下部部片	—	—	[6.5]		a: 粘土紐輪積み技法 外面ナデ 指圧痕 b: 灰黄褐色 長石 微砂 c: 灰黄褐色 d: 内面体部上方にわずかに降灰 e: 良好 f: 内面全体摩滅	
10-20			銅製品	銭	—	直径 2.4	内孔 0.6	重量 2.4g		f: 大観通寶 北宋 1107年 行書	
10-21			土製品	かわらけ(小)	2/3	(8.0)	4.8	2.1~2.5		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 角閃石 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
10-22		構成土	土製品	かわらけ(大)	1/5	(14.0)	(8.5)	3.6		a: 内底ナデ 外底回転系切 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
10-23			土製品	かわらけ(大)	1/5	(12.8)	(7.7)	3.9		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
10-24			土製品	かわらけ(大)	1/3	(12.2)	(7.8)	2.8		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕不明瞭 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 橙色 e: 良好	
10-25			土製品	かわらけ(中)	1/3	(11.7)	(7.3)	3.3		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕不明瞭 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 橙色 e: 良好	
10-26			土製品	かわらけ(中)	1/4	(10.9)	(6.5)	3.4		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕不明瞭 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 橙色 e: 良好	
10-27			土製品	かわらけ(中)	1/3	(10.9)	(6.2)	3.6		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕不明瞭 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 橙色 e: 良好	
10-28			土製品	かわらけ(中)	1/4	(10.8)	(6.8)	3.5		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕不明瞭 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 橙色 e: 良好	
10-29			土製品	かわらけ(小)	完形	9.5	5.5	3.0~3.4		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
10-30			土製品	かわらけ(小)	1/3	(7.8)	4.0	2.3		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	

図番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm)			観察項目 a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考	
						口径	底径	器高		重
10-31	1a面	構成土	土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	6.9	5.0	2.1~2.4	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
10-32			土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	6.8	4.5	2.1	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 橙色 e: 良好	
10-33			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(6.7)	(4.2)	2.0	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 橙色 e: 良好	
10-34			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(6.3)	(4.2)	2.0	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 橙色 e: 良好	
10-35			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/5	(6.1)	(4.0)	1.9	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好	
10-36			鉄製品	釘	—	長さ [3.6]	幅 0.7	厚さ 0.6	f: 断面四角形に鍛造 先端折れ曲がる	
10-37			鉄製品	釘	—	長さ [5.6]	最大幅 1.1	最大厚 0.8	f: 錆に覆われる	
10-38			石製品	砥石	—	[4.0]	3.1	0.3	b: 頁岩 c: 灰色 f: 仕上げ砥 2面使用	
12-1	2面	50	土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	(12.2)	7.5	3.3	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
12-2			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.0)	(4.9)	2.3	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 角閃石 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
12-3			56	陶器	産地不明	底部片	—	—	[3.4]	a: 粘土紐輪積み技法→ロクロ成形か b: 灰色 白色粒 c: 灰色 d: 灰白色 内面に降灰 e: 良好
12-4			57	土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	7.1	5.1	1.9~2.4	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 黒色粒 泥岩粒 粗土 c: 橙色 e: 良好
12-5			61	土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	6.7	4.0	2.0~2.2	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 橙色 e: 良好
12-6			64	陶器	瀬戸 折縁深皿	口縁部片	—	—	[2.0]	a: ロクロ成形? b: 灰白色 d: 灰緑色 残存部全体にナガシカケ e: 良好 f: 古瀬戸中Ⅲ期
12-7			75	土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	11.4	6.7	2.9~3.3	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
12-8				陶器	瀬戸 入子	1/6	(3.6)	(2.9)	1.1	a: ロクロ成形か 外底回転系切後ケズリか板状圧痕 b: 灰白色 白色粒 c: 灰白色 d: 緑灰色 口縁部に降灰 e: 良好 f: 古瀬戸中期
12-9			76	土製品	ロクロ かわらけ(小)	9/10	6.9	4.4	1.8~2.3	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 角閃石 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
12-10				鉄製品	釘	—	長さ 5.8	幅 [1.0]	厚さ [1.0]	f: 断面四角形に鍛造
12-11			78	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/4	(13.0)	(8.7)	3.5	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
12-12				土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.4)	(5.0)	2.1	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 赤褐色 断面中心黒色 e: 良好
12-13			94	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(14.1)	(10.0)	3.8	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや良土 c: 橙色 e: 良好
12-14				土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(13.4)	8.8	3.8	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 黄橙色 e: 良好
12-15				土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(13.8)	8.4	3.7	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 黒色粒 良土 c: 黄橙色 e: 良好
12-16				土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(12.8)	(8.8)	3.9	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 橙色 e: 良好
12-17				土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(12.8)	(8.3)	3.9	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 橙色 e: 良好
12-18				土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/3	(11.6)	(7.0)	3.1	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 黄橙色 e: 良好
12-19				土製品	ロクロ かわらけ(中)	ほぼ完形	11.4	7.2	3.5	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 橙色 e: 良好
12-20				土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.9)	(5.0)	1.7	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 黄橙色 e: 良好
12-21				土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.1)	4.5	2.5	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 角閃石 やや良土 c: 橙色 一部赤橙色 e: 良好
12-22				陶器	常滑? 舶載? 壺	口縁部片	—	—	[4.5]	a: 粘土紐輪積み技法 b: 灰色 微砂 白色粒 c: 内面褐色 外面褐色 d: 緑灰~淡黄色(外面、口縁部、肩部に降灰) e: 良好 f: 常滑広口壺、玉縁壺などか 11~12 型式? 舶載褐釉壺?
12-23				陶器	瀬戸 緑釉小皿	2/3	11.2	4.9	2.1	a: ロクロ成形か 外底回転系切(右) b: 淡黄色 砂粒 c: 淡黄色 外面一部褐色 d: 灰緑色 口縁部にツケガケ e: 良好 f: 古瀬戸後Ⅲ期
12-24				陶器	瀬戸 緑釉小皿	口縁部片	—	—	[2.6]	a: ロクロ成形か b: 灰白色 砂粒 c: 灰白色 d: 灰緑色 口縁部にツケガケ e: 良好 f: 古瀬戸後期
12-25				鉄製品	釘	—	長さ 5.2	幅 1.2	厚さ 0.8	f: 断面四角形に鍛造
12-26				鉄製品	釘	—	長さ [3.9]	幅 0.8	厚さ 0.3	f: 断面四角形に鍛造
12-27				鉄製品	釘	—	長さ [3.0]	幅 0.6	厚さ 0.6	f: 断面四角形に鍛造
12-28				95	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(13.0)	(8.0)	3.5
12-29			土製品		ロクロ かわらけ(大)	1/3	(12.0)	(7.9)	3.3	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 橙色 e: 良好
12-30			土製品		ロクロ かわらけ(小)	9/10	7.2	4.2	2.3~2.5	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好
12-31			土製品		ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.3)	(5.0)	1.7	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 角閃石 やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好
12-32			磁器		白磁 口元皿	口縁部片	—	—	[1.4]	b: 白色 精良堅緻 d: 灰白色透明 薄い f: 口唇部はぎ 龍泉窯系Ⅹ類

図番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm)				観察項目	
						口径	底径	器高	重		
12-33	2面	95	陶器	瀬戸 緑釉小皿	口縁部片	-	-	[1.6]		a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考 a: ロクロ成形か 底部回転系切り b: 灰白色 c: 灰白色 d: 灰緑色 残 存部全体ツケガケか e: 良好 f: 古瀬戸後期か	
12-34			石製品	瓦器質火鉢	底部片	-	-	[7.6]		a: 粘土紐輪積み技法か 内面ナデ 外面ミガキ b: 灰色 微砂 雲母 長石 c: 灰色 外面、外面底部は暗灰色 e: 良好 f: 河野編年VI類	
12-35			鉄製品	釘か	-	長さ [3.9]	幅 1.2	厚さ 0.9		f: 断面四角形に鍛造	
12-36		99	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(12.4)	7.4	3.3		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 角閃石 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
12-37			土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/3	(11.2)	(6.5)	3.5		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 角閃石 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
12-38		100	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/5	(11.2)	(6.4)	3.3		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 良土 c: 橙色 e: 良好	
12-39		104	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/8	(12.3)	(7.4)	3.1		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕不明瞭 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 やや良土 c: 橙色 e: 良好	
12-40			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	6.6	4.6	2.0		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 良土 c: 黄橙色 e: 良好	
12-41			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.4)	(5.8)	2.1		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 角閃石 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
12-42			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	6.6	4.6	2.0		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 やや良土 c: 橙色 e: 良好	
12-43			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(6.5)	4.4	1.8 ~ 2.1		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 やや良土 c: 橙色 e: 良好	
12-44			105	土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(12.5)	7.5	3.3		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 良土 c: 黄橙色 e: 良好
12-45				土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	(7.1)	4.0	2.0		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 角閃石 良土 c: 黄橙色 e: 良好
12-46			106	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/6	(6.4)	(5.0)	1.5		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 良土 c: 灰黄色 e: 良好
12-47				鉄製品	釘	-	長さ 4.8	幅 0.7	厚さ 0.4		f: 断面四角形に鍛造
12-48				銅製品	銭	-	直径 2.4	内孔 0.5	重量 3.3g		f: 景口元寶
12-49		107	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(12.0)	(8.2)	2.3		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
12-50			陶器	常滑 片口鉢II類	2/3	31.2	13.6	10.0 ~ 10.7		a: 粘土紐輪積み技法 b: 橙~灰褐色 小石 長石 c: 内外面赤褐色~橙 色 d: 白色 内面上部に降灰 e: 良好 f: 片口部内面線刻 内面摩耗 10~11型式か	
12-51			鉄製品	釘	-	長さ [5.3]	幅 0.6	厚さ 0.4		f: 断面四角形に鍛造	
12-52		108	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/5	(11.3)	(6.4)	2.7		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕不明瞭 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 良土 c: 橙色 e: 良好	
12-53			陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[2.2]	緑帯幅 [1.4]	a: 粘土紐輪積み技法 b: 黄灰色 長石 白色粒 c: 灰褐色 e: 良好 f: 中野編年5型式	
12-54		109	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/10	(7.8)	(6.0)	1.5		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕不明瞭 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 角閃石 良土 c: 黄橙色 e: 良好	
12-55			鉄製品	釘	-	長さ 6.5	幅 0.4	厚さ 0.5		f: 断面四角形に鍛造 先端折れ曲がる	
13-56		110	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/7	(12.2)	(7.3)	3.8		a: 内底ナデ・外底回転系切・板状圧痕不明瞭 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
13-57			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/7	(11.7)	(7.6)	3.3		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 やや良土 c: 黄橙色 e: 良好	
13-58			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(6.8)	(4.5)	2.2		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 角閃石 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
13-59			土製品	白かわらけ	口縁部片	-	-	[2.2]		a: 小片のため技法不明 b: 灰白色 微砂 黒色粒 やや粗土 c: 白色(口 縁部付近) 灰白色(体部) e: 良好	
13-60		遺構外	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(6.6)	(4.3)	2.1		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 黒色粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 口唇部に煤付着	
13-61			陶器	不明	口縁部片	-	-	[4.2]		b: 灰色 長石 白色粒 c: 灰褐色 e: 良好	
13-62		構成土	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(13.1)	(8.0)	3.4		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 良土 c: 橙色 e: 良好	
13-63			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(13.1)	8.6	3.2		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 良土 c: 橙色 e: 良好	
13-64			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/5	(12.3)	(6.6)	3.1		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
13-65			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(12.4)	7.5	3.1		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
13-66			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/4	(12.0)	(7.4)	3.2		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
13-67			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/4	(12.8)	(8.0)	3.5		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色(断面中心部灰色) e: 良好	
13-68			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/4	(11.5)	(6.5)	3.4		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 角閃石 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
13-69			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(11.8)	(6.6)	3.3		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 良土 c: 橙色 e: 良好	
13-70			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(9.4)	(5.6)	2.7		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
13-71			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(8.6)	(6.8)	1.6		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 良土 c: 黄灰色 e: 良好 f: 全体に被熱により黒色を呈す	
13-72			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.2)	(4.7)	1.8		a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 全体に被熱により黒色を呈す	

図番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm)			観察項目		
						口径	底径	器高		重	
13-73	2面	構成土	土製品	ロクロかわらけ(小)	1/4	(8.5)	(5.6)	2.1	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考 a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 黒色粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好		
13-74			土製品	ロクロかわらけ(小)	完形	7.0	4.6	2.0 ~ 2.2	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好		
13-75			土製品	ロクロかわらけ(小)	2/3	6.9	4.2	1.8	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好		
13-76			土製品	ロクロかわらけ(小)	9/10	7.0	3.7	2.2 ~ 2.4	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 底部中央に穿孔		
13-77			土製品	ロクロかわらけ(小)	ほぼ完形	7.0	4.6	2.1 ~ 2.3	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好		
13-78			磁器	青磁碗	口縁部片	-	-	[3.2]	b: 灰色 白色粒 やや粗い d: 灰緑色半透明 薄い f: 蓮弁文 龍泉窯 系碗 I -1a 類		
13-79			土製品	東濃型山茶碗	1/7	(10.4)	(4.2)	3.4	a: ロクロ成形 b: 灰白色 白色粒 c: 灰白色 d: 灰色 口縁部に自然降灰 e: 良好 f: 北部系東濃型(脇之島)		
13-80			陶器か	不明	口縁部片	-	-	[4.4]	b: 灰色 砂粒 白色粒 c: 褐色 d: 緑灰~淡黄色 外面に自然降灰 e: 良好		
13-81			陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	底部片	-	-	[4.6]	a: 粘土紐輪積み技法 b: にぶい橙~褐灰色 砂粒 白色粒 長石 c: 内面: にぶい橙~褐灰色 外面: にぶい橙~褐色 e: 良好 f: 内面摩耗 中野編年 6a ~ 11 型式か		
13-82			陶器	瀬戸入子	口縁部片	-	-	[1.5]	a: ロクロ成形→口縁輪花に成形 b: 灰白色 白色粒 c: 灰白色 d: 緑灰色 口縁部付近に降灰 e: 良好 f: 古瀬戸前Ⅲ~中Ⅱ期		
13-83			陶器	瀬戸摺鉢	口縁部片	-	-	[2.8]	a: 粘土紐輪積み→ロクロ成形か 内外ヨコナデ b: 灰色 白色粒 d: 鉄釉全体にナガンカケか 口縁部付近に降灰 e: 良好 f: 古瀬戸後Ⅳ期		
13-84			土製品	瓦器質火鉢	口縁部片	-	-	[5.8]	a: 粘土紐輪積み技法 外面、口縁ミガキか b: 灰白色 微砂 c: 灰色 内面部分的に灰白色 e: 良好 f: 菊花文スタンプ押印 河野編年Ⅵ類		
13-85			土製品	瓦器質火鉢	口縁部片	-	-	-	a: 粘土紐輪積み技法 外面スタンプ押印 沈線 ミガキ b: 灰白色 微砂 c: 灰色 e: 良好 f: 河野編年ⅣA類		
13-86			土製品	瓦器質火鉢	口縁部片	-	-	[4.6]	a: 粘土紐輪積み技法 外面ミガキ 内面ミガキか b: 灰白色 微砂 白色粒 黒色粒 c: 灰白~灰色 e: 良好 f: 菊花押印 河野編年Ⅲ類		
13-87			土製品	平瓦	-	-	-	2.4	a: 凸面斜格子叩き 離れ砂 凹面ナデ 離れ砂 b: 灰白色 白色粒 精緻 c: 灰白色 e: 良好 f: 永福寺c類か		
13-88			石製品	砥石	-	長さ [5.7]	幅 2.8	厚さ 1.5	c: 灰白色 f: 中砥 上野産か 2面使用		
13-89			石製品	砥石	-	長さ [3.5]	幅 3.0	厚さ 0.9	a: 側面生産地加工痕残る b: 頁岩 c: 灰白色 f: 仕上げ砥 鳴滝産 2面使用		
13-90			鉄製品	釘	-	長さ 5.2	幅 [1.0]	厚さ [0.8]			
13-91			鉄製品	釘	-	長さ 4.7	幅 [0.9]	厚さ [0.8]			
13-92			鉄製品	釘	-	長さ 3.8	幅 1.1	厚さ 0.7	f: 断面四角形に鍛造		
13-93			鉄製品	釘	-	長さ 3.8	幅 1.3	厚さ 0.8	f: 断面四角形に鍛造		
13-94			鉄製品	釘	-	長さ 3.5	幅 1.0	厚さ 0.7	f: 断面四角形に鍛造		
13-95			鉄製品	釘	-	長さ [4.2]	幅 [0.9]	厚さ [0.8]	f: 断面四角形に鍛造		
15-1			3面	111	土製品	ロクロかわらけ(小)	1/4	(8.1)	(5.4)	2.1	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 外面部分的に赤橙色 e: 良好
15-2					土製品	ロクロかわらけ(小)	完形	7.2	6.6	1.1 ~ 1.6	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 赤橙色 e: 良好
15-3	陶器	常滑転用品			-	長さ 6.9	幅 6.9	厚さ 1.3	f: 常滑甕の肩部破片を擦っている		
15-4	土製品	ロクロかわらけ(大)			1/3	(12.2)	7.0	3.3	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや良土 c: 橙色 e: 良好		
15-5	土製品	ロクロかわらけ(小)			完形	8.0	4.1	1.5 ~ 1.8	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 黄橙色 e: 良好		
15-6	磁器	青白磁器種不明			-	-	-	厚さ 0.6	b: 白色 精良堅緻 d: 水青色半透明 薄い f: 水柱の把手か、壺の耳か		
15-7	鉄製品	釘			-	長さ [4.7]	幅 0.6	厚さ 0.5	f: 断面四角形に鍛造		
15-8	鉄製品	釘			-	長さ [4.6]	幅 0.8	厚さ 0.5	f: 断面四角形に鍛造		
15-9	鉄製品	釘			-	長さ [4.5]	幅 0.8	厚さ 0.6	f: 断面四角形に鍛造		
15-10	鉄製品	釘			-	長さ [4.0]	幅 0.6	厚さ 0.5	f: 断面四角形に鍛造		
15-11	鉄製品	釘			-	長さ 5.9	幅 0.9	厚さ 1.0	f: 断面四角形に鍛造		
15-12	石製品	砥石			-	長さ [2.8]	幅 3.5	厚さ 0.7	a: 側面生産地加工痕、小口残る b: 頁岩 c: 浅黄色 f: 仕上げ砥 1面使用 裏面自然剥離		
15-13	陶器	褐釉壺			体部片	-	-	-	b: 灰黄褐色 白色粒 精良堅緻 d: 黒褐色 内外施釉 外面気泡あり e: 良好		
15-14	土製品	ロクロかわらけ(大)			1/4	(13.0)	(7.3)	3.8	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好		
15-15	土製品	ロクロかわらけ(小)			1/4	(6.4)	(4.0)	2.1	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好		
15-16	磁器	白磁口元皿			口縁~体部片	-	-	[1.4]	b: 白色 精良堅緻 d: 無色透明 薄い 口縁部釉はぎ f: 白磁皿 X -b 類		
15-17	銅製品	銭			-	直径 2.2	内孔 0.7	重量 2.3g	f: 祥符元寶 初鑄北宋 1008 年		

図番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm)				観察項目 a:成形・整形 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:備考
						口径	底径	器高	重	
15-18	3面	145	土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/4	(11.4)	(7.8)	3.0	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c:橙色 e:良好	
15-19		150	土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/5	(8.4)	5.0	2.2	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c:橙色 e:良好	
15-20		156	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.7)	(5.4)	1.6	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや良土 c:赤褐色 e:良好	
15-21		157	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.0)	(4.4)	1.4	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや良土 c:赤褐色 e:良好	
15-22		163	鉄製品	釘	—	長さ [4.4]	幅 1.5	厚さ 0.8	f:断面四角形に鍛造	
15-23		168	石製品	滑石 鍋	底部片	—	—	[2.3]	f:底面煤付着 割れ面にも煤付着する箇所あり	
15-24		171	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(12.4)	(7.8)	3.4	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:黄褐色 e:良好	
15-25			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.0)	(5.0)	1.7	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c:橙色 e:良好	
15-26		174	陶器	瀬戸 折縁深皿	口縁部片	—	—	[3.3]	a:粘土紐輪積み一ロクロ成形か b:にぶい黄褐色 微砂 d:鉄釉(錆釉) 内外面にナガシガケか e:良好 f:古瀬戸後Ⅲ期以降	
15-27		179	土製品	ロクロ かわらけ(大)	9/10	11.3	7.0	2.9～ 3.4	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c:橙色 e:良好	
15-28			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(9.2)	5.3	2.5～ 2.8	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:黄褐色 e:良好	
15-29		184	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.6)	4.8	2.0	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:灰黄色 e:良好	
15-30		186	土製品	丸瓦	筒部片	—	筒部高 [6.2]	厚さ 2.5	a:凸面系切り痕 凹面布目痕 b:灰黄色 白色粒 赤色粒 小石粒 気泡多い 粗土 c:灰黄色 e:良好 f:永福寺B種か	
15-31		187	土製品	山茶碗	口縁部片	—	—	[2.3]	a:ロクロ成形(右回転か) b:灰白色 精良堅緻 c:灰白色 d:灰色(口縁部降灰) e:良好 f:東濃型か?	
15-32			石製品	砥石	—	長さ [5.7]	幅 [1.5]	厚さ [1.7]	c:灰色 f:中砥か 2面使用	
15-33		190	土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.3	4.5	2.2	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:黄褐色 外面部分的に赤褐色 e:良好	
15-34			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.2	5.1	2.6	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:糸切り失敗の痕跡	
15-35			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.2	4.0	2.5	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:黄褐色 e:良好	
15-36		196	磁器	白磁 口元皿	口縁部片	—	—	[2.0]	b:白色 精良堅緻 d:灰白色透明 薄い 口唇部釉はぎ f:景德鎮X-b類	
15-37			鉄製品	釘	—	長さ 6.7	幅 1.3	厚さ 0.6	f:断面四角形に鍛造	
15-38			鉄製品	釘	—	長さ [2.7]	幅 0.7	厚さ 0.6	f:断面四角形に鍛造	
15-39		199	磁器	青磁 碗	2/3	—	(3.8)	[1.7]	b:灰白色 精良堅緻 気孔あり d:灰青色不透明 厚い 高台畳付露胎 貫入わずかにあり f:龍泉窯系青磁碗Ⅲ-2類	
15-40			陶器	常滑 甕	口縁部片	—	—	[8.0]	a:粘土紐輪積み技法 残存部内外面横ナデ b:黄灰色 微砂 長石 小石 白色粒 c:内面にぶい褐色 外面灰褐色 d:白色 外面肩部付近 e:良好 f:中野編年8型式	
15-41			鉄製品	釘	—	長さ 5.3	幅 0.7	厚さ 0.5	f:断面四角形に鍛造	
15-42		200	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(8.4)	(5.8)	2.4	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c:橙色 e:良好	
15-43			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(8.5)	5.0	2.0	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c:黄褐色 e:良好	
15-44			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(8.2)	(5.6)	2.4	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c:灰黄色 e:良好	
15-45			土製品	軒丸瓦	—	瓦当径 [4.2]	—	—	a:瓦当部に離れ砂 b:橙色 微砂 白色粒 赤色粒 角閃石 c:灰色 e:良好 f:永福寺Ⅲ期か	
15-46		203	磁器	青磁 碗	2/3	—	(3.6)	[1.9]	b:白色 精良 気孔あり d:水青色半透明 厚い 高台畳付釉はぎ f:龍泉窯系小碗Ⅲ-1類	
15-47		204	土製品	ロクロ かわらけ(中)	2/5	(10.7)	7.0	2.9	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c:橙色 e:良好 f:口縁部煤付着 底部焦げている	
17-48		195	土製品	ロクロ かわらけ(中)	2/5	11.2	6.6	3.25	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:黄褐色 e:良好	
17-49			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	(7.8)	(4.4)	2.4	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好	
17-50			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	7.7	5.0	2.3	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:黄褐色 e:良好	
17-51			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.6)	(4.2)	2.1	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:黄褐色 e:良好	
17-52			土製品	ロクロ かわらけ(大)	完形	13.3	8.6	3.5	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
17-53			土製品	ロクロ かわらけ(特大)	ほぼ完形	15.6	10.0	4.5	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好	
17-54	土製品		ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	13.1	7.6	4.0	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好		
17-55	土製品		ロクロ かわらけ(大)	完形	12.8	8.0	3.95	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好 f:やや楕円状に歪む 最大口径13.2 最小底径7.5		
17-56	土製品		ロクロ かわらけ(大)	1/2	(12.8)	(7.4)	3.6	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c:灰褐色 e:良好		

図番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm)				観察項目 a:成形・整形 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:備考
						口径	底径	器高	重	
17-57	3面	195	土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	(13.0)	7.4	3.4	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好 f:底部楕円状 底径 7.2~7.8	
17-58			土製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	13.2	7.2	3.75	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 やや粗土 c:橙色 e:良好 f:口縁部粘土の処理が雑	
17-59			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	(12.8)	7.6	3.6	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 良土 c:橙色 e:良好	
17-60			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	13.1	8.0	3.55	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
17-61			土製品	ロクロ かわらけ(大)	完形	13.1	7.4	3.4	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好	
17-62			土製品	ロクロ かわらけ(中)	4/5	12.4	7.4	3.6	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
17-63			土製品	ロクロ かわらけ(中)	ほぼ完形	12.5~ 13.0	8.0~ 8.5	3.53	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:楕円状に歪む	
17-64			土製品	ロクロ かわらけ(中)	ほぼ完形	12.4	7.0	3.4	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好	
17-65			土製品	ロクロ かわらけ(中)	完形	12.8	7.6	3.5	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 やや粗土 c:橙色 e:良好	
17-66			土製品	ロクロ かわらけ(中)	ほぼ完形	11.6	6.7	3.0	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
17-67			土製品	ロクロ かわらけ(中)	3/4	(11.0)	7.2	3.1	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
17-68			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	8.1	5.0	2.25	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c:灰黄色 e:良好	
17-69			土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.6	4.5	2.7	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 良土 c:橙色 e:良好	
17-70			土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	7.7	4.8	2.2	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 やや粗土 c:橙色 e:良好	
17-71			土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.9	4.6	2.3	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 良土 c:橙色 e:良好 f:外面下部に糸切り痕あり	
17-72			土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.6	4.5	2.3	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c:橙色 e:良好 f:口縁に付着物有り	
17-73			土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.4~ 7.6	4.6~ 5.1	2.2	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好 f:楕円状に歪む	
17-74			土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.4	5.0	2.3	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
17-75			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.6	4.6	2.3	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
17-76			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.5	5.3	2.2	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c:橙色 e:良好	
17-77			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.5	4.4	2.2	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c:橙色 e:良好	
17-78			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	8.0	4.8	2.2	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 良土 c:橙色 e:良好	
17-79			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	8.0	5.0	2.25	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 良土 c:橙色 e:良好	
17-80			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	7.4	4.4	2.2	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 礫粒 良土 c:黄橙色 e:良好	
17-81			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	8.0	5.6	2.1	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 良土 c:黄橙色 e:良好	
17-82			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	8.0	4.9	2.3	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 良土 c:橙色 e:良好	
17-83			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.7	5.2	2.1	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 良土 c:橙色 e:良好	
17-84			土製品	ロクロ かわらけ(特大)	4/5	(15.4)	9.0	4.3	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c:黄橙色 e:良好	
17-85			土製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	13.6	7.4	3.35	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
17-86			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	13.0	7.5	3.15	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
17-87	土製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	13.1	7.4	3.2	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好			
17-88	土製品	ロクロ かわらけ(中)	ほぼ完形	11.8	7.8	3.0	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:黄橙色 e:良好			
17-89	土製品	ロクロ かわらけ(中)	4/5	11.5	6.8	3.0	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好 f:かわらけ溜り 1+4 接合			
17-90	土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/3	(12.4)	(6.0)	3.3	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 やや粗土 c:黄橙色 e:良好			
17-91	土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/3	(11.4)	6.6	3.5	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 やや粗土 c:橙色 e:良好			
17-92	土製品	ロクロ かわらけ(中)	3/4	11.4	6.2	3.4	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 良土 c:黄橙色 e:良好			
17-93	土製品	ロクロ かわらけ(中)	4/5	11.2	6.8	3.1	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好			
17-94	土製品	ロクロ かわらけ(中)	2/3	11.5	6.2	3.4	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c:黄橙色 e:良好			
17-95	土製品	ロクロ かわらけ(中)	2/3	11.0	6.6	3.3	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好			
17-96	土製品	ロクロ かわらけ(中)	3/4	11.3	7.3	2.85	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:黄橙色 e:良好			

図番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm)				観察項目 a:成形・整形 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:備考
						口径	底径	器高	重	
17-97	3面	195	土製品	ロクロ かわらけ(中)	3/4	11.2	6.6	2.9	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好 f:楕円状に歪みあり	
17-98			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.8)	(4.6)	2.1	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
17-99			土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.9	4.6	2.05	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c:橙色 e:良好	
17-100			土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	8.0	5.3	2.3	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c:黄橙色 e:良好	
17-101			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	(7.4)	5.0	2.3	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好	
17-102			土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.6	4.2	2.4	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c:橙色 e:良好	
17-103			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.0)	(3.8)	2.3	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
18-104			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(12.8)	(7.2)	3.2	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好	
18-105			土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	12.8	7.4	3.3	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
18-106			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	12.9	7.4	3.5	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
18-107			土製品	ロクロ かわらけ(中)	3/4	11.2	7.0	2.8	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
18-108			土製品	ロクロ かわらけ(中)	3/4	11.0	6.6	3.0	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
18-109			土製品	ロクロ かわらけ(中)	2/3	(10.6)	5.2	3.0	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c:橙色 e:良好	
18-110			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(8.6)	(5.4)	2.65	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c:橙色 e:良好	
18-111			鉄製品	釘	—	長 6.4	幅 0.7	厚 0.7	f:断面四角形に鍛造、全体錆に覆われる	
18-112			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	11.4	(7.6)	3.0	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 ? c:橙色(外底灰色) e:良好	
18-113			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(8.0)	(4.8)	2.7	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
18-114			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	7.3	4.0	2.1	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色(外底灰色) e:良好	
18-115			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(8.2)	(4.4)	2.45	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好	
18-116			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(13.4)	7.8	3.8	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
18-117			土製品	ロクロ かわらけ(大)	完形	13.1	7.5	3.4	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好 f:内外面一部暗茶色に変色	
18-118			土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	13.1	7.4	3.4	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
18-119			土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	13.0	7.4	3.7	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
18-120			土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	13.2	8.1	3.5	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
18-121			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(12.8)	7.4	3.7	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 ?土 c:橙色 e:良好 f:No95-5と接合	
18-122			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(13.0)	7.2	3.4	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
18-123			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	13.4	8.8	3.9	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好	
18-124			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	(13.2)	7.8	3.55	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
18-125			土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	12.8	7.5	3.5	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好	
18-126			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	12.4	7.8	3.4	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
18-127			土製品	ロクロ かわらけ(大)	完形	12.5	7.4	3.6	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
18-128			土製品	ロクロ かわらけ(中)	ほぼ完形	11.3	6.8	3.1	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好 f:器表面ほぼ全体薄く剝離	
18-129			土製品	ロクロ かわらけ(中)	2/3	11.2	6.9	2.3	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好 f:No95-3と接合	
18-130			土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/2	(10.8)	(6.4)	2.9	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
18-131			土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	8.2	6.2	2.3	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
18-132			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	(7.8)	(5.8)	2.25	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好 f:内底に粘土紐巻き上げ痕に残る。外側面下部作成時について一条の溝あり	
18-133	土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.8	5.2	2.3	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:黄橙色 e:良好			
18-134	土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.7	4.3	2.1	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好			
18-135	土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.6	4.5	2.2	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好			
18-136	土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.5	5.0	2.2	a:内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c:橙色 e:良好 f:内面口縁下部に粘土による数条の筋			

図番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm)				観察項目 a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
						口径	底径	器高	重	
18-137	3面	195	土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	(7.4)	4.2	2.3	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
18-138			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.8)	(5.6)	2.3	a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 良土 c: 橙色 e: 良好	
18-139			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(8.2)	(4.8)	2.4	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 黄橙色 e: 良好	
18-140			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.8)	(4.2)	2.5	a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
18-141			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.8)	(4.8)	2.4	a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 良土 c: 橙色 e: 良好	
18-142			陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	—	—	[6.3]	a: 粘土紐輪積み技法 b: 灰色 砂粒 長石 石英 白色粒 c: 茶褐色 e: 良好	
18-143			土製品	ロクロ かわらけ(大)	完形	13.9	8.0	4.15	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
18-144			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(13.0)	7.0	3.4	a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
18-145			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	12.8	7.8	3.7	a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
18-146			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(13.2)	7.0	3.9	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
18-147			土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/2	(11.2)	(6.6)	2.8	a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
18-148			土製品	ロクロ かわらけ(中)	3/4	11.7	7.5	2.9	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
18-149			土製品	ロクロ かわらけ(中)	2/3	11.3	7.0	2.9	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
18-150			土製品	ロクロ かわらけ(中)	4/4	11.3	7.4	2.8	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
18-151			土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/4	(11.4)	(7.0)	3.1	a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
18-152			土製品	ロクロ かわらけ(中)	4/5	(10.8)	6.0	3.0	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
18-153			土製品	ロクロ かわらけ(中)	3/5	(11.4)	6.4	3.2	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
18-154			土製品	ロクロ かわらけ(中)	3/4	(11.0)	7.0	2.8	a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
18-155			土製品	ロクロ かわらけ(中)	2/5	(11.4)	(6.6)	3.0	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
18-156			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(8.4)	(5.0)	2.35	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
18-157			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(8.6)	(5.0)	2.6	a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
18-158			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.8	4.5	2.1	a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
18-159			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(8.2)	(4.8)	2.2	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
18-160			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	8.2	5.0	2.4	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
18-161			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.8)	(4.8)	2.1	a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
18-162			土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.7	4.2	2.25	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
18-163			土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	(7.6)	4.3	2.2	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
18-164			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/5	(6.8)	4.5	2.7	a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 復元に難あり掲載確認	
18-165			磁器	白磁 口禿皿	口縁部片	—	—	[2.6]	b: 白色 黒色粒 精良堅緻 d: 灰白色半透明 極薄い	
18-166			土製品	土器質火鉢	口縁部片	—	—	[6.3]	a: 口縁部ヨコナデ b: 橙色 微砂 白色粒 小石粒 やや粗土 c: 明灰 褐色 e: 良好 f: 河野編年ⅠC類	
18-167			鉄製品	釘?	—	長さ 9.9	幅 0.9	厚 0.9	f: 断面四角形に鍛造、全体錆に覆われる	
20-168			205	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	12.4	7.7	3.3	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 粗土 c: 灰黄色 e: 良好 f: 内底面墨書
20-169				土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(11.0)	(6.2)	3.0	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好
20-170	土製品	ロクロ かわらけ(中)		2/3	10.4	6.1	3.1	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好		
20-171	磁器	青磁 鍋連弁文碗		口縁部片	—	—	[2.9]	b: 灰白色 精良堅緻 d: 灰緑色半透明 薄い f: 蓮弁文 龍泉窯系Ⅱ類 b		
20-172	陶器	常滑 甕		肩部片	—	—	—	a: 粘土紐輪積み技法→内面ナデ 指頭調整 外面ナデ 叩き b: 灰色 微砂 白色粒 長石 小石 c: 内面にぶい褐色 外面灰褐色 e: 良好		
20-173	陶器	常滑 甕		底部片	—	—	[6.5]	a: 粘土紐輪積み技法→内面ナデ 外面へら調整 ナデ b: にぶい橙色 微砂 長石 小石 c: 内面灰褐色 外面褐色 e: 良好		
20-174	土製品	平瓦		—	長さ [6.7]	幅 [6.0]	厚さ 2.2	a: 凸面斜格子?叩き 離れ砂 凹面ナデ 離れ砂 b: 灰黄色 微砂 赤 色粒 白色粒 精緻 c: 灰黄色 e: 弱い		
20-175	木製品	部材か		—	長さ [14.5]	幅 3.5	厚さ 2.3			
20-176	木製品	部材か		—	長さ 26.5	幅 2.3	厚さ 1.5	f: 釘穴2か所		

図番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm)				観察項目 a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考	
						口径	底径	器高	重		
20-177	3面	205	木製品	部材か	—	長さ 24.2	幅 3.4	器高 1.9			
20-178			木製品	折敷	—	長さ 16.5	幅 [9.8]	厚さ 0.1		f:3 か所穿孔	
20-179			木製品	折敷	—	長さ 16.3	幅 [2.8]	厚さ 0.1			
20-180			木製品	部材か	—	長さ [13.9]	幅 4.9	厚さ 0.8			
20-181			木製品	箸	—	長さ 19.6	幅 0.7	厚さ 0.5		f: 断面多角形に加工	
20-182			木製品	箸	—	長さ [20.2]	幅 0.7	厚さ 0.5		f: 断面多角形に加工	
20-183			木製品	箸	—	長さ [17.4]	幅 0.7	厚さ 0.6		f: 断面多角形に加工 部分的に焦げている	
20-184			木製品	菜箸か	—	長さ [19.0]	幅 0.5	厚さ 0.8			
20-185			陶器	常滑甕	口縁部片	—	—	—	[6.4]	緑帯幅 2.3	a: 粘土紐輪積み技法 b: 灰色 長石 c: 内面灰褐色 外面黒褐色 d: 灰緑色 緑帯下部、肩部、口縁部内面に降灰(灰色) e: 良好 f: 中野編年 6b 型式か
20-186			陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	底部片	—	—	—	[5.8]		a: 粘土紐輪積み技法 高台貼り付け b: 灰色 長石 小石 c: 灰色 e: 良好 f: 全体が二次焼成を受け変色 中野編年 5～6a 型式か
20-187			土製品	かわらけ質火鉢	口縁部片	—	—	—	[4.5]		a: 粘土紐輪積み技法 b: 赤褐色 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 長石 角閃石 c: 赤褐色 e: 甘い f: 河野編年Ⅱ D 類
20-188			土製品	ロクロかわらけ(小)	1/3	(8.0)	(6.0)	1.6			a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 黄褐色 e: 良好
20-189			土製品	かわらけ質火鉢	口縁部片	—	—	—	[4.0]		a: 粘土紐輪積み技法 b: 橙色? 灰色? 微砂 雲母 白色粒 c: 灰色 e: 良好 f: 河野編年Ⅱ D 類
20-190			陶器	常滑転用品	—	長さ [5.3]	幅 [2.4]	厚さ 1.0			f: 常滑甕の肩部破片を擦っている
20-191			土製品	軒平瓦	—	—	—	厚さ 1.9			a: 頸貼り付け b: にぶい褐色 微砂 白色粒 赤色粒 粗土 c: 褐灰色(黒色処理か) e: 良好 f: 陽刻下向無き剣頭文 瓦当面砂付着 瓦当部厚さ 4.1 上外区幅 0.9 下外区幅 0.8 cm 内区幅 2.2 下面深さ 1.9
21-192			土製品	ロクロかわらけ(小)	1/2	(7.6)	4.0	2.5			a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 黄褐色 e: 良好
21-193			磁器	青磁碗	口縁部片	—	—	—	[2.7]		b: 灰白色 精良堅緻 気孔あり d: 灰緑色半透明 薄い f: 龍泉窯系青磁小碗Ⅳ類?
21-194			磁器	白磁白兀皿	口縁部片	—	—	—	[1.7]		b: 白色 精良堅緻 d: 灰白色不透明 薄い 口唇部軸はぎ f: 白磁ⅢⅨ-1 類
21-195			陶器	瀬戸碗	口縁部片	—	—	—	[1.8]		a: ロクロ成形 b: 灰白色 黒色粒 d: 淡緑色 全体にツケガケ(又は、ナガシカケ) e: 良好 f: 古瀬戸後期後半?
21-196			陶器	瀬戸緑釉小皿	口縁部片	—	—	—	[1.6]		a: ロクロ成形 b: 灰色 微砂 c: 灰色 d: 緑灰色 口縁部にツケガケ e: 良好 f: 古瀬戸後期
21-197	陶器	瀬戸緑釉小皿	口縁部片	—	—	—	[2.1]		a: ロクロ成形 b: 灰色 微砂 黒色粒 c: 灰色 d: 灰緑色 口縁部にツケガケ e: 良好 f: 古瀬戸後期		
21-198	土製品	瓦器質火鉢	口縁部片	—	—	—	[5.4]		a: 粘土紐輪積み技法後ナデ、外面ミガキか b: 灰白色 黒色粒 白色粒 赤色粒 c: 灰色 e: 良好 f: 河野編年Ⅵ類		
21-199	鉄製品	釘	—	長さ 4.2	幅 0.9	厚さ 0.7			f: 断面四角形に鍛造		
21-200	陶器	常滑甕	肩部片	—	—	—			a: 粘土紐輪積み技法 内面横位ナデ b: 灰色 砂粒 長石 石英 白色粒 小石粒 c: 黒褐色 d: 灰緑色(降灰) f: 押印文 ×文+縦線文+横線		
21-201	土製品	平瓦	—	長さ [4.7]	幅 [5.5]	厚さ 2.5			a: 凸面斜格子目叩き 凹面離れ砂 b: 灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 雲母 小石粒 やや粗土 c: 灰色 e: 良好 f: 永福寺 D 類?		
22-202	外遺構	土製品	ロクロ白かわらけ(大)	2/5	(14.6)	6.8	4.3		a: 外底回転系切(右) b: 微砂 雲母 赤色粒 良土 c: 灰白色 e: 良好 f: 内底ナデなし		
22-203	土製品	ロクロかわらけ(大)	3/5	(12.8)	(7.6)	3.1			a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 内底に粘土紐巻き上げ痕		
22-204	土製品	ロクロかわらけ(大)	2/3	12.7	7.2	3.1			a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好		
22-205	土製品	ロクロかわらけ(大)	ほぼ完形	12.1	7.5	2.9			a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好		
22-206	土製品	ロクロかわらけ(中)	ほぼ完形	11.0	6.5	3.1			a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好		
22-207	土製品	ロクロかわらけ(小)	4/5	8.4	6.4	1.55			a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 最大口径 7.8		
22-208	土製品	ロクロかわらけ(小)	1/2	(8.0)	(5.2)	1.7			a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好		
22-209	土製品	ロクロかわらけ(小)	約 1/2	(7.8)	(6.0)	1.6			a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 灰褐色 e: 良好		
22-210	土製品	ロクロかわらけ(小)	2/3	(7.8)	(5.2)	1.5			a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 最器高 1.7		
22-211	土製品	ロクロかわらけ(小)	1/2	(7.8)	(5.4)	1.7			a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 内底に粘土付着 最器高 1.9		
22-212	土製品	ロクロかわらけ(小)	ほぼ完形	7.2	4.5	2.5			a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好		
22-213	土製品	ロクロかわらけ(小)	4/5	6.8	4.4	2.45			a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好		
22-214	土製品	ロクロかわらけ(小)	完形	6.8	4.1	2.05			a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 楕円状 最大口径 7.4 最小底径 4.4		
22-215	土製品	ロクロかわらけ(小)	ほぼ完形	7.3	4.3	1.9			a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好		
22-216	磁器	青磁小碗	1/3	(11.8)	(3.4)	5.2			b: 灰白色 黒色粒 精良堅緻 d: 灰青緑不透明 厚い f: 小碗Ⅲ類か?		

図番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm)				観察項目 a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考	
						口径	底径	器高	重		
22-217			磁器	青磁坏	口縁部片	—	—	[3.1]		b: 灰白色 黒色粒 精良堅緻 d: 灰緑半透明 厚い 貫入あり f: 坏Ⅲ類	
22-218			陶器	瀬戸入子	1/2	(5.6)	(3.4)	1.4		a: 外底部へラ状工具による調整で糸切痕消滅 b: 灰色 良土 c: 灰色 d: 口縁部降灰 e: 良好	
22-219			陶器	常滑甕	口縁部片	—	—	[7.9]	緑帯幅 4.1	a: 粘土紐輪積み技法 b: 灰色 砂粒 長石 石英 小石粒 c: 茶色 f: 中野編年7型式か	
22-220			陶器	常滑甕	口縁部片	—	—	[4.0]	緑帯幅 2.1	a: 粘土紐輪積み技法 b: 暗灰色 砂粒 長石 石英 c: 暗茶色 f: 中野編年6a型式か	
22-221			陶器	常滑甕	肩または胴部片	長さ [12.0]	幅 [9.0]	厚さ 3.0		b: 暗灰色 砂粒 長石 石英 c: 暗褐色 f: 押印文 縦線+横線4本(正方格子 縦長正方格子) 傾き不確か	
22-222			陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部片	—	—	[3.4]		a: 粘土紐輪積み技法 b: 灰色 微砂 長石 石英 c: 灰色 e: 良好	
22-223			陶器	瀬戸折縁深皿	口縁部片	—	—	[5.6]		b: 灰色 白色粒 良土 d: 灰緑色刷毛塗り e: 良好 f: 前期Ⅳ期～中期Ⅱ期	
22-224			陶器	瀬戸器種不明	口縁部片	—	—	[3.0]		b: 黄灰色 白色粒 d: 黄灰緑色 極薄い	
22-225			土製品	瓦質火鉢	口縁～底部片	—	—	[9.1]		a: 粘土紐輪積み技法 口縁部ヨコナデ b: 黄灰色 砂粒 雲母 c: 黄灰色 f: 河野編年ⅠB類 穿孔あり	
22-226			土製品	瓦質火鉢	口縁部片	—	—	[7.2]		a: 黒色処理 菊花スタンプ b: 灰色 微砂 小石粒 c: 暗灰色 e: 良好 f: 河野編年Ⅲ類	
22-227			土製品	瓦質火鉢	口縁部片	—	—	[7.0]		a: 黒色処理 縦位のケズリ調整 b: 暗灰色 微砂 白色粒 小石粒 c: 黒灰色 e: 良好 f: 河野編年Ⅲ類	
22-228			土製品	瓦質火鉢	口縁～底部片	—	—	6.55		a: 粘土紐輪積み技法 b: 橙色 砂粒 雲母 赤色粒 c: 橙色 f: 河野編年ⅠC類	
22-229			土製品	瓦質火鉢	口縁部片	—	—	[7.65]		a: 篋状工具による横位のナデ b: 暗灰褐色 砂粒 白色粒 小色粒 c: 暗灰色 e: 良好 f: 河野編年ⅠC類	
22-230			土製品	瓦質火鉢	口縁部片	—	—	[6.2]		b: 暗灰褐色 砂粒 白色粒 小色粒 c: 黒灰色 e: 良好 f: 河野編年ⅠC類	
22-231			土製品	不明土製品	—	縦 3.9	横 5.1	厚さ 1.3			
22-232			土製品	平瓦	—	長さ [9.0]	幅 [6.5]	厚さ 3.2		a: 凸面糸切り? 痕 凹面ナデ調整 b: 灰白色 白色粒 小石粒 c: 凸面灰白色、凹面黒灰色 f: 産地不明 永福寺D類に近い	
22-233			土製品	平瓦	—	長さ [6.8]	幅 [7.4]	厚さ 2.8		a: 凸面離れ砂 凹面布目痕 b: 灰白色 白色粒 小石粒 c: 灰色 e: 良好	
22-234			石製品	砥石	—	長さ [5.9]	幅 2.8	厚さ 1.3		c: 黄白色 f: 仕上げ砥 鳴滝産か?	
22-235			石製品	不明石製品	—	縦 [2.5]	横 [2.7]	厚さ 0.8			
22-236			銅製品	銭	—	直径 2.3	内孔 0.6	重量 2.5g		f: □元□寶	
22-237			鉄製品	釘	—	長さ 7.8	幅 1.1	厚さ 1.05		f: 断面四角形に鍛造、全体錆に覆われる	
22-238			鉄製品	釘	—	長さ 5.0	幅 0.95	厚さ 1.0		f: 断面四角形に鍛造、全体錆に覆われる	
22-239			鉄製品	釘	—	長さ 5.0	幅 1.1	厚さ 1.1		f: 断面四角形に鍛造、全体錆に覆われる	
22-240			鉄製品	釘	—	長さ 5.05	幅 0.9	厚さ 0.75		f: 断面四角形に鍛造、全体錆に覆われる	
22-241			骨製品	加工骨	—	長さ 3.5	幅 3.05	厚さ 0.7		f: 切断面のこる	
24-1	3面	223	土製品	瓦質火鉢	底部片	—	—	[6.1]		a: 粘土紐輪積み技法 篋状工具による横位のナデ b: 灰色 微砂 白色粒 小石粒 c: 灰色 e: 良好	
24-2		228	土製品	ロクロかわらけ(小)	ほぼ完形	7.4	5.4	1.8		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
24-3		267	土製品	ロクロかわらけ(小)	1/3	(7.6)	(5.8)	1.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 粗土 c: 橙色 e: 良好	
24-4		287	土製品	手捏ね瓦器碗	口縁部片	—	—	[2.6]		b: 灰茶色 微砂 小石粒 良土 c: 灰茶～灰褐色 e: 良好 f: 内面～外面口縁下部灰褐色	
24-5		290	土製品	ロクロかわらけ(小)	ほぼ完形	7.4	5.2	1.6		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 内面に粘土付着	
24-6		302	土製品	ロクロかわらけ(大)	1/2	(12.0)	(7.6)	3.0		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
24-7		307	土製品	ロクロかわらけ(小)	3/4	(7.8)	6.0	1.4		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 粗土 c: 橙色 e: 良好	
24-8		4面	315	土製品	ロクロかわらけ(大)	3/4	(12.8)	7.4	3.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 内底に粘土紐巻き上げ痕
24-9			315	土製品	ロクロかわらけ(小)	ほぼ完形	7.9	6.0	1.6		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
24-10			315	土製品	ロクロかわらけ(小)	3/5	(7.6)	(5.6)	1.4		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
24-11			319	土製品	ロクロかわらけ(大)	1/2	11.8	7.7	3.1		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
24-12		319	土製品	ロクロかわらけ(小)	3/4	7.2	4.2	2.0		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
24-13			320	磁器	青磁蓮弁文碗	口縁部片	—	—	[1.5]		b: 灰白色 精良 d: 灰緑色透明 薄い f: 龍泉窯系Ⅲ類
24-14			330	土製品	ロクロかわらけ(小)	1/4	(7.4)	(5.2)	1.8		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
24-15			331	土製品	ロクロかわらけ(小)	1/2	7.3	4.8	1.7		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
24-16			333	土製品	ロクロかわらけ(小)	1/3	(7.4)	(5.0)	1.7		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好

図番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm)			観察項目	
						口径	底径	器高		重
24-17	4面	333	土製品	瓦器質火鉢	口縁部片	-	-	[5.0]	a:成形・整形 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:備考 a:粘土紐輪積み技法 内外面に横ナデ b:橙色 砂粒 雲母 赤色粒 白色粒 黒色粒 c:灰色 e:良好 f:河野編年I c類	
24-18		336	土製品	ロクロかわらけ(小)	1/3	(7.6)	(5.4)	1.7	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
24-19			陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[1.7]	緑帯幅 1.7 a:粘土紐輪積み技法 b:灰色 微砂 長石 石英 小石粒 c:茶褐色 f:中野編年6a 型式か	
24-20		336	石製品	滑石製品鍋	底部片	-	-	[2.7]	f:内面黒く変色、外面煤付着	
24-21		337	土製品	ロクロかわらけ(大)	1/3	(14.2)	(8.6)	3.7	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好	
24-22			磁器	青磁蓮弁文碗	底部片	-	-	[2.3]	b:白色 精良堅緻 d:青緑色半透明 薄い	
24-23			鉄製品	釘	-	長さ [3.9]	幅 0.7	厚さ 0.7	f:全体錆に覆われる	
24-24			鉄製品	釘?	-	長さ 9.3	幅 1.2	厚さ 1.05	f:全体錆に覆われる	
24-25		338	土製品	ロクロかわらけ(小)	ほぼ完形	8.0	6.6	1.7	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
24-26			土製品	ロクロかわらけ(小)	1/2	(8.4)	(6.0)	1.3	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
24-27			土製品	ロクロかわらけ(小)	1/2	(7.6)	(5.6)	1.5	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好	
24-28		339	石製品	砥石	-	[5.1]	3.8	4.0	c:黄味灰色 f:仕上げ砥 鳴滝産か	
24-29			土製品	ロクロかわらけ(中)	2/3	(11.0)	(6.0)	3.0	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c:橙色 e:良好	
24-30		磁器	青磁環か	口縁部片	-	-	[1.6]	b:白色 精良堅緻 d:灰緑色半透明 やや厚い f:環Ⅲ類か		
24-31		340	土製品	ロクロかわらけ(大)	1/3	(12.4)	(8.2)	3.4	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 粗土 c:橙色 e:良好	
24-32			土製品	ロクロかわらけ(小)	5/6	8.0	6.3	1.7	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
24-33			土製品	ロクロかわらけ(小)	完形	7.7	5.7	1.6	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
24-34			土製品	ロクロかわらけ(小)	3/4	(7.6)	(6.0)	1.6	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
24-35			土製品	ロクロかわらけ(小)	1/2	(8.6)	(7.0)	1.8	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
24-36			土製品	ロクロかわらけ(小)	1/3	(7.2)	(5.8)	1.3	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 粗土 c:黄橙色 e:良好	
24-37			土製品	ロクロかわらけ(極小)	1/3	(4.4)	(3.5)	1.1	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
24-38			鉄製品	釘	-	長さ [5.2]	幅 0.3	厚さ 0.3	f:断面四角形に鍛造、全体錆に覆われる	
24-39			341	土製品	ロクロかわらけ(大)	1/2	12.2	8.2	3.2	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好
24-40				磁器	青磁器種不明	口縁部片	-	-	[2.2]	b:白色 精良堅緻 d:灰緑色不透明 やや厚い
24-41		342	土製品	ロクロかわらけ(大)	5/6	12.8	8.0	3.5	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
24-42			土製品	ロクロかわらけ(大)	1/4	(12.8)	(8.4)	3.0	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 粗土 c:橙色 e:良好	
24-43			土製品	ロクロかわらけ(小)	4/5	(7.6)	(5.6)	1.6	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
24-44		343	土製品	ロクロかわらけ(中)	1/2弱	(11.4)	(7.4)	2.8	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好	
24-45		345	土製品	ロクロかわらけ(小)	3/4	(13.6)	(8.2)	3.7	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 やや粗土 c:橙色 e:良好	
24-46			土製品	ロクロかわらけ(小)	1/4	(7.4)	(5.2)	1.7	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
24-47		347	土製品	ロクロかわらけ(小)	1/2	(7.6)	(4.6)	1.7	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
24-48			土製品	ロクロかわらけ(小)	1/3	(7.8)	(5.4)	1.8	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
24-49		348	土製品	ロクロかわらけ(小)	1/3	(7.4)	(5.6)	1.3	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
24-50		4面石敷上	土製品	ロクロかわらけ(小)	完形	7.6	5.6	1.6	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
24-51			土製品	ロクロかわらけ(小)	5/6	7.8	5.8	1.5	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
24-52			土製品	ロクロかわらけ(小)	1/2	(7.6)	(6.2)	1.4	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 やや粗土 c:橙色 e:良好	
24-53			土製品	丸瓦	-	長さ [12.6]	幅 [9.4]	厚さ 13~19	a:凸面縦位と横位のナデ 凹面布目痕 糸切り痕 b:灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 やや粗土 c:灰色 e:良好 f:永福寺B類?	
25-54		353	土製品	ロクロかわらけ(大)	4/5	12.5	7.4	3.7	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
25-55			土製品	ロクロかわらけ(大)	1/3	(12.0)	(8.2)	3.1	a:内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c:橙色 e:良好 f:口縁部歪み大	
25-56			土製品	ロクロかわらけ(小)	ほぼ完形	7.6	5.3	1.8	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c:黄橙色 e:良好	
25-57	土製品		ロクロかわらけ(小)	4/5	7.5	4.9	2.0	a:内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b:微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 やや粗土 c:橙色 e:良好 f:口唇部に煤		

図番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
25-58	4面	353	土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	(7.7)	(5.2)	1.85	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
25-59			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(8.0)	(5.8)	1.4	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
25-60			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	7.3	5.0	2.5	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
25-61			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(8.0)	(6.2)	1.8	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 内外面黒色に変色	
25-62			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.7	5.4	1.7	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
25-63			磁器	青磁 蓮弁文碗	口縁部片	-	-	[1.8]	b: 灰色 精良 d: 灰緑色透明 薄い f: 龍泉窯系Ⅲ類	
25-64			土製品	瓦器質火鉢	口縁部片	-	-	[4.4]	a: 粘土紐輪積み技法 外面指頭による調整 内面ナデ b: 橙色 砂粒 雲母 赤色粒 白色粒 黒色粒 c: 灰色 e: 良好 f: 河野編年Ⅰc類	
25-65			土製品	瓦器質火鉢	体部片	-	-	-	a: 粘土紐輪積み技法 黒色処理 外面磨き 内面横位ナデ 連珠貼り付け b: 灰色 砂粒 雲母 赤色粒 白色粒 黒色粒 c: 灰色 e: 良好 f: 河野編年ⅣA類 上部に沈線 沈線間に10弁菊花文 16弁菊花文	
25-66			鉄製品	釘	-	長さ [6.4]	幅 0.3	厚さ 0.3	f: 断面四角形に鍛造、全体錆に覆われる	
25-67			鉄製品	釘	-	長さ [4.5]	幅 0.25	厚さ 0.25	f: 断面四角形に鍛造、全体錆に覆われる	
25-68			鉄製品	釘	-	長さ [4.1]	幅 0.3	厚さ 0.3	f: 断面四角形に鍛造、全体錆に覆われる	
25-69			鉄製品	釘	-	長さ [4.5]	幅 0.3	厚さ 0.3	f: 断面四角形に鍛造、全体錆に覆われる	
25-70			鉄製品	釘	-	長さ [3.7]	幅 0.3	厚さ 0.3	f: 断面四角形に鍛造、全体錆に覆われる	
25-71			鉄製品	釘	-	長さ [3.0]	幅 0.3	厚さ 0.3	f: 断面四角形に鍛造、全体錆に覆われる	
25-72			鉄製品	不明鉄製品	-	長さ [3.9]	幅 0.5	厚さ 0.1		
25-73			遺構外	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(6.8)	(5.0)	1.7	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
25-74				銅製品	銭	-	直径 2.1	内孔 0.6	重量 1.8g	f: 至道元寶 北宋995年 行書
25-75			構成土	土製品	ロクロ かわらけ(大)	完形	13.0	8.4	3.7	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 口縁部打ち欠き
25-76				土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/2	(11.8)	(7.6)	2.9	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
25-77				土製品	ロクロ かわらけ(中)	ほぼ完形	11.8	7.3	3.1	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 口縁打ち欠き
25-78				土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/3	(10.6)	(5.6)	3.4	a: 内底ナデ不明慮 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 橙色 e: 良好
25-79				土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/2	(10.6)	(6.6)	2.7	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
25-80				土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(9.2)	(6.0)	1.6	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
25-81				土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(8.2)	(6.2)	1.6	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 口縁部に煤付着
25-82				土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.8)	(6.0)	1.6	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
25-83	土製品	ロクロ かわらけ(小)		1/2	(7.7)	6.3	1.5	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 白色粒 角閃石 良土 c: 黄橙色 e: 良好		
25-84	土製品	ロクロ かわらけ(小)		3/4	7.5	5.7	1.4	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好		
25-85	土製品	ロクロ かわらけ(小)		5/6	7.8	5.5	1.6~ 2.1	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好		
25-86	土製品	ロクロ かわらけ(小)		1/2	(7.8)	(6.2)	1.6	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好		
25-87	土製品	ロクロ かわらけ(小)		1/3	(7.6)	(4.4)	1.9	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好		
25-88	土製品	ロクロ かわらけ(小)		1/2	(7.4)	(4.8)	1.6	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好		
25-89	土製品	ロクロ かわらけ(小)		1/2	(5.8)	(4.1)	1.8	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 橙色 e: 良好		
25-90	土製品	ロクロ かわらけ(小)		1/2	(5.7)	4.2	1.6	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 精良土 c: 橙色 e: 良好		
25-91	土製品	白手捏ね 内折れかわらけ		口縁部片	-	-	[1.1]	a: 手捏ね成形 b: 微砂 雲母 黒色粒 やや粗土 c: 灰白色 e: 良好		
25-92	磁器	米色青磁 蓮弁文環		口縁部片	-	-	[4.3]	b: 黄橙色 精良 d: 灰緑色不透明 厚い 貫入あり f: 龍泉窯系環Ⅲ類		
25-93	磁器	青磁 鎗蓮弁文碗		1/5	(15.6)	-	[6.2]	b: 灰白色 精良堅緻 d: 灰緑色透明 薄い f: 蓮弁文 龍泉窯系Ⅱ-b類 復元確認		
25-94	磁器	白磁 口元皿		口縁~底 部片	-	-	[1.3]	b: 灰白色 精良堅緻 d: 乳白色透明 薄い f: 内面に雷文と唐草文		
25-95	磁器	白磁 口元皿		1/2弱	(8.2)	(5.4)	1.6	b: 灰白色 精良堅緻 d: 乳白色透明 薄い f: IX類 口元部分に油煤痕付着		
25-96	陶器	常滑 甕		口縁部片	-	-	[5.8]	a: 粘土紐輪積み技法 内外面横位ナデ b: 灰色 砂粒 長石 石英 白色粒 小石粒 c: 暗褐色 f: 中野編年6a型式 傾き怪しい		

図番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm)			観察項目		
						口径	底径	器高		重	
25-97	4面	構成土	土製品	瓦器質火鉢	口縁部片	-	-	[6.0]	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考 a: 粘土紐輪積み技法 内外面横位ナデ b: 灰色 砂粒 雲母 白色粒 小石粒 c: 灰色 e: 良好 f: 河野編年 I C 類		
25-98			土製品	瓦器質火鉢	口縁部片	-	-	[4.1]	a: 粘土紐輪積み技法 内外面横位ナデ b: 灰色 砂粒 雲母 白色粒 c: 灰色 e: 良好 f: 河野編年 I B 類		
25-99			土製品	南伊勢系土鍋	口縁部片	-	-	[2.5]	b: 灰色 砂粒 白色粒 長石 c: 黄褐色 f: 中世Ⅲ型式		
25-100			石製品	滑石製品鍋	口縁部片	-	-	[4.9]	f: 内面に鋭利な工具による彫り込みあり、外面煤付着		
25-101			鉄製品	釘	-	長さ [4.7]	幅 0.3	厚さ 0.3	f: 断面四角形に鍛造、全体錆に覆われる		
25-102			鉄製品	釘	-	長さ [2.6]	幅 0.4	厚さ 0.4	f: 断面四角形に鍛造、全体錆に覆われる		
28-1	5面	南砂質土	土製品	ロクロかわらけ(小)	1/2	(7.8)	(6.2)	1.3	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好		
28-2			土製品	ロクロかわらけ(小)	1/2	(7.6)	(5.6)	1.8	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好		
28-3			石製品	砥石	-	長さ [11.0]	幅 4.0	厚さ 2.5	c: 灰緑色 f: 中砥 上野産 4面使用		
28-4			磁器	米色青磁連弁文坏	口縁部片	-	-	[5.8]	b: 黄褐色 精良 d: 灰褐色不透明 厚い 貫入あり f: III 類		
28-5			土製品	瓦器質火鉢	口縁部片	-	-	[3.9]	a: 粘土紐輪積み技法 内外面横位ナデ b: 灰色 砂粒 雲母 赤色粒 白色粒 黒色粒 小石粒 c: 灰色 e: 良好 f: 河野編年 I c 類		
28-6			土製品	瓦器質火鉢	口縁部片	-	-	[3.5]	a: 粘土紐輪積み技法 内外面横位ナデ b: 暗灰色 砂粒 雲母 白色粒 小石粒 c: 暗灰色 e: 良好 f: 河野編年 I c 類		
28-7			鉄製品	釘	-	長さ [3.8]	幅 0.4	厚さ 0.2	f: 断面四角形に鍛造、全体錆に覆われる		
28-8			土製品	ロクロかわらけ(小)	1/3	(7.4)	(6.0)	1.5	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好		
28-9			450	土製品	ロクロかわらけ(小)	1/4	(7.2)	(5.6)	1.5	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
28-10				土製品	ロクロかわらけ(小)	1/4	(7.2)	(5.2)	1.6	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
28-11			土製品	山茶碗	口縁部片	-	-	[2.8]	a: 粘土紐輪積み技法 b: 灰白色 砂粒 白色粒 黒色粒 粗土 e: ? c: 灰色 f: 尾張型前II期?		
28-12			土製品	平瓦	-	-	-	厚さ 29~30	a: 凸面斜格子目叩き 凹面離れ砂 b: 灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 小石粒 粗土 c: 灰色 e: 良好 f: 永福寺 D 類		
28-13			455	土製品	ロクロかわらけ(大)	1/3	(12.8)	(8.2)	3.1	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
28-14				土製品	ロクロかわらけ(小)	1/3	(7.8)	(6.4)	1.4	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
28-15				土製品	ロクロかわらけ(小)	1/2	(7.6)	(6.0)	1.2	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好	
28-16				陶器	常滑片口鉢 I 類	底部片	-	-	[5.2]	a: 粘土紐輪積み技法 底部貼り付け b: 灰色 砂粒 長石 石英 白色粒 小石粒 c: 灰色 e: 良好 f: 中野編年 6a 型式 内面摩滅	
28-17				陶器	常滑片口鉢 I 類	口縁部片	-	-	[3.0]	a: 粘土紐輪積み技法 内外面横位ナデ b: 灰色 砂粒 長石 石英 白色粒 c: 灰色 e: 良好 f: 中野編年 6a 型式	
28-18				鉄製品	釘	-	長さ [3.6]	幅 6.0	厚さ 0.7	f: 断面四角形に鍛造、全体錆に覆われる	
28-19				456	土製品	ロクロかわらけ(小)	1/5	(7.4)	(5.6)	1.6	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
28-20					土製品	丸瓦	-	長さ [10.4]	玉縁部幅 [12.4]	厚さ 1.6~2.0	a: 凸面横ナデ 凹面布目痕 b: 灰色 砂粒 白色粒 小石粒 良土 c: 灰色 e: 良好 f: 永福寺 A 類か
28-21				土製品	ロクロかわらけ(中)	1/6	(11.8)	(7.4)	3.3	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
28-22				土製品	ロクロかわらけ(小)	1/4	(7.8)	(5.0)	2.0	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好	
28-23			土製品	ロクロかわらけ(小)	1/2	(7.8)	(5.6)	1.6	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好		
28-24			土製品	ロクロかわらけ(小)	1/4	(7.6)	(5.8)	1.6	a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好		
28-25			土製品	ロクロかわらけ(小)	4/5	(7.8)	(5.8)	1.3	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好		
28-26			磁器	青磁無文碗	口縁部片	-	-	[2.3]	b: 灰色 精良 d: 青灰色透明 薄い f: I 類		
28-27			磁器	白磁器種不明	体部片	-	-	-	b: 白色 精良堅緻 d: 乳白色透明 薄い f: X 類か? 印花文		
28-28			陶器	常滑片口鉢 I 類	口縁部片	-	-	[3.7]	a: 粘土紐輪積み技法 内外面横位ナデ b: 灰色 砂粒 長石 石英 白色粒 小石粒 c: 灰色 e: 良好 f: 中野編年 6a 型式		
28-29			陶器	常滑片口鉢 I 類	口縁部片	-	-	[2.9]	a: 粘土紐輪積み技法 内外面横位ナデ b: 灰色 砂粒 長石 石英 白色粒 小石粒 c: 灰色 e: 良好 f: 中野編年 6a 型式		
28-30			陶器	常滑甕	体部片	-	-	-	a: 粘土紐輪積み技法 内外面横位ナデ 内面指頭痕 b: 灰褐色 砂粒 長石 石英 白色粒 小石粒 c: 褐色 e: 良好 f: 縦長格子押印		
28-31			陶器	常滑甕	体部片	-	-	-	a: 粘土紐輪積み技法 内外面横位ナデ 内面指頭痕 b: ? 色 砂粒 長石 石英 白色粒 小石粒 c: 褐色 e: 良好 f: 押印×文+縦線文+横線3本		
28-32			土製品	平瓦	-	-	-	厚さ 2.4	a: 凸面斜格子目叩き 凹面離れ砂 b: 灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 小石粒 粗土 c: 灰色 e: 良好 f: 永福寺 D 類		
28-33			鉄製品	鉄製品刀子か?	-	長さ [5.2]	幅 [2.2]	厚さ 0.2~1.0	f: 全体錆に覆われる		
28-34			鉄製品	釘	-	長さ [3.5]	幅 0.3	厚さ 0.3	f: 断面四角形に鍛造、全体錆に覆われる		

図番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm)			観察項目	
						口径	底径	器高		重
28-35	5面	構成土	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.6)	(6.0)	1.7	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
28-36			土製品	ロクロ かわらけ(小)	5/6	7.6	6.3	1.6	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
28-37			磁器	青磁坏	口縁部片	—	—	[3.9]	b: 灰白色 精良 d: 灰緑色半透明 厚い f: III類 内面蓮弁文	
28-38			鉄製品	用途不明	—	長さ 10.0	幅 1.7	厚さ 0.3	f: 全体錆に覆われる	
30-1	6面	構成土	土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.3	4.7	1.3	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
30-2			土製品	瓦器質火鉢	口縁部片	—	—	[3.9]	a: 粘土紐輪積み技法 内面横位ナデ b: 橙色 砂粒 雲母 赤色粒 白色粒 小石粒 c: 橙色 e: 良好 f: 河野編年I c類	
30-3			鉄製品	釘	—	長さ 7.1	幅 0.6	厚さ 0.5	f: 断面四角形に鍛造	
30-4			477	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(8.6)	(7.0)	1.7	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
30-5				陶器	常滑 片口鉢I類	底部片	—	—	[5.5]	a: 粘土紐輪積み技法 外面ヘラナデ b: 灰色 砂粒 長石 石英 白色粒 小石粒 c: 灰色 e: 良好 f: 内面摩滅
30-6			515	土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/2	(11.2)	(8.0)	2.9	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 内底部回転痕残る
30-7			519	土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/2	(11.0)	(6.4)	3.0	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
30-8			539	土製品	ロクロ かわらけ(小)	5/6	8.0	5.9	1.7	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
30-9			545	銅製品	銭	—	直径2.3	内孔0.7	重2.5g	f: 開元通寶 北宋621年 背上月
30-10			573	土製品	瓦器質火鉢	底部片	—	—	[5.1]	a: 粘土紐輪積み技法 内面横位ナデ 外面下部横位ヘラナデ b: 灰色 砂粒 雲母 白色粒 c: 灰色 e: 良好 f: 河野編年I c類
30-11			576	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.8)	(5.8)	1.7	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
30-12				陶器	常滑 甕	肩部	—	—	—	a: 粘土紐輪積み技法 b: 褐色 砂粒 長石 石英 白色粒 小石粒 c: 褐色 e: 良好 f: 正方格子押印
30-13			586	土製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	(12.3)	(7.4)	3.2	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
30-14			構成土	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(12.0)	(8.8)	3.7	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 外面に工具痕
30-15				土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/5	11.8	8.0	3.4	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
30-16				土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(8.6)	(7.0)	1.8	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
30-17				土製品	山茶碗	口縁部片	—	—	[3.4]	b: 灰白色 砂粒 白色粒 黒色粒 小石粒 やや粗土 e: 良好 c: 灰色 f: 尾張型前II期? 内面自然釉
30-18				陶器	常滑 甕	肩部片	—	—	—	a: 粘土紐輪積み技法 内面横位ナデ 指頭痕 外面押印文 b: 灰色 砂粒 長石 石英 白色粒 小石粒 c: 褐色 e: 良好 f: 格子文押印
30-19				土製品	平瓦	—	—	—	厚さ 2.3	a: 凸面縄目叩き 凹面離れ砂 布目痕 b: 灰色 砂粒 雲母 白色粒 小石粒 やや粗土 c: 灰色 e: 良好 f: 永福寺A類
30-20				土製品	丸瓦	—	直径 18.7	筒部高 8.6	厚さ 1.6~2.6	a: 凸面縦位と横位のナデ 凹面布目痕 条切り痕 b: 灰色 砂粒 白色粒 小石粒 粗土 c: 灰色 e: 良好 f: 永福寺B類?
32-1	6a面	611		木製品	板草履芯	—	長さ [11.0]	幅 [4.0]	厚さ 0.2	
32-2			木製品	用途不明	—	長さ 5.4	幅 1.7	厚さ 1.1	直径0.3mmの孔	
32-3			木製品	箸	—	長さ 24.0	幅 0.7	厚さ 0.5		
32-4			木製品	箸	—	長さ 22.3	幅 0.5	厚さ 0.4	f: 片面に刃物痕あり	
32-5			木製品	箸	—	長さ 22.1	幅 0.6	厚さ 0.3		
32-6			木製品	箸	—	長さ 22.1	幅 0.6	厚さ 0.4		
32-7			遺構外	土製品	山茶碗	口縁部片	—	—	[2.7]	b: 灰白色 砂粒 白色粒 黒色粒 小石粒 やや粗土 e: 良好 c: 灰色 f: 尾張型前II期? 内面自然釉
32-8	陶器	常滑 甕		肩部片	—	—	—	a: 粘土紐輪積み技法 内外面横位ナデ b: 灰色 砂粒 長石 石英 白色粒 小石粒 c: 褐色 e: 良好 f: ×文+縦線+横一本押印		
31-9	その他	試掘	土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	9.9	6.5	2.9	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 角閃石 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
32-10			土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.6	5.3	2.4	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色(断面中心部黄褐色) e: 良好	
32-11			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(6.4)	(3.7)	2.3	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 精良土 c: 橙色(断面中心部灰色) e: 良好	
32-12			陶器	常滑 片口鉢I類	口縁部片	—	—	[3.6]	a: 粘土紐輪積み技法 外面にヨコナデ b: 灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 c: 灰色 d: 口縁僅かに降灰 e: 良好 f: 中野編年5~6型式か	
32-13			陶器	瀬戸 緑釉小皿	1/6	(10.9)	—	[3.1]	b: 灰色 白色粒 c: 灰色 d: 淡緑色 口縁部付近にツケガケ e: 良好 f: 古瀬戸後期後半	
32-14			攪乱	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(8.3)	4.2	2.8	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
32-15				土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	(7.2)	3.5	2.3~ 2.8	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
32-16				土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.2	3.8	2.1	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 白色粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 口縁煤付着
32-17				土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	6.9	5.0	1.9	a: 内底ナデ 外底回転系切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 口縁3か所に煤付着

表2 出土遺物集計表

出土面		1面																								1a面																							
種別		ビット												土坑						溝						遺構外				炭層直上				構成土				ビット						土坑					
遺構名		1	2	5	6	7	8	10	13	14	15	17	18	19	20	22	23	24	26	石面上	石面下	27	遺構外	炭層直上	構成土	28	29	30	32	33	34	36	37	38	39	40	42												
かわらけ	大	13	6	1	1	13	2	1	10	5	49	5	1	10	17	4	12	31	267	16	208	62	170	21	335	2	3	3	2	6	7	2	4	6	10	10	7												
	中																		1																														
	小	6				2					3	1			1	2	2	2	79	3	15	3	22	4	38	2	1							1	2	19		4											
	小片				4			1			25				4				29										5	2																			
	手捏ね大																		1																														
白かわらけ																		1		1																			1										
国産陶磁器	甕	2			1									1	1				26	19	10		5	2	9																								
	壺																		1																														
	I類																		2		3				1																								
	II類																		7	7	2				1																								
	磨り常滑																		1																														
瀬戸						1							1	1				10		7		2		1													1												
渥美																		1																															
舶載陶磁器	青磁														1				3		4		1		2			1																					
	白磁		1																1		1																												
	青白磁																			1																													
	褐釉																									1																							
土器質火鉢																		2																															
瓦質	瓦器																		1	8	7			1																									
	瓦質火鉢														1	1			10			1	3		2											1	1	1											
	瓦																		1		1				2																								
金属	銭																				1		1																										
	鉄釘	1																	6		3		1		1																								
石製品	砥石																							1																									
	硯																									1																							
	石臼																			1																													
	不明																			1																													
自然遺物	骨																									1																							
	加工品																										2																						
	獣骨																																																
炭化物			1																					2																									
種																								1																									
近代遺物																																																	
不明																																																	
合計		22	7	2	2	19	3	2	10	5	77	6	2	11	26	7	14	33	452	54	265	66	247	28	451	4	4	9	4	6	7	2	5	8	30	13	12												

出土面		1a面												2面																										
種別		土坑						石組						構成土												ビット														
遺構名		43	44	45	46	47	47	47	48	50	51	53	54	55	56	57	60	61	62	63	64	65	67	69	70	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83			
かわらけ	大	52	42	11	14	3	15	48	11	511	17	6	10	3		10	1			1	2	8	5	2	7	18	1	1	2	24	9		4	2		1		1		
	中									1																														
	小	1	15	3	1	2	5	5		59	5			3		5	1	1	1					1		1	1	1		4	1	1	3					1		
小片		7				5			90	8			7	1								3	2			2									2	4	1			
国産陶磁器	甕						1	3		12																		1											1	
	壺									1																														
	I類							1		1																														
	磨り常滑									1																														
瀬戸				1					4						1																									
北部系山茶碗																1																								
舶載	青磁		1														1																							
	青白磁									1																1														
瓦質	瓦器								1	1																														
	瓦質火鉢						1			9																														1
金属	銭								1																															
	鉄釘		1					1		2																													1	
砥石									1																															
近代遺物		1																																						
不明		1																																						
合計		54	68	14	16	5	27	60	12	692	31	6	10	13	1	16	3	2	1	1	2	12	6	4	8	19	4	3	2	30	10	1	7	2	2	1	7	3		

出土面		2面																		3面															
種別		土坑													溝	pit260	遺構外	構成土	ピット																
遺構名		84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	98	99	100	101	103	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	114	115	117			
かわらけ	大	3	5	3	10	5	21	6	6	1	67	13	11	23	26	18	4		64	52	3	18	19	7	3	22	10	10	432	10	2	3	14	4	
	中	2	5								18	3	5	8	5	16	1		20	6	2	8	1	1	3	3	8	68	4	3		11			
	小	2	14			2	5			21			9		1			6	3	16					2	1	3	71	3			5	4		
	小片	2	14			2	5			21			9		1			6	3	16					2	1	3	71	3			5	4		
	手捏ね大																		1																
国産陶磁器	常滑	壺		1				2	1										5			1	2	1	1			16				2			
		壺										1																2							
		I類						1																				8							
		II類									1													1	1				7				1		
		磨り常滑																						1		1							1		
その他不明																							1		1										
	瀬戸		1								3		1					1										7							
	北部系山茶碗																											1							
舶載陶磁器	青磁															1							1						2						
	白磁												1																2						
	青白磁																																1		
	褐釉																1												1						
瓦質	瓦器																		1						1										
	瓦質火鉢	1												1		1				2	1			1	1				12			1			
	瓦						1	1			1																2		1						
金属	銭																							1											
	鉄釘	1									3		1											3	1	1						9		1	2
	砥石											1																	2						
自然遺物	獣骨													2															1						
	炭化物						1																												
	近代遺物						1																												
	合計	4	24	7	3	11	9	25	11	7	2	114	17	22	40	31	38	5	1	99	59	8	50	26	9	7	30	16	18	642	17	6	3	36	10

出土面		3面																																		
種別		ピット																																		
遺構名		120	122	123	124	125	126	127	129	130	132	134	135	137	138	140	141	142	145	146	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160			
かわらけ	大	4	1	3	3	4	5	1	10	3	3	2	2	2	5	10	2	5	1		6	5	10	2	5	2		6	1		10	5	1			
	中																							1												
	小					2						2		1	2	2							2													
	小片		2	2							2		1			10				1				3		4	1	5	4	4	4		4			
国産	常滑																1			1																
	瀬戸																						1													
舶載	白磁													1																						
	褐釉							1																												
瓦質	瓦質火鉢														1																					
	瓦								1																											
金属	銭																																			
	鉄釘	2			1						1													1												
	砥石					1																														
	獣骨															1																				
	合計	6	1	5	6	7	5	2	12	4	6	4	3	4	7	24	3	6	2	1	6	8	14	2	9	3	9	10	6	5	12	9	2			

出土面		3面																																		
種別		ピット													土坑																					
遺構名		161	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	189	190	192	193	194				
かわらけ	大	4	6		15	1	6		6	2	11	3	2	9	9	6	2	4	2		3	4	1	8	2	23	35	15	23	9	5	4				
	小		4				2	2																1	2	1	2	2		5		2				
	小片			2				1				3	3							1	2			4		4		2	10		4					
国産陶磁器	常滑	壺														1																				
		壺																										1								
		I類										1																								
		II類				1									1																1					
	瀬戸							1		1																	1		1				1			
舶載	白磁																																			2
	青白磁										1																									
瓦質	瓦質火鉢						1																												1	
	瓦																											1								
	鉄釘		1																																3	
石製品	硯					1																														
	滑石																											1								
	合計	4	11	2	16	2	9	4	6	5	16	6	2	11	11	6	2	4	4	2	3	4	6	10	3	31	40	18	41	9	19	5				

出土面		3面																				4面									
種別		土坑																				井戸	石組	ビット							
遺構名		195	195 ①	195 ②	195 ③	195 ④	195 ④下層	195 ⑤	195 北壁	195 ⑤下層	195 東下層	196	198	199	200	202	204	205 井戸内	205 裏込め	206	遺構外	構成土	207	208	209	219	221	222	223	224	
かわらけ	大	1209	415	2	133	143	140	71	144	62	4	19	5	22	49	1	26	40	523	85	22	743	3		2	1	7		1	4	
	中																					1									
	小	179	64		58	26	37	21	80	34		2	1	2	12	1	1		6	8	5	112	1	1	1		3				
	小片	41			13	24		31	13						9		2		1	20		25		1	2					1	
	手捏ね大														1																
国産陶磁器	常滑	甕	4				4		2	3		1		1	12	1	1	15	10	8	1	58					1				
		I類	2																1	2		2									
		II類	1																				4								
		磨り常滑																		1											
	不明	1																													
	瀬戸						2		1										1	3		7									
	渥美																				1	1									
南部系山茶碗																						1						1			
不明	1																														
舶載	青磁							2					1	1	1			1	1	3		10									
	白磁	2				2					1									3		2									
	青白磁																	1		1											
土器	瓦質火鉢	1																	1			4									
金属製品	瓦質火鉢							1			1							2	2	2	1	15		1					1		
	瓦										1		1	2				1	1	1		6									
	銭																					1									
	釘	1					1				1		1							1		6		1							
石製品	鉄滓				1																										
	不明	1																				1									
	砥石																					1	1								
	硯																					2									
木製品	滑石																					1									
	碁石																					1									
	不明																					1									
自然遺物	部材																	8													
	箸																		7												
	不明																		4												
骨	加工品																					4									
	獣骨	3						3	1					1				3		7		2								2	
炭化物	2					1																1									
不明																						1									
合計		1448	479	2	205	193	187	123	246	100	4	26	6	28	87	3	30	85	547	145	32	1023	5	5	5	1	11	1	2	7	

出土面		4面																															
種別		ビット																															
遺構名		228	230	232	233	234	235	236	237	239	240	247	250	252	253	255	256	257	260	261	262	264	265	266	268	274	275	276	277	280	282	283	284
かわらけ	大	3	4	1		2	2	2	2	2	1	1	9	5	12	2		2	2	4	1	3	4	11	2	2	11	3	5		5	3	3
	中																																
	小	1																1	1		1	3				1							
	小片		2																			2					2				2		4
国産	常滑				1		1							1																			
	I類																	3															
舶載	青磁	1																									1						
	鉄釘																							1					1		1		
	雲母																													4			
	不明																															1	
合計		5	6	1	1	2	3	2	2	2	4	1	9	6	12	2	1	3	2	5	1	8	4	12	2	4	13	3	6	4	8	4	7

出土面		4面																															
種別		ピット														土坑																	
遺構名		287	288	290	291	292	295	296	297	298	299	300	302	303	306	307	308	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	325	326	328
かわらけ	大	21			5	3	8	6	5	2	9	2	6	9	3	3	4	4	4	2	6	41	5	7	4	11	2	28	2	9	5		
	小			1			1	3	1	1	2	1	1		1							12		1	1			5					
	小片	4				1	4			4				9								10											
国産陶磁器	甕		1												1									1			1		1		1		
	壺																																
	I類																																
	II類					3																											
瀬戸																				1													
青磁		1	1									1													1		1			1			
瓦器		1																															
瓦質火鉢								1																					1				
鉄釘		1																															
滑石																																	
獣骨																																	
合計		28	2	1	8	4	13	10	6	7	9	4	8	19	4	1	3	4	4	5	2	6	63	5	1	9	6	13	2	35	3	10	6

出土面		4面																												5面				
種別		土坑																								溝				ピット				
遺構名		329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	347	348	349	351	353	南側石敷上	北隅石列下	遺構外	構成土	354	355	357	359	362		
かわらけ	大	1	1	11	3	11	9	17	9	36	31	6	247	13	32	10	1	22	32	9	2	9	343	11	9	12	268	9	3	1	4	2		
	中					2																												
	小		1	4	1		1	2	2	8	12		79	2	10	10		3	12	4		6	45	11		4	35	2	1		1			
	極小												1																					
	小片		3				3			9	3		10	2	5			7	9					12				15						
自かわらけ																																		
国産陶磁器	甕					1			1	1	4		2						3					15		1	1	19						
	I類																						2				3							
	II類																						1	1			1							
	瀬戸																						1				1							
不明																																		
舶載	青磁								1			1	1	1									3				7		1					
	白磁											1															4							
伊勢系土鍋																											1							
瓦質火鉢						1																		7			3			1				
瓦												1											1		1		2							
不明												1																						
金属製品	銭																										1							
	釘									2	1		2										6				2	1			1			
	鉄滓																							1										
	不明																							1										
石製品	砥石										1																1							
	滑石																																	
獣骨													1																					
合計		1	5	15	4	15	13	19	12	57	52	8	344	18	47	20	1	32	56	13	2	15	441	24	11	19	364	13	5	2	6	2		

出土面		5面																														
種別		ピット																														
遺構名		365	366	372	374	375	377	379	381	386	390	394	395	396	397	399	401	404	405	406	407	408	410	411	412	413	417	421	422	425	426	
かわらけ	大	2	2		1	3	7	1	1		1	2	2	1	2	1	1	7	2	1	1	2	1		1	2	1	4	4	3	1	
	小		1	1																												
	小片	1									1																2		2			
自かわらけ																																
国産	甕																															
	壺						1							1											1							
	瀬戸																															
青磁																																
瓦																											1					
鉄釘																																
獣骨																																
合計		3	3	1	1	3	8	1	1	1	2	2	3	2	2	1	1	7	3	2	1	2	1	1	2	5	1	4	7	3	2	

出土面		5面																							6面						
種別		ピット											土坑											溝			ピット				
遺構名		427	428	429	430	431	439	433	434	437	438	439	441	444	445	446	447	448	449	450	451	453	454	455	456	構成土	い 面 南 砂 質 土	ど 面 石 敷 下	466	471	474
かわらけ	大	5	1	2	15	3		3	2	3	7	1	3		14	22	12	4	3	13	6		11	24	3	48	43	8			2
	小					1	1		1		1		1		4	3					5				4	1	13	17	4	1	1
	小片	7														2									1		4				2
白かわらけ																									1		1				
国産陶磁器	常滑				1				1	1							1		1		1				2		9	13	1		
	I類																							2		1	4				
	瀬戸																							2		1	4			1	
南部系山茶碗													1									1					1				
舶載	青磁														1	1								1			4	2			
	白磁																											3			
土器質火鉢										1																					
瓦器	瓦器																											1			
	瓦質火鉢									1						1											2				
	瓦																						1	2		1					
金属製品	釘	1				2											1									2	1				
	鉄滓																											1			
	不明金属製品																										1	1		1	
石製品	砥石																										1				
	滑石																										1				
	不明																						1								
木製品	箸																								4						
	不明木製品																									3					
獣骨														1											7	1		1			
合計		13	1	2	16	6	1	3	4	4	10	1	4	1	20	29	14	4	4	18	7	1	14	48	7	80	95	15	1	1	5

出土面		6面																															
種別		ピット																															
遺構名		475	476	477	480	485	493	499	500	501	512	515	519	520	521	537	538	539	541	542	544	545	546	547	548	549	551	552	559	564	566	568	569
かわらけ	大	3	4	6	2	1	1	1	3	4		2	2	2	1	3	1		4	2	5	3	1	10	4	1	1	3		2		1	1
	小	1		2				1						1		1	1	1	2				2	8	1	1		2		1			
	小片																3			2						2	1		1				
国産	常滑							1								1	1							1									
	I類			1							2												1										
瓦質火鉢																				1													
錢																							1										
獣骨																						1											
合計		4	4	9	2	1	1	3	3	4	2	2	2	3	1	5	6	1	6	5	6	5	3	19	5	4	2	3	3	2	1	1	1

出土面		6面											6a面					試掘	表土	攪乱
種別		土坑										構成土	ビット							
遺構名		570	571	573	574	575	576	580	581	586	構成土		601	605	608	610	611	構成土		
かわらけ	大	1		5	1	7	4	6	7	3		8			1	2	2		12	31
	中		1														1			
	小						6	2	4	1	4			2	1	1	2	2	61	8
	小片		1				7					2	2				2	62	3	
国産陶磁器	甕	1	1				2	2	1		2					1	4		18	5
	壺														1					
	I類		2															1	5	
	II類																		7	
	瀬戸																	3	4	
渥美			1					1												
南部系山茶碗										1						1				
舶載	青磁																		2	1
	白磁																	1	1	
土製品	火鉢																		1	2
	伊勢系土鍋																		1	
瓦質	瓦器																		2	
	瓦質火鉢																		4	1
	瓦									4									2	
木製品	鉄釘																		4	
	基石																		1	
	部材															1				
	箸															14				
	折敷															2				
	草履芯															1				
不明															13					
獣骨										2									1	
近代遺物																				1
合計		2	5	6	1	7	19	10	13	4	21	2	2	3	3	36	19	41	305	61

種別		総計
かわらけ	大	9421
	中	8
	小	1715
	極小	1
	小片	947
	手捏ね大	3
白かわらけ	9	
国産陶磁器	甕	387
	壺	16
	I類	59
	II類	50
	磨り常滑	4
	その他	1
	不明	2
	瀬戸	78
	渥美	5
	山茶碗	2
北部	2	
南部	7	
不明	2	
舶載陶磁器	青磁	74
	白磁	29
	青白磁	6
	褐釉	4
土製品	火鉢	12
	伊勢系土鍋	4
瓦質製品	瓦器	25
	火鉢	106
	瓦	43
	不明	1
金属製品	銭	8
	釘	92
	鉄滓	3
	不明	6

種別		総計
石製品	砥石	11
	硯	5
	石臼	1
	滑石	2
	基石	2
	雲母	4
	不明	3
木製品	部材	9
	箸	25
	折敷	2
	草履芯	1
	不明	20
	不明	2
自然遺物	骨	5
	加工品	49
	炭化物	8
種	1	
近代遺物	12	
不明	4	
合計	13288	

表3 出土自然遺物観察表

no.		出土地点	種類	数	備考	
1	1面	遺構 26	不明	2		
2		直上	果核	1		
3	2面	遺構 95	上腕骨	1	シカか	
4			不明	1		
5	3面	構成土	不明	10		
6		遺構 132	不明骨	1		
7		遺構 140	不明	1		
8		遺構 195		歯	1	ウマか
9				鳥上腕骨	1	カモ類か
10				上腕骨	1	鳥類か
11				肋骨	1	不明
12				上顎骨	1	マダイ or チダイ
13				尺骨	1	ウマ
14				踵骨か	1	
15		遺構 200	踵骨	1	ウシ	
16		遺構 205	海生哺乳類吻の骨	1	イルカか	
17			不明	1		
18		構成土	不明骨	1		
19				ノウサギ上腕骨	1	
20	遺構 207		不明	5		
21	4面	遺構 224	不明骨	2		
22		遺構 319	不明骨	1		
23		遺構 340	不明	1		
24		遺構 353	不明	2		
25		構成土	踵骨	1		
26		遺構 354	橈骨か	1		
27	5面	遺構 445	ネズミ上腕骨	1		
28			不明骨	7		
29		遺構 455	果核	1		
30		遺構 456	中節骨	1	ウマ	
31		構成土		上腕骨か	1	
32				背鱗	1	タイ類
33				不明	1	
34	6面	遺構 544	不明	1		
35		構成土	不明骨	3		

積善遺跡の自然科学分析

バリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

積善遺跡（鎌倉市十二所字積善に所在）は、鎌倉市北東部の丘陵地帯に位置する。今回、遺構が構築された頃および埋積する過程で周囲に存在した植生や植物の利用を検討する上で有効な花粉化石や植物珪酸体の含有が期待された。今回は、これらの産状を調べて植生や農耕に関する情報を得るために、花粉分析と植物珪酸体分析を実施した。

1. 試料

遺構覆土から採取され、分析調査用に選択された土壌試料4点（試料番号1～4）である。分析の際は、同一試料を各分析項目で分割して用いた。

これらの試料は、試料番号1が黒色砂質シルト～粘土、試料番号2が黒褐色砂質シルト～粘土、試料番号3が黒褐色礫混じり砂質シルト、試料番号4が黒褐色シルト～粘土からなる。

2. 分析方法

(1) 花粉分析

試料約10gについて、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液（臭化亜鉛、比重2.3）による有機物の分離、フッ化水素酸による鉍物質の除去、アセトリシス（無水酢酸9：濃硫酸1の混合液）処理による植物遺体中のセルロースの分解を行い、物理・化学的処理を施して花粉を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作製し、400倍の光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し、出現する全ての種類について同定・計数する。同定は、当社保有の現生標本や島倉（1973）、中村（1980）、三好ほか（2011）などを参考にする。

結果は同定・計数結果の一覧表として表示する。表中で複数の種類をハイフオンで結んだものは、種類間の区別が困難なものを示す。

(2) 植物珪酸体分析

各試料について過酸化水素水・塩酸処理、沈定法、重液分離法（ポリタングステン酸ナトリウム、比重2.5）の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。これをカバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後、プリウラックスで封入してプレパラートを作製する。400倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部（葉身と葉鞘）の葉部短細胞に由来した植物珪酸体（以下、短細胞珪酸体と呼ぶ）および葉身機動細胞に由来した植物珪酸体（以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ）を、近藤（2010）の分類を参考に同定し、計数する。

分析の際には、分析試料の乾燥重量、プレパラート作成に用いた分析残渣量を計量し、乾土1gあたりの植物珪酸体含量（同定した数を乾土1gあたりの個数に換算）を求める。

結果は、検出された植物珪酸体の分類群と植物珪酸体含量の一覧表で示す。その際、100個/g未満は「<100」で表示する。各分類群の含量は10の位で丸め（100単位にする）、合計は各分類群の丸めな

い数字を合計した後に丸めている。また、各分類群の植物珪酸体含量を図示する。

3. 結果

(1) 花粉分析

結果を表1に示す。

各試料で検出される花粉化石数は少なく、定量分析を行うだけの個体数は得られない。

試料番号1は、他の試料と比較して花粉化石の種類数や個体数が多いものの、定量解析するには至らない。保存状態は普通～やや悪い程度である。検出された木本花粉にはモミ属、ツガ属、マツ属、クマシデ属-アサダ属、コナラ属コナラ亜属など、草本花粉にはイネ科、カヤツリグサ科、ゴキヅル属、ヨモギ属などが認められる。

試料番号2と3は花粉化石がほとんど検出されず、保存状態も悪い。木本花粉でヤマモモ属など、草本花粉でイネ科、カヤツリグサ科、ヨモギ属などが見られ、その個体数も1～2個体程度である。

試料番号4は花粉化石が1個体も検出されず、僅かにシダ類胞子が認められる程度である。

表1. 花粉分析結果

種 類	遺構覆土			
	1	2	3	4
木本花粉				
モミ属	2	-	-	-
ツガ属	3	-	-	-
マツ属複雑管束亜属	1	-	-	-
スギ属	1	-	-	-
ヤマモモ属	-	-	1	-
サワグルミ属	1	-	-	-
クマシデ属-アサダ属	4	-	-	-
カバノキ属	1	-	-	-
コナラ属コナラ亜属	3	-	-	-
草本花粉				
イネ科	20	1	1	-
カヤツリグサ科	5	-	1	-
サナエタデ節-ウナギツカミ節	1	-	-	-
ゴキヅル属	1	-	-	-
ヨモギ属	2	-	2	-
キク亜科	1	-	-	-
不明花粉				
不明花粉	3	-	4	-
シダ類胞子				
イノモトソウ属	-	6	4	-
他のシダ類胞子	7	5	20	6
合 計				
木本花粉	16	0	1	0
草本花粉	30	1	4	0
不明花粉	3	0	4	0
シダ類胞子	7	11	24	6
合計(不明を除く)	53	12	29	6

(2) 植物珪酸体分析

結果を表2、図1に示す。

各試料からは植物珪酸体が検出されるものの、保存状態が悪く、表面に多数の小孔(溶食痕)が認められる。

植物珪酸体含量は各試料で異なり、試料番号1が11,400個/g、試料番号2が1,100個/g、試料番号3が13,400個/g、試料番号4が3,000個/gである。

各試料での産状は同様であり、メダケ属を含むタケ亜科の産出が目立ち、ヨシ属やススキ属、イチゴツナギ亜科などが僅かあるいは稀に認められる。

また栽培植物であるイネ属が試料番号1と3で産出し、葉部の短細胞珪酸体や機動細胞珪酸体が見られる。その含量は少なく、試料番号1の短細胞珪酸体が100個/g未満、機動細胞珪酸体が200個/g程度、試料番号3の短細胞珪酸体が100個/g程度、機動

表2. 植物珪酸体含量

(個/g)

分 類 群	遺構覆土			
	1	2	3	4
イネ科葉部短細胞珪酸体				
イネ属	<100	-	100	-
メダケ属	1,800	<100	1,000	200
タケ亜科	1,300	<100	3,800	400
ヨシ属	200	-	100	-
ススキ属	100	-	<100	<100
イチゴツナギ亜科	<100	-	-	-
不明	1,400	200	2,500	300
イネ科葉身機動細胞珪酸体				
イネ属	200	-	200	-
メダケ属	2,200	200	1,400	500
タケ亜科	1,900	300	2,400	600
ヨシ属	200	-	<100	-
ススキ属	200	-	-	-
不明	1,800	300	1,900	1,100
合 計				
イネ科葉部短細胞珪酸体	4,900	300	7,500	900
イネ科葉身機動細胞珪酸体	6,500	800	5,900	2,100
植物珪酸体含量	11,400	1,100	13,400	3,000
珪化組織片				
イネ属短細胞列	-	-	*	-
メダケ属短細胞列	*	-	-	-
樹木起源珪酸体				
クスのノキ科	* *	-	*	*
その他				
珪藻殻片	*	-	*	-

含量は、10の位で丸めている(100単位にする)

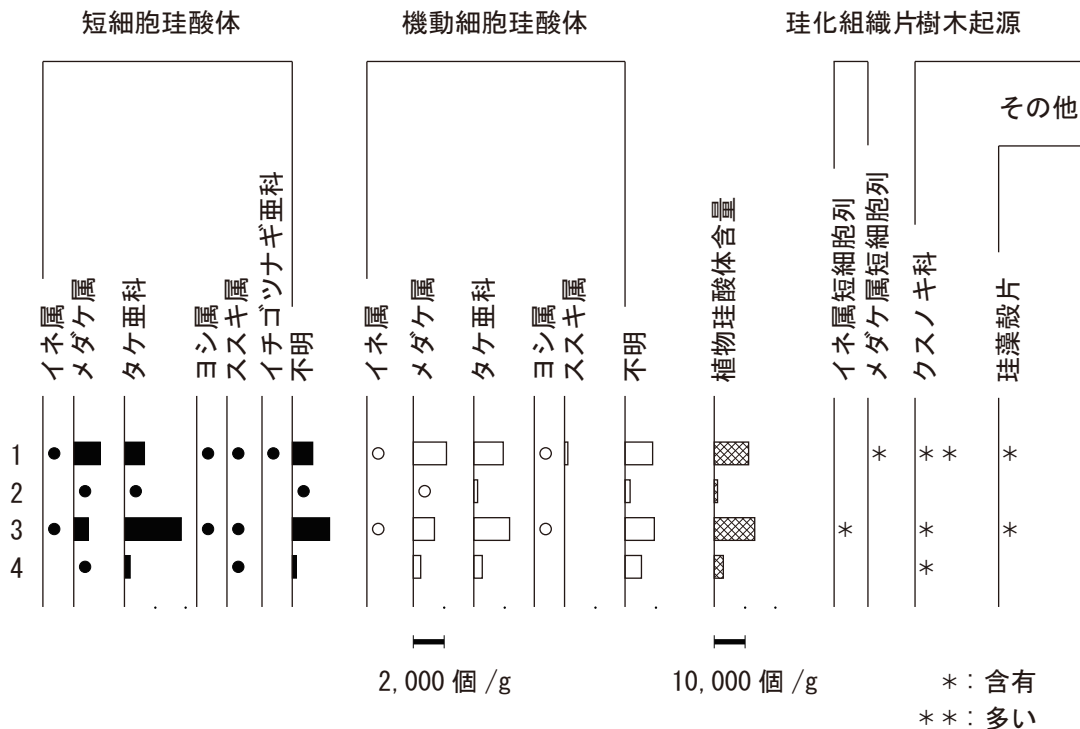
合計は各分類群の丸めない数字を合計した後に丸めている

<100:100個/g未満

-:未検出,* :含有,* *:多い

細胞珪酸体が 200 個 /g 程度である。試料番号 3 では葉部の短細胞列も検出される。

イネ科以外に、樹木起源としてクスノキ科葉部の植物珪酸体が試料番号 3 を除いて検出され、試料番号 1 で多い。また試料番号 1 と 3 では、植物珪酸体の他に珪藻殻も認められる。



乾土 1g あたりの個数で示す。●○は 200 個未満を定性的に示す。

図 1. 積善遺跡 2 の植物珪酸体含量

4. 考察

今回分析を実施した試料は、試料番号 2～4 で花粉化石がほとんど、あるいは全く検出されなかった。一般的に花粉やシダ類胞子の堆積した場所が常に酸化状態にあるような場合、花粉は酸化や土壤微生物によって分解や消失するとされている (中村,1967; 徳永・山内,1971; 三宅・中越,1998 など)。珪藻分析などを実施していないために詳細な堆積環境は不明である。しかし、わずかに検出される花粉化石の保存状態が悪いことも踏まえると、堆積後の経年変化で分解や消失した可能性が高い。

試料番号 1 は、他の 3 試料と比較すれば産出する花粉化石の種類数や個体数が多いものの、古植生を検討できるほどではない。一般的に花粉やシダ類胞子は、腐蝕に対する抵抗性が種類により異なっており、落葉広葉樹に由来する花粉よりも針葉樹に由来する花粉やシダ類胞子の方が酸化に対する抵抗性が高いとされている (中村,1967; 徳永・山内,1971; 三宅・中越,1998 など: いずれも前出)。検出された種類は、比較的分解に強いものあるいは分解が進んでも同定可能なものが多いことから、他の試料と同様に堆積後の経年変化を受けた中で分解に強い花粉が選択的に残留したと考えられる。

現生の生育環境を考慮すれば、モミ属、ツガ属、マツ属などの針葉樹は周囲の丘陵上などの林分に、またスギ属などの針葉樹やサワグルミ属・クマシデ属・アサダ属・コナラ属コナラ亜属などの広葉樹は

丘陵を開析する谷や周辺河川沿いなどに生育していた可能性がある。また、植物珪酸体においてクスノキ科葉部の植物珪酸体が多く検出された。クスノキ科は、日本ではタブノキをはじめ常緑広葉樹林の構成種を多く含み、これらの種類の花粉は分解しやすい性質なため花粉分析において検出されることがない。このことから、遺跡の後背地など比較的付近にクスノキ科などをはじめとして常緑樹が生育していたとみられ、特に試料番号1の付近にクスノキ科が存在していた可能性もある。

草本類のイネ科、カヤツリグサ科、サナエタデ節 - ウナギツカミ節、ヨモギ属、キク亜科などは、いずれも開けた明るい場所に生育する種を含むことから、当時の調査区内や周辺の草地植生に由来すると思われる。またゴキヅル属は河畔などの水湿地に生育することから、周囲の河川沿いなどに生育した可能性がある。

植物珪酸体で検出された分類群からは、イネ科の中にメダケ属を含むタケ亜科、ヨシ属やススキ属、イチゴツナギ亜科が含まれていたことがうかがえる。産出の目立ったタケ亜科の植物珪酸体は他のイネ科と比較して風化に強く、生産量の多い点がこれまでの研究から指摘されており（近藤,1982; 杉山・藤原,1986）、他の種類よりも残留しやすいことが知られている。今回の産状もタケ亜科が土層中に相対的に多く残留したために、その産出が目立つ結果になったと考えられる。なお、堆積物1gあたりに含まれる植物珪酸体量は、試料によって異なっており、試料番号1・3が約11,000～13,000個/g、試料番号2・4が約1,000～3,000個/gとなっている。このような違いは、植物珪酸体の供給量が異なる、あるいは堆積速度の違いなどを反映していると思われる。

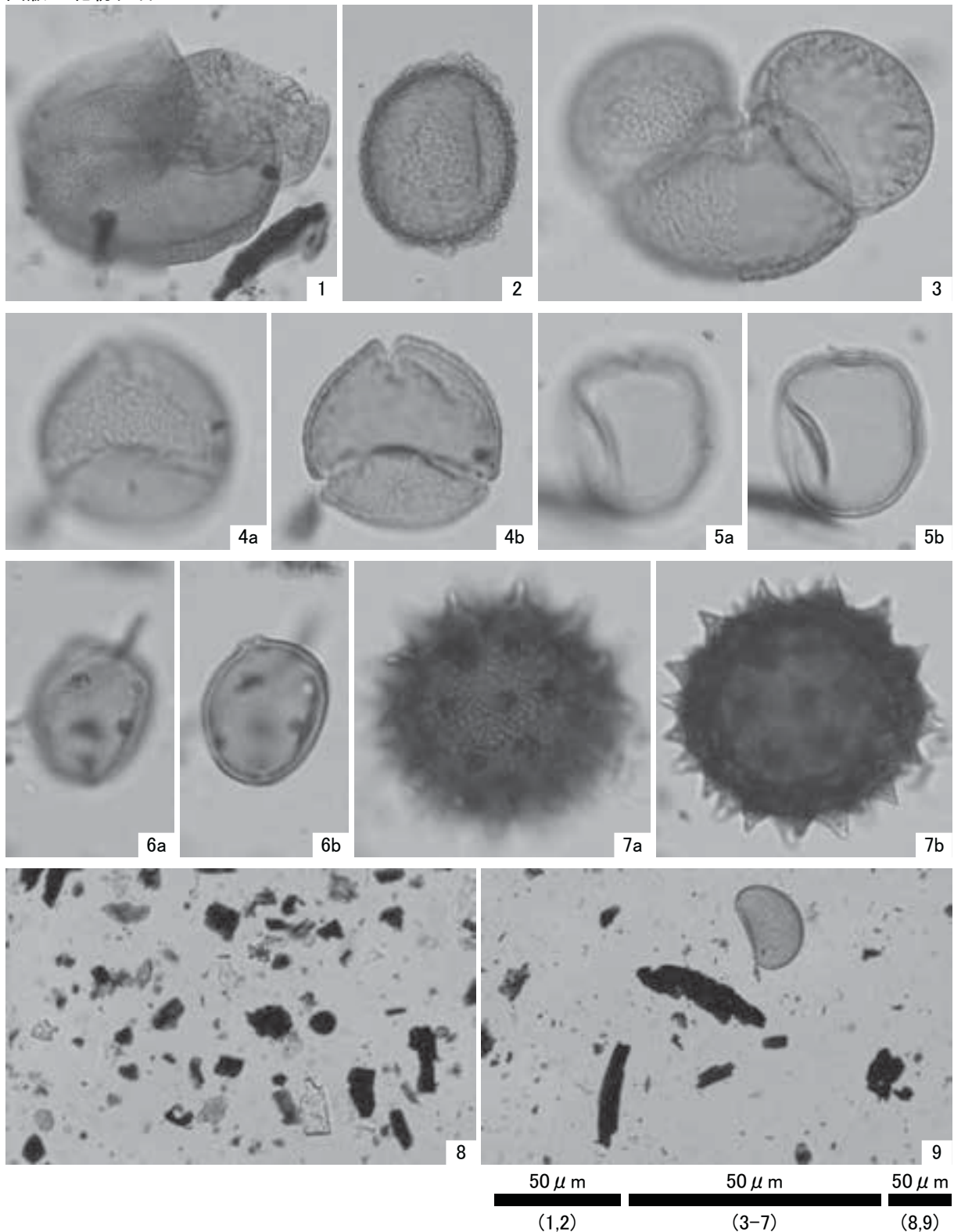
また、栽培植物であるイネ属が試料番号1と3で僅かに産出したことから、これらが採取された層位あるいは場所が形成された頃には、遺構の周辺で稲作が行われていた可能性あるいはイネ属の植物体が何らかの生活資材（燃料材や住居構築材など）に利用された可能性が考えられる。

なお遺構覆土からは、花粉化石や植物珪酸体の他に、遺構内や周囲の堆積環境、水域の有無などの検討に有効な珪藻殻も認められた。今後さらに、珪藻分析を実施することで覆土の堆積環境などの情報が得られ、発掘調査所見を含めて検討することで、遺構の形成過程や用途に関する情報が得られると思われる。

引用文献

- 近藤鍊三,1982,Plant opal 分析による黒色腐植層の成因究明に関する研究・昭和56年度科学研究費（一般研究C）研究成果報告書,32p.
- 近藤鍊三,2010,プラント・オパール図譜・北海道大学出版会,387p.
- 三宅 尚・中越信和,1998,森林土壌に堆積した花粉・胞子の保存状態・植生史研究,6,15-30.
- 三好教夫・藤木利之・木村裕子,2011,日本産花粉図鑑・北海道大学出版会,824p.
- 中村 純,1967,花粉分析・古今書院,232p.
- 中村 純,1980,日本産花粉の標徴 I II (図版).大阪市立自然史博物館収蔵資料目録 第12,13集,91p.
- 島倉巳三郎,1973,日本植物の花粉形態・大阪市立自然科学博物館収蔵目録 第5集,60p.
- 杉山真二・藤原 宏志,1986,機動細胞珪酸体の形態によるタケ亜科植物の同定－古環境推定の基礎資料として－.考古学と自然科学,19,69-84.

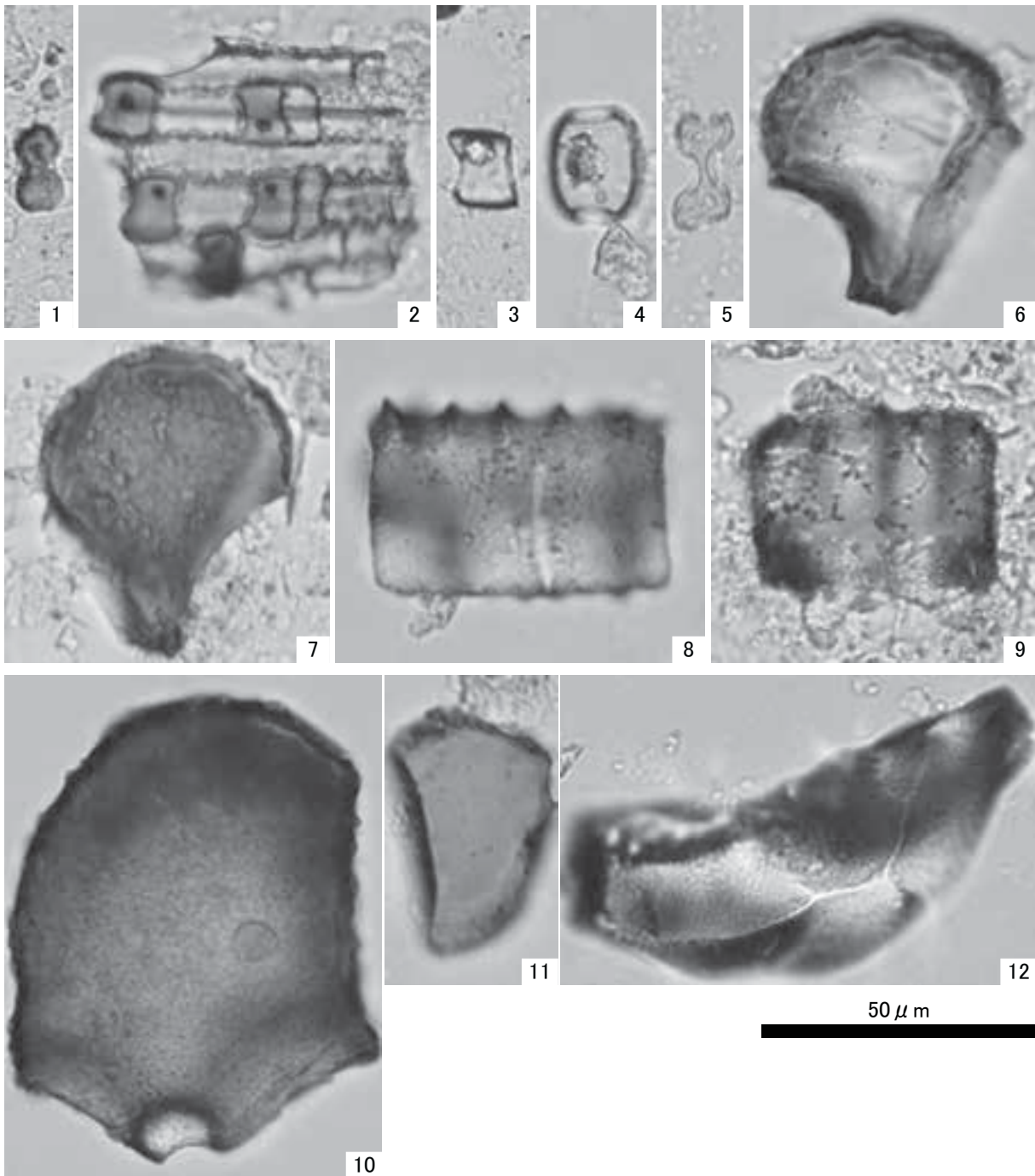
図版1 花粉化石



- 1. モミ属(遺構覆土;1)
- 3. マツ属(遺構覆土;1)
- 5. イネ科(遺構覆土;1)
- 7. キク亜科(遺構覆土;1)
- 9. プレパラート内の状況(遺構覆土;3)

- 2. ツガ属(遺構覆土;1)
- 4. コナラ属コナラ亜属(遺構覆土;1)
- 6. クマシデ属-アサダ属(遺構覆土;1)
- 8. プレパラート内の状況(遺構覆土;2)

図版2 植物珪酸体



- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. イネ属短細胞珪酸体(遺構覆土;3) | 2. メダケ属短細胞列(遺構覆土;1) |
| 3. メダケ属短細胞珪酸体(遺構覆土;3) | 4. ヨシ属短細胞珪酸体(遺構覆土;1) |
| 5. ススキ属短細胞珪酸体(遺構覆土;1) | 6. イネ属機動細胞珪酸体(遺構覆土;1) |
| 7. イネ属機動細胞珪酸体(遺構覆土;3) | 8. メダケ属機動細胞珪酸体(遺構覆土;1) |
| 9. メダケ属機動細胞珪酸体(遺構覆土;3) | 10. ヨシ属機動細胞珪酸体(遺構覆土;1) |
| 11. ススキ属機動細胞珪酸体(遺構覆土;1) | 12. クスノキ科葉部珪酸体(遺構覆土;1) |



1. 第1面全景 (2区西から)



2. 第1面全景 (1区南から)



3. 第1a面全景 (2区南から)



4. 第1a面全景 (1区南から)



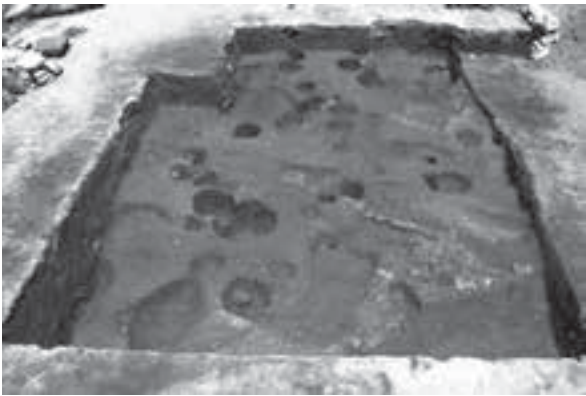
5. 第1面遺構 26 完掘状況 (1区南から)



7. 第1a面遺構 47 (東から)



6. 第1a面遺構 48 (西から)



1. 第2面全景（2区南から）



2. 第2面全景（1区南から）



3. 第3面全景（2区南から）



4. 第3面全景（1区南から）



5. 第3面遺構 195（北から）



6. 第3面遺構 195（西から）



7.) 第3面遺構 206（西から）



8. 第3面遺構 206（東から）



1. 第3面遺構 205 (南から)



2. 第3面遺構 205 井戸枠 (東から)



3. 第4面全景 (2区南から)



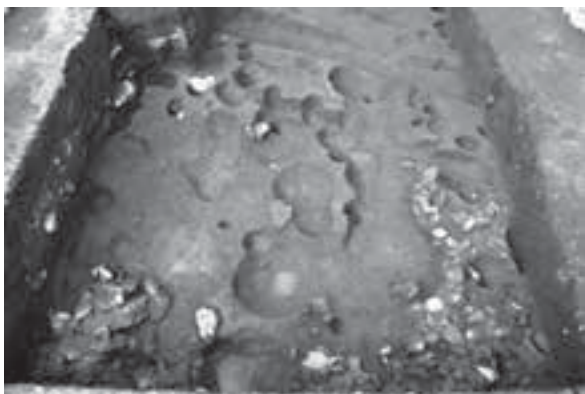
4. 第4面全景 (1区南から)



5. 第5面全景 (2区南から)



6. 第5面全景 (1区南から)



7. 第5面南部石積み (2区南から)



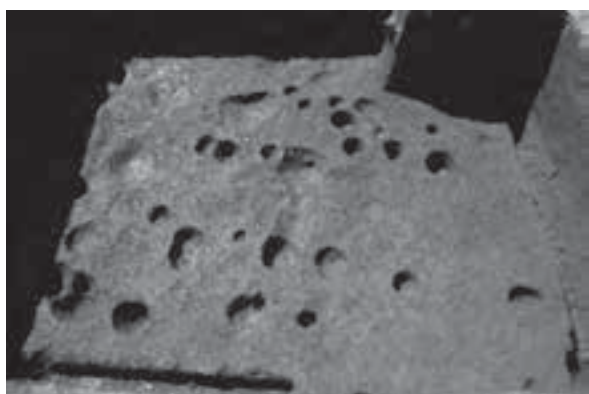
8. 第5面遺構●(東から)



1. 第6面全景（2区南から）



2. 第6面全景（1区南から）



3. 第6a面全景（2区東から）



4. 第6a面全景（1区東から）



5. 深堀全景（2区南から）



6. 深堀全景（2区西から）



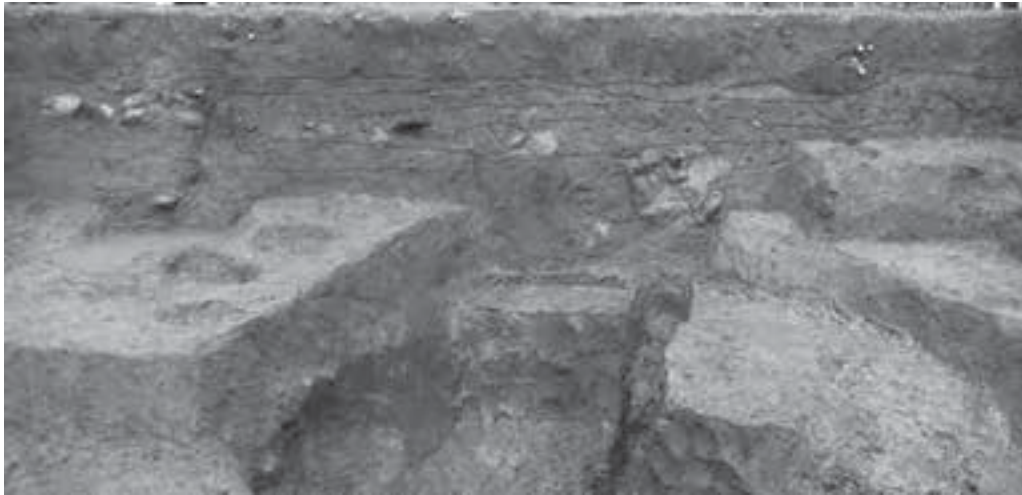
7. 深堀全景（2区北から）



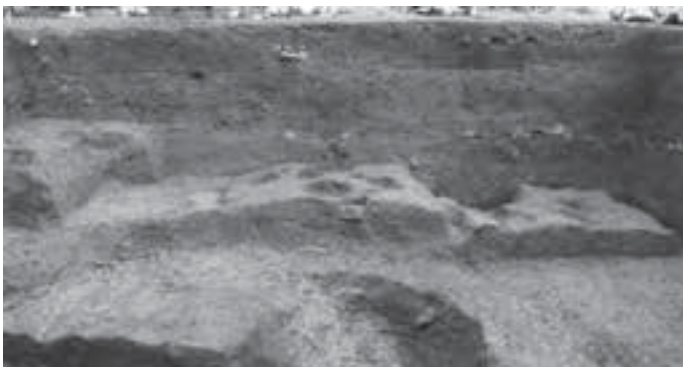
1. 北壁セクション (2区南から)



2. 北壁セクション (1区南から)



3. 東壁セクション (1区西から)



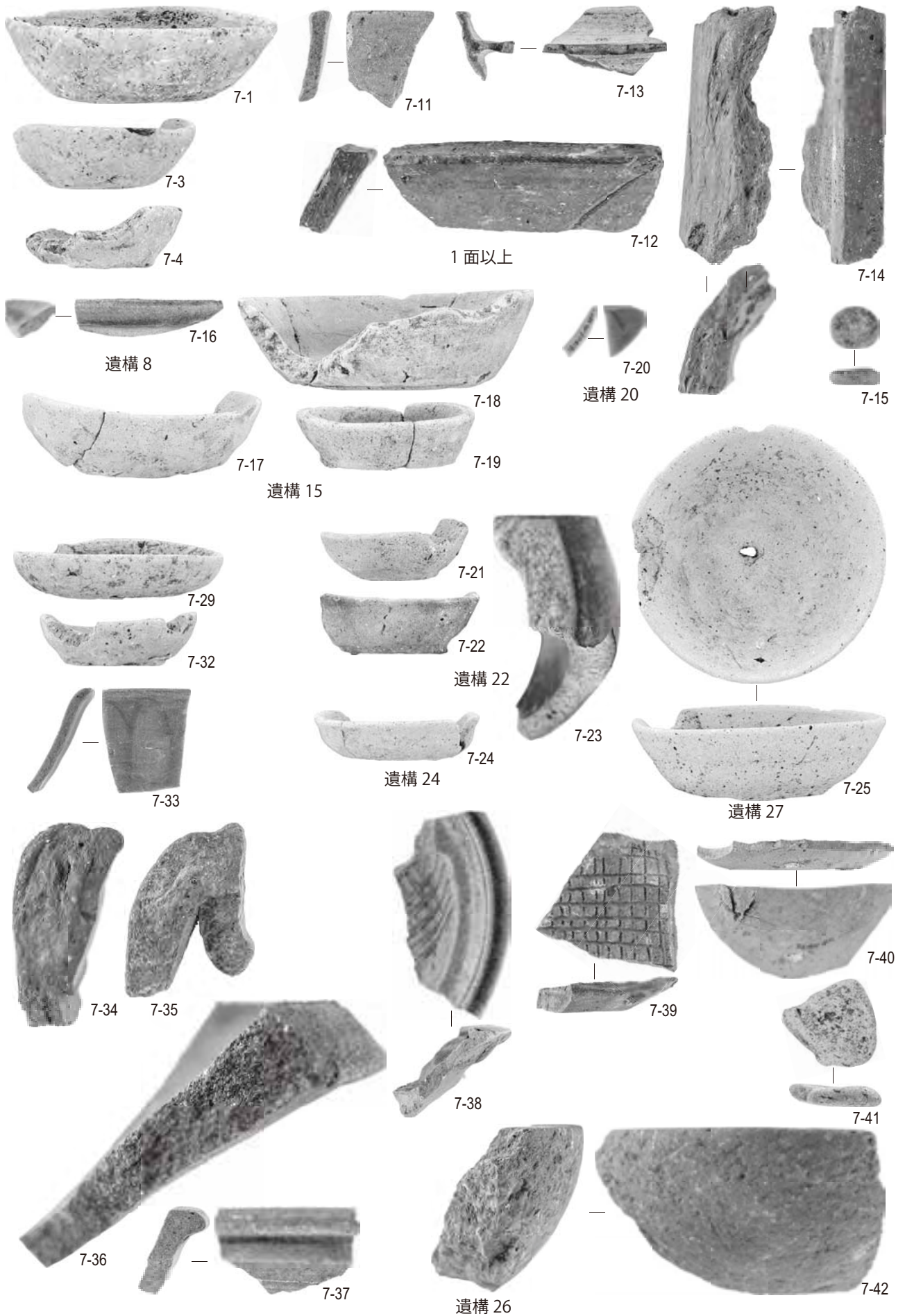
4. 南壁セクション (1区北から)

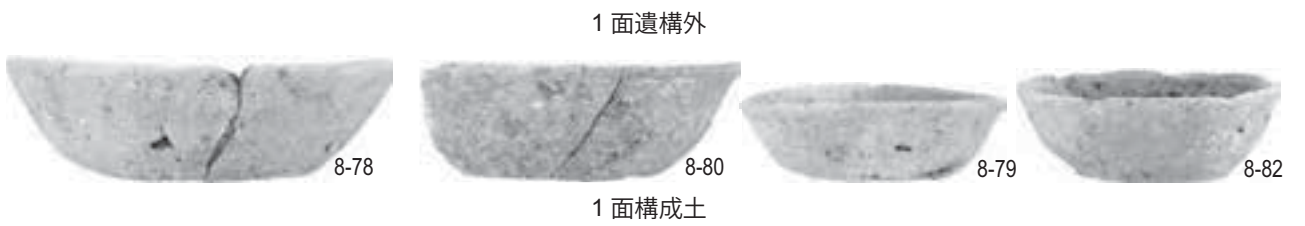
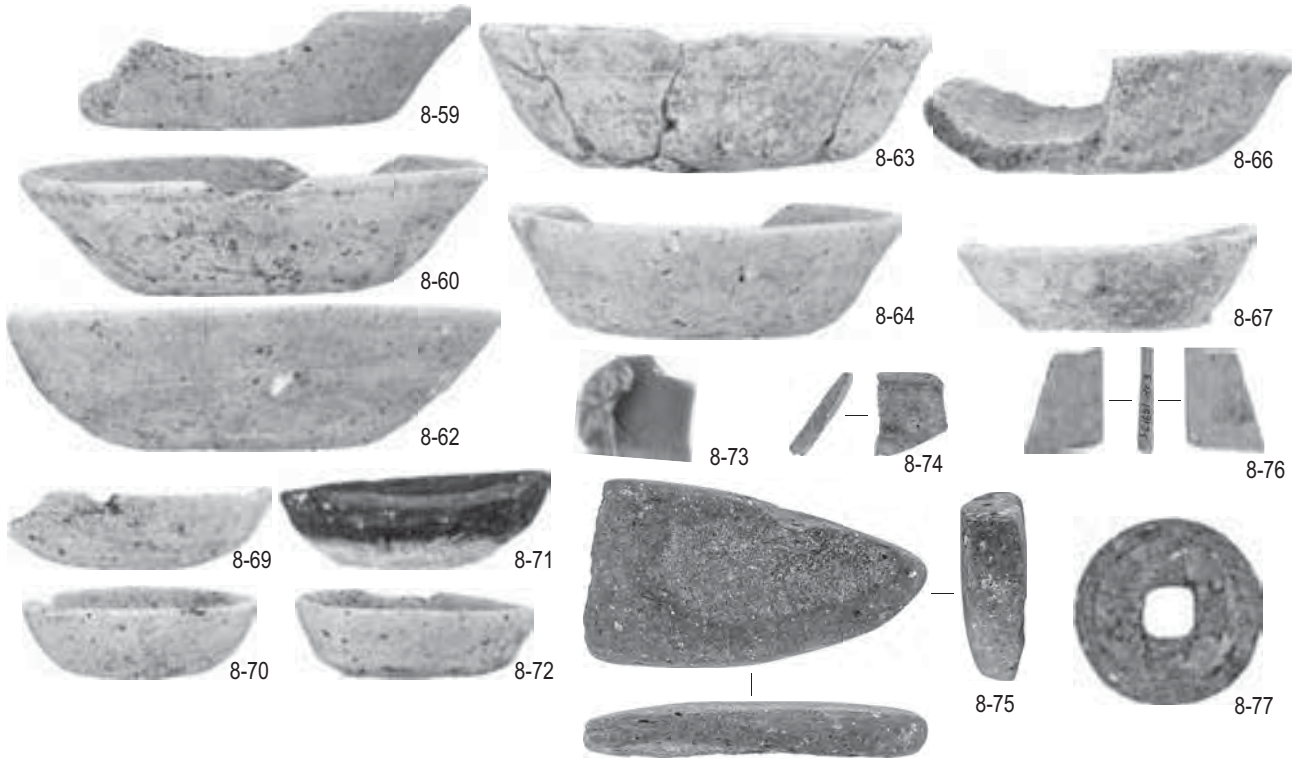
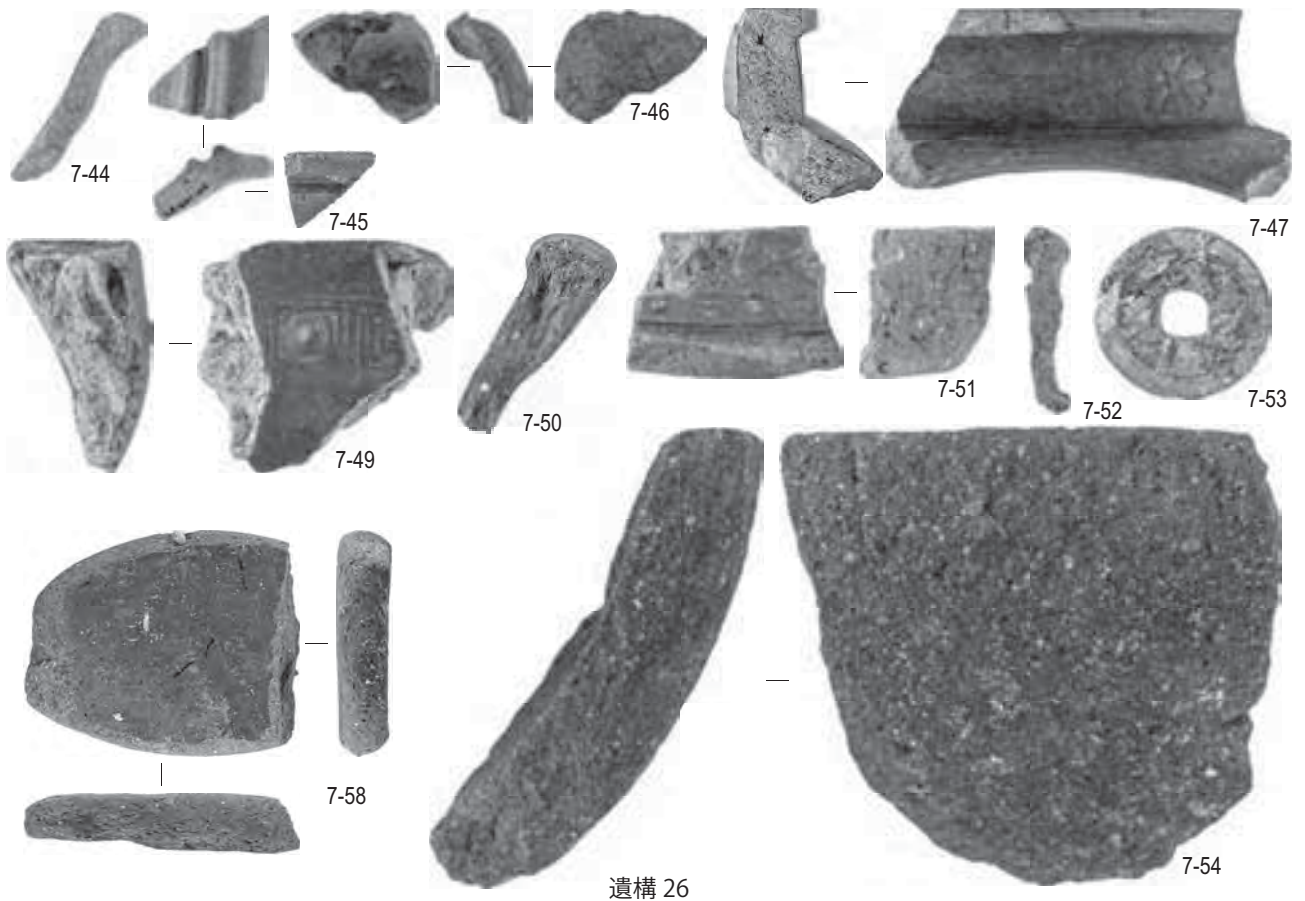


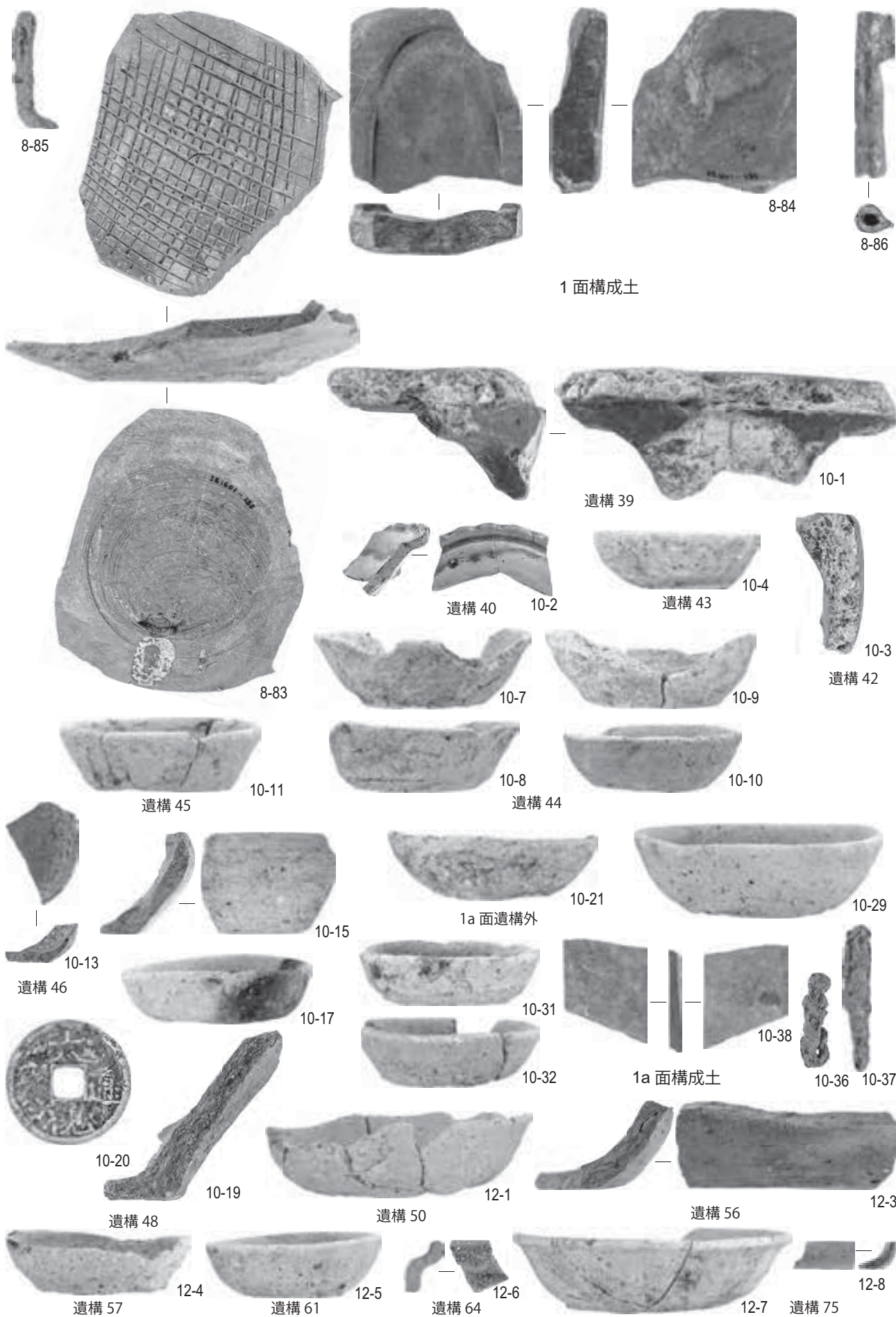
5. 南壁セクション (2区北から)

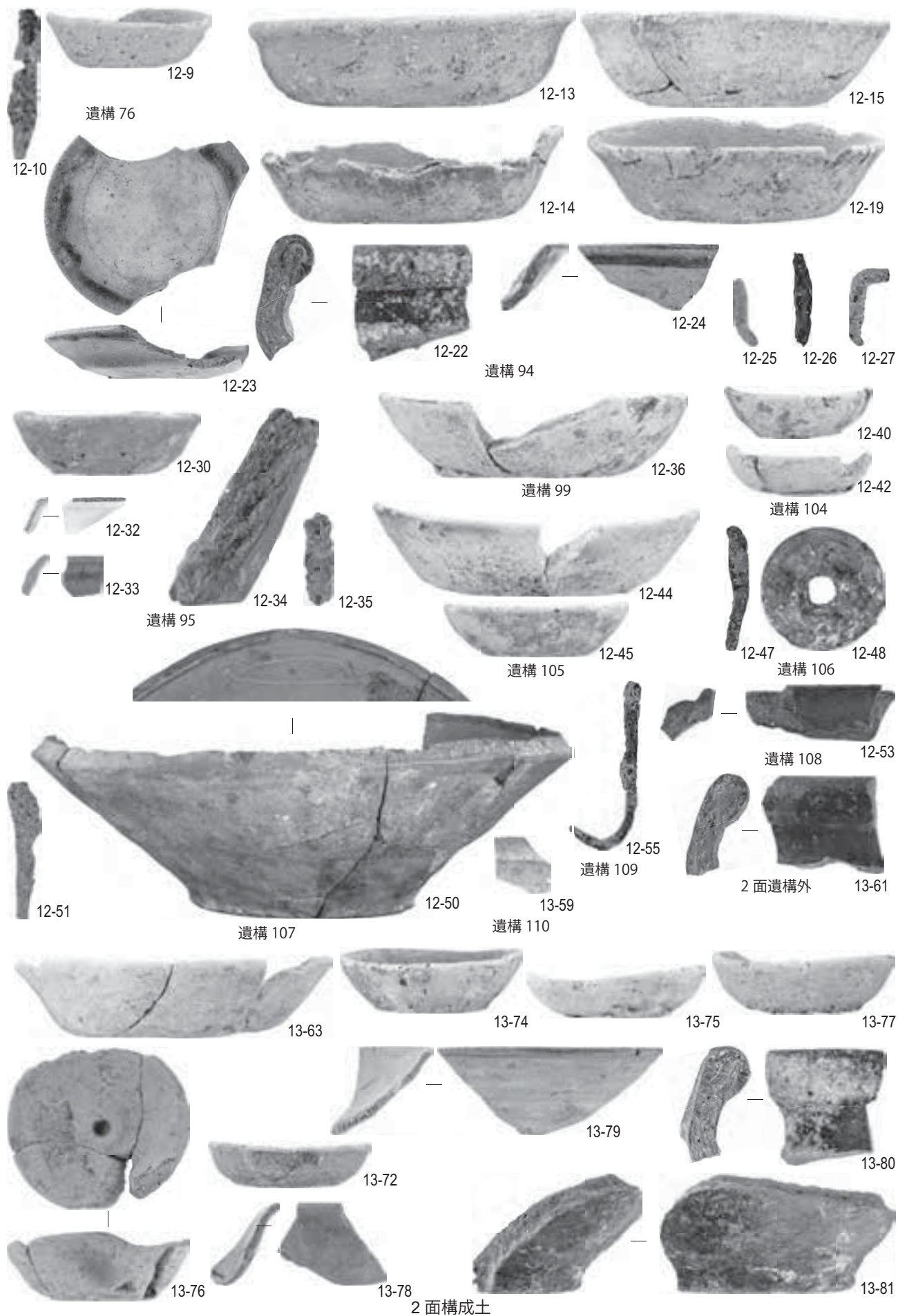


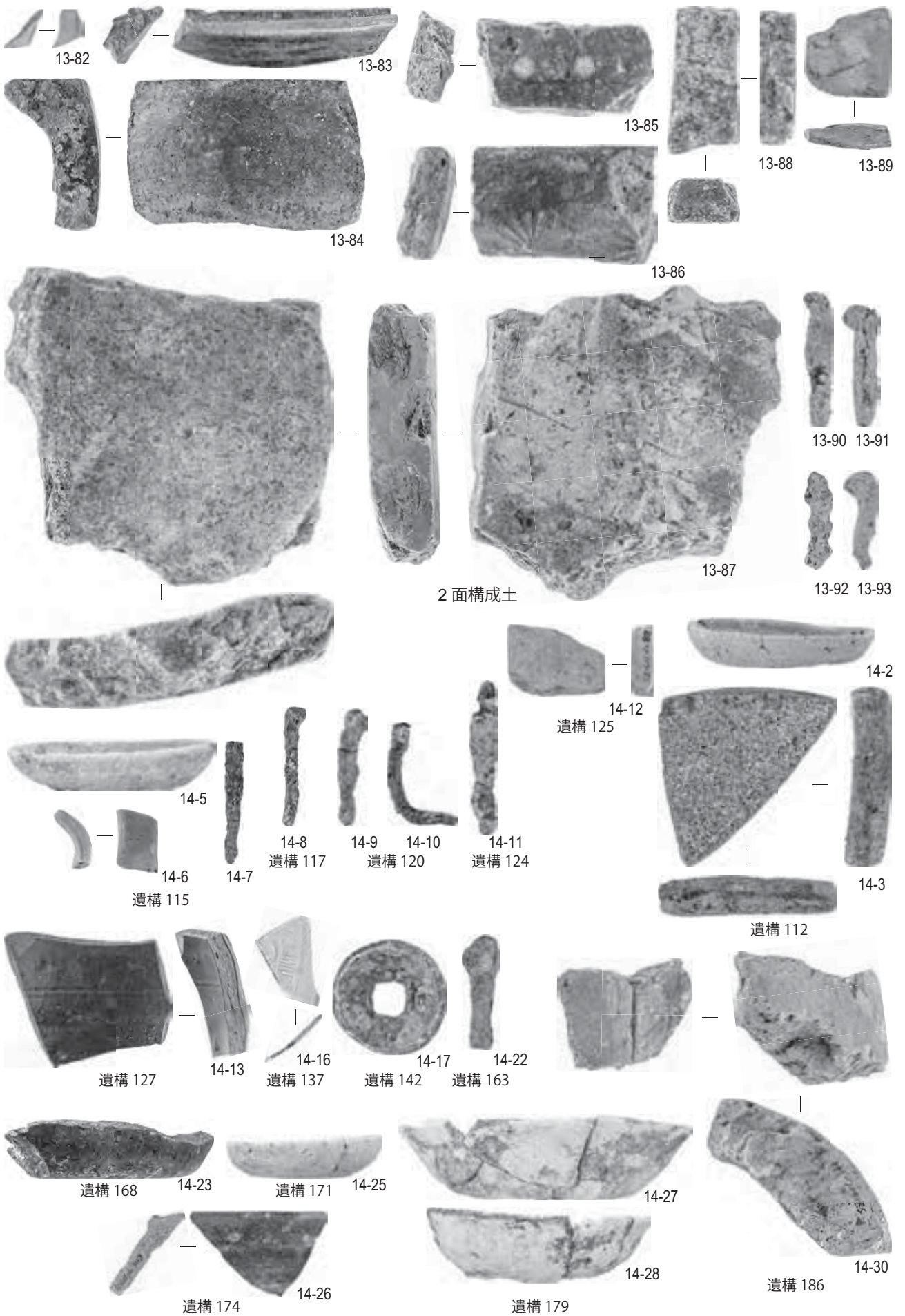
6. 西壁セクション (2区東から)

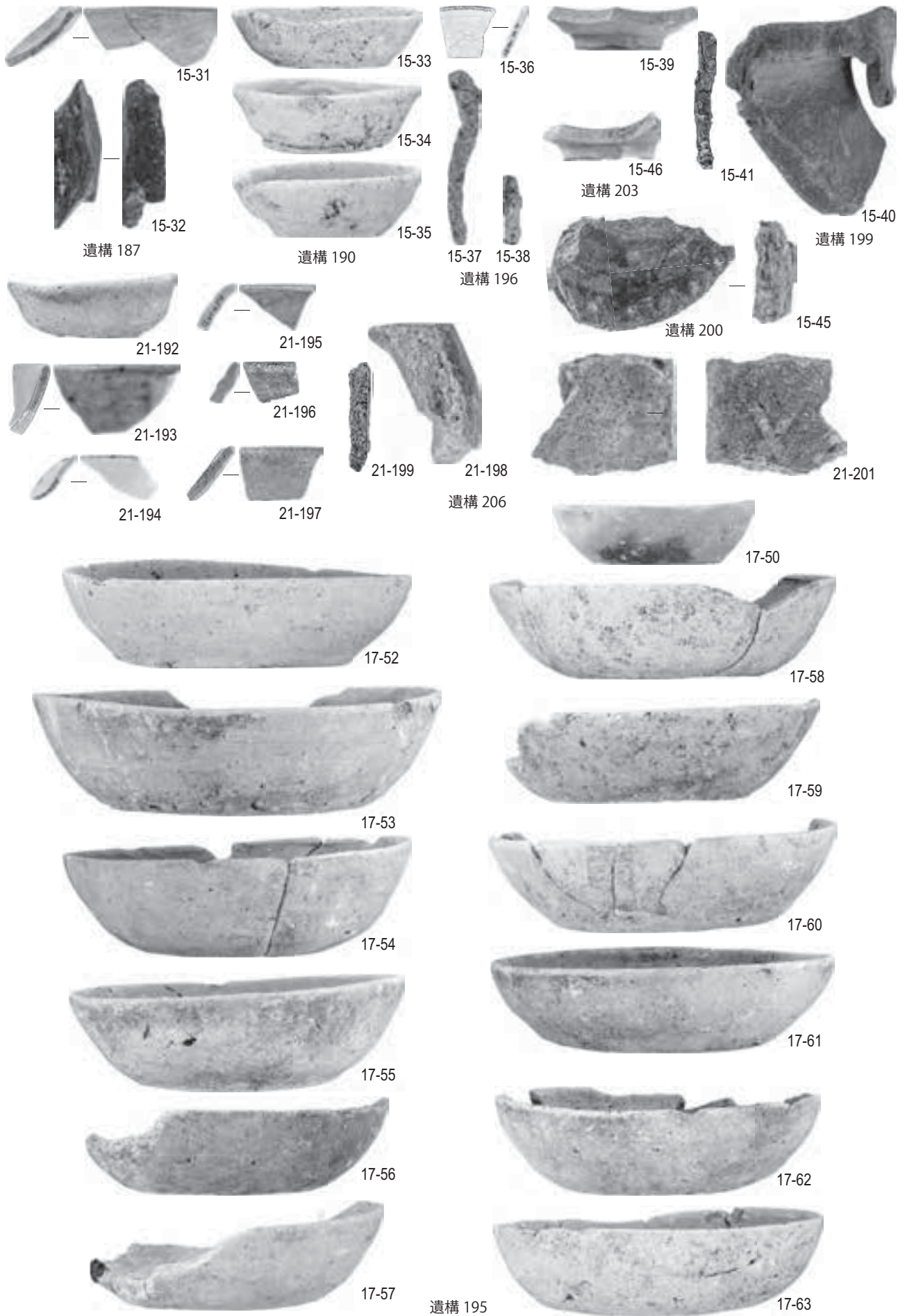














17-64



17-65



17-66



17-67



17-68



17-70



17-69



17-71



17-72



17-73



17-74



17-75



17-76



17-77



17-78



17-79



17-80



17-81



17-82



17-83



17-84



17-85



17-92



17-99



17-86



17-93



17-100



17-87



17-94



17-102



17-88



17-95



17-89



17-96

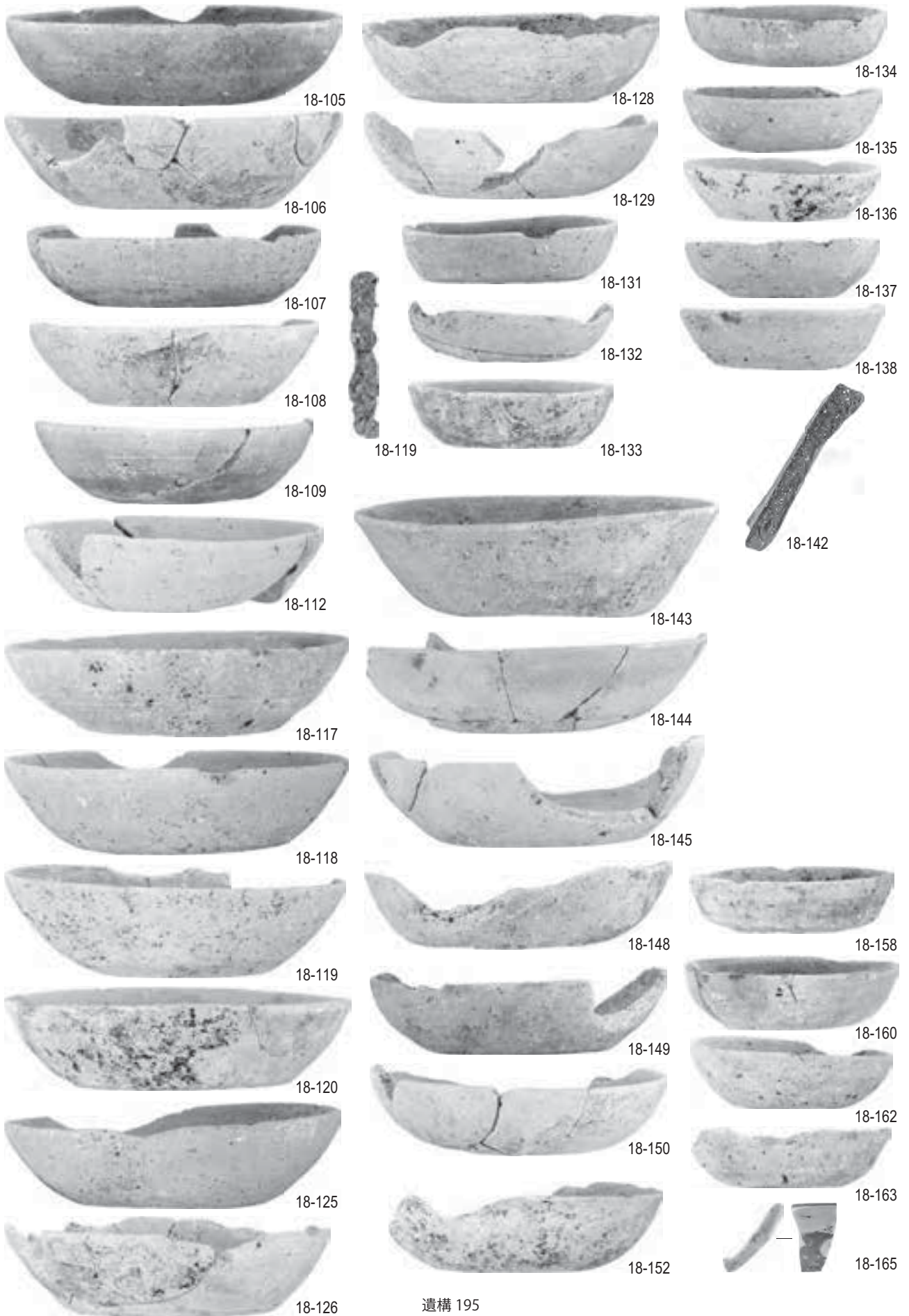


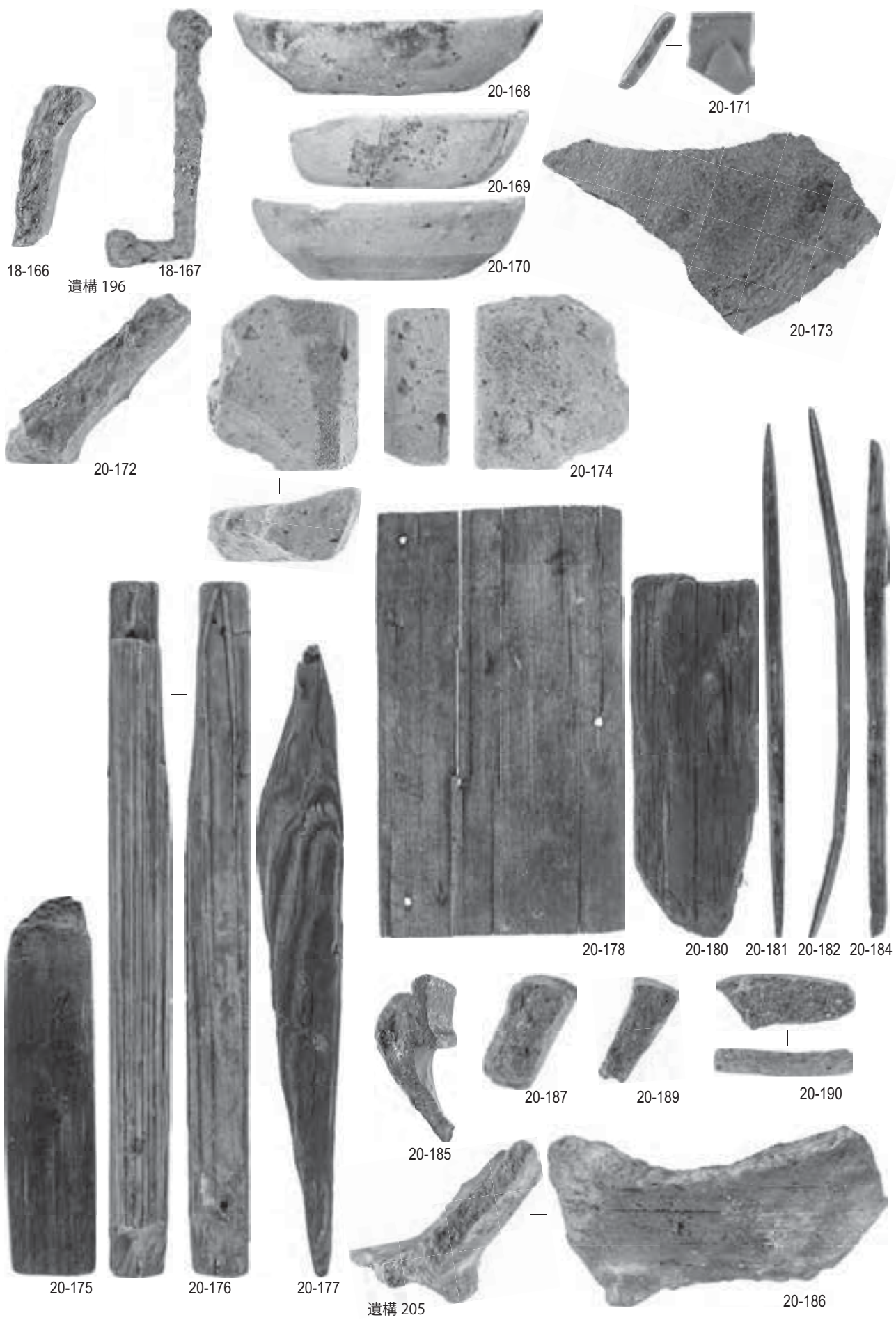
17-91

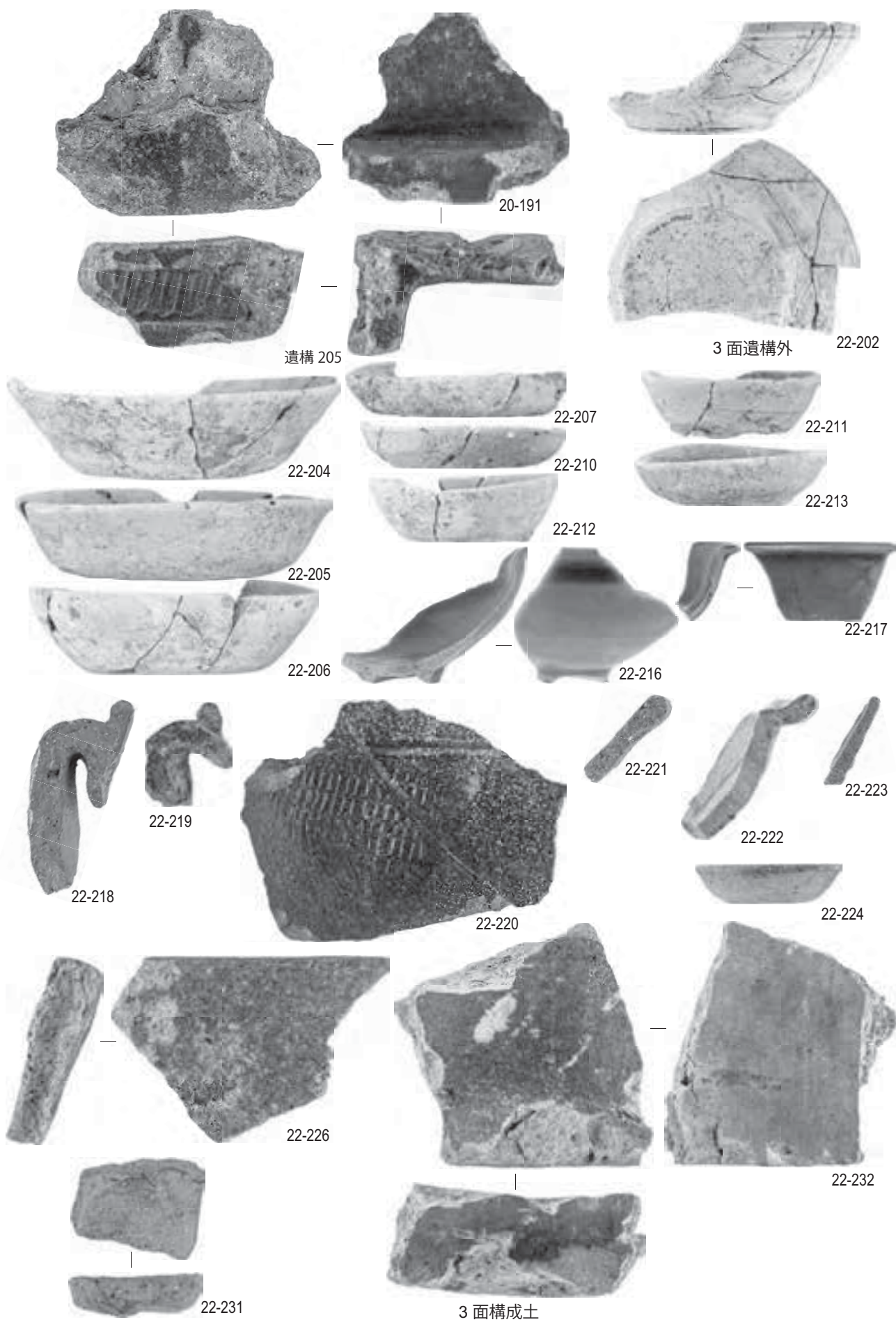


17-97

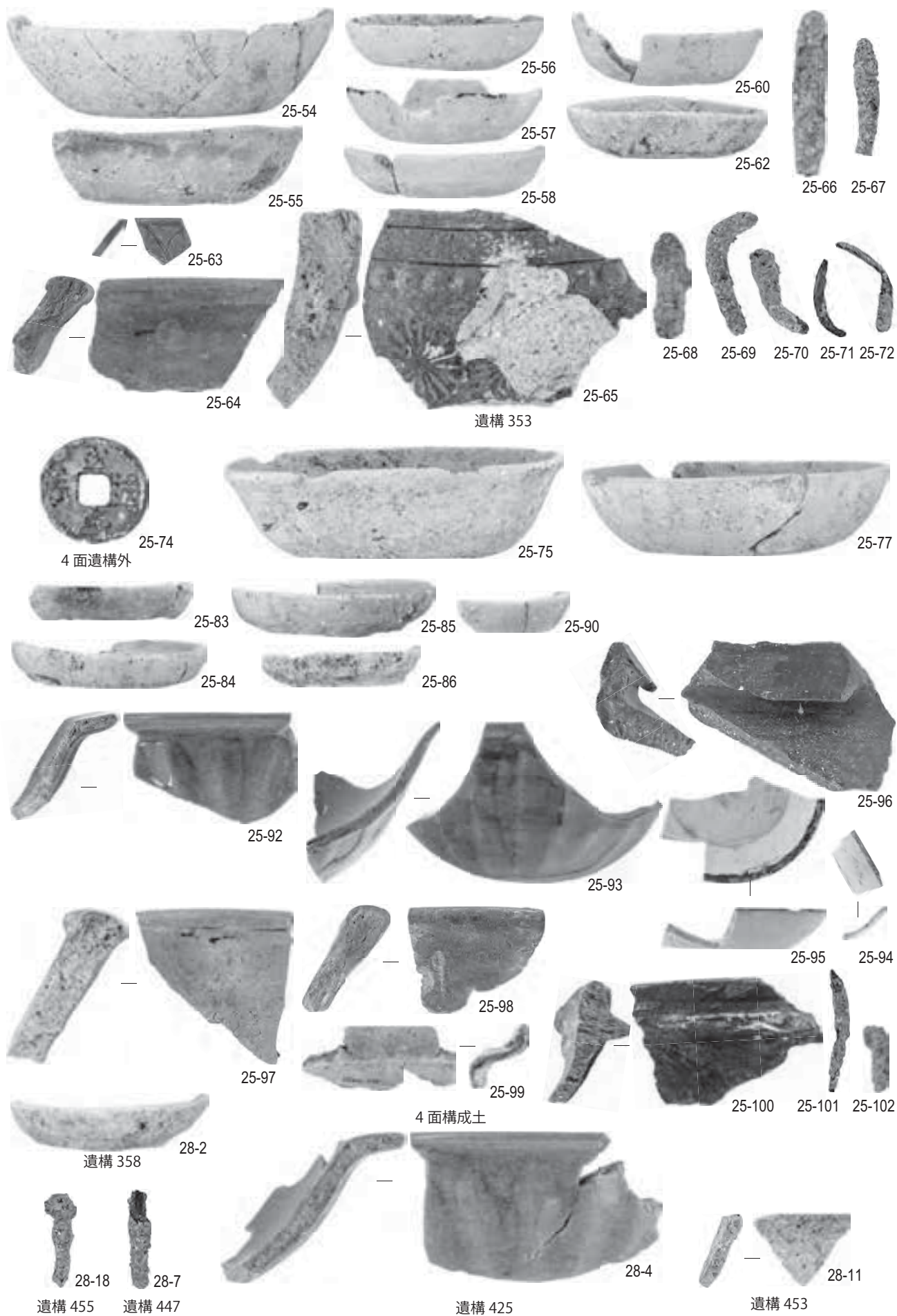
遺構 195

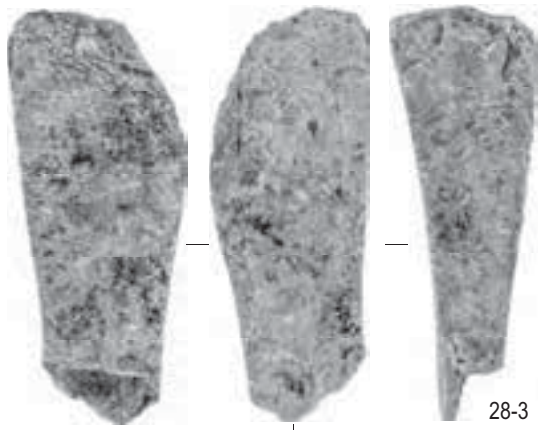




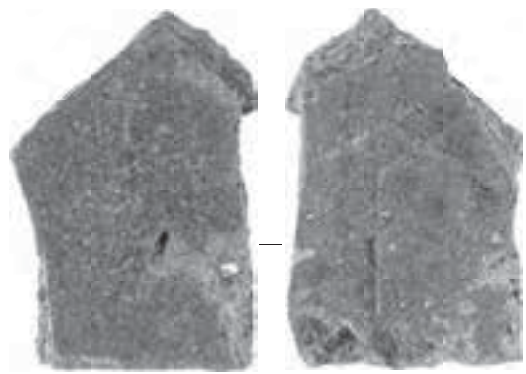








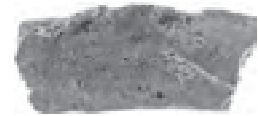
28-3



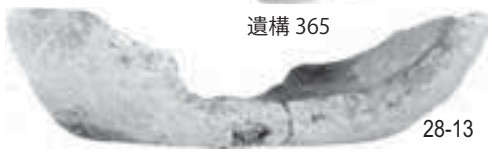
28-12



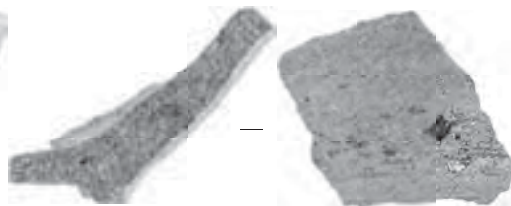
遺構 365



遺構 454



28-13



遺構 455



28-17



28-15

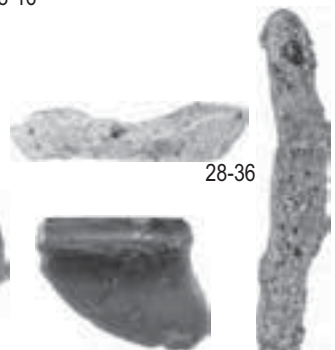
28-16



遺構 456



28-20



28-36



28-37

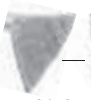


28-38

5面構成土



28-26



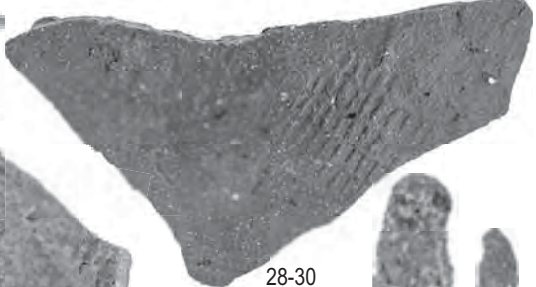
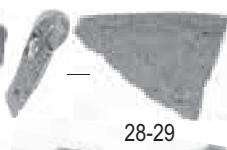
28-27



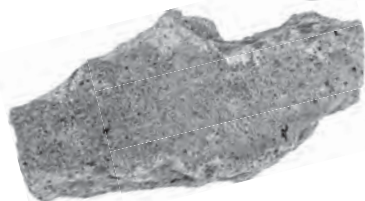
28-28



28-29



28-30



28-32



28-33



28-34

南側砂質土内



遺構 471

30-1

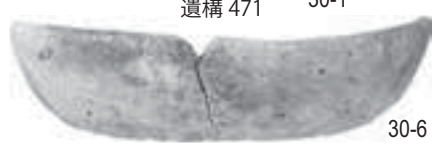


30-3
遺構 474



遺構 477

30-5



遺構 515

30-6

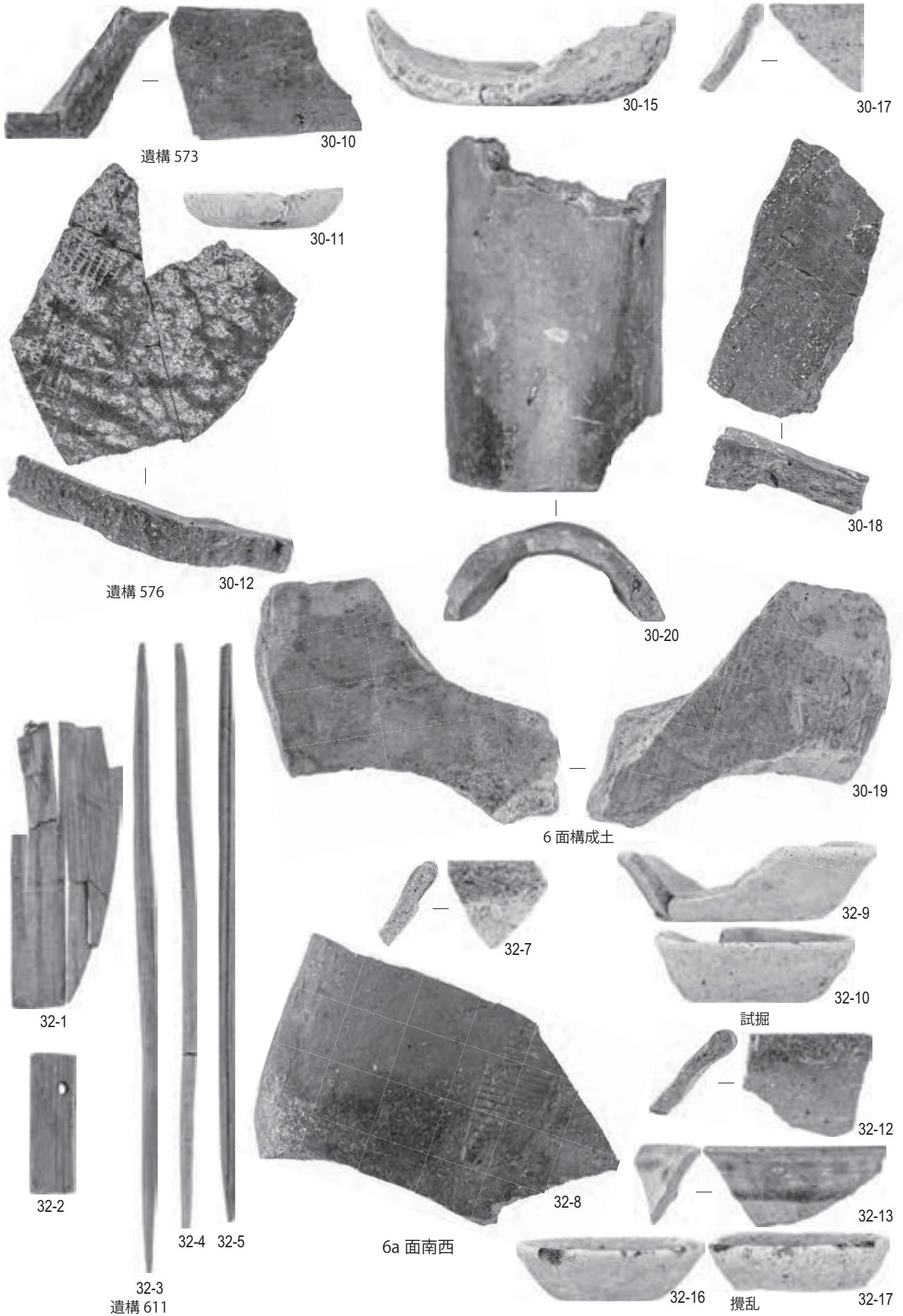


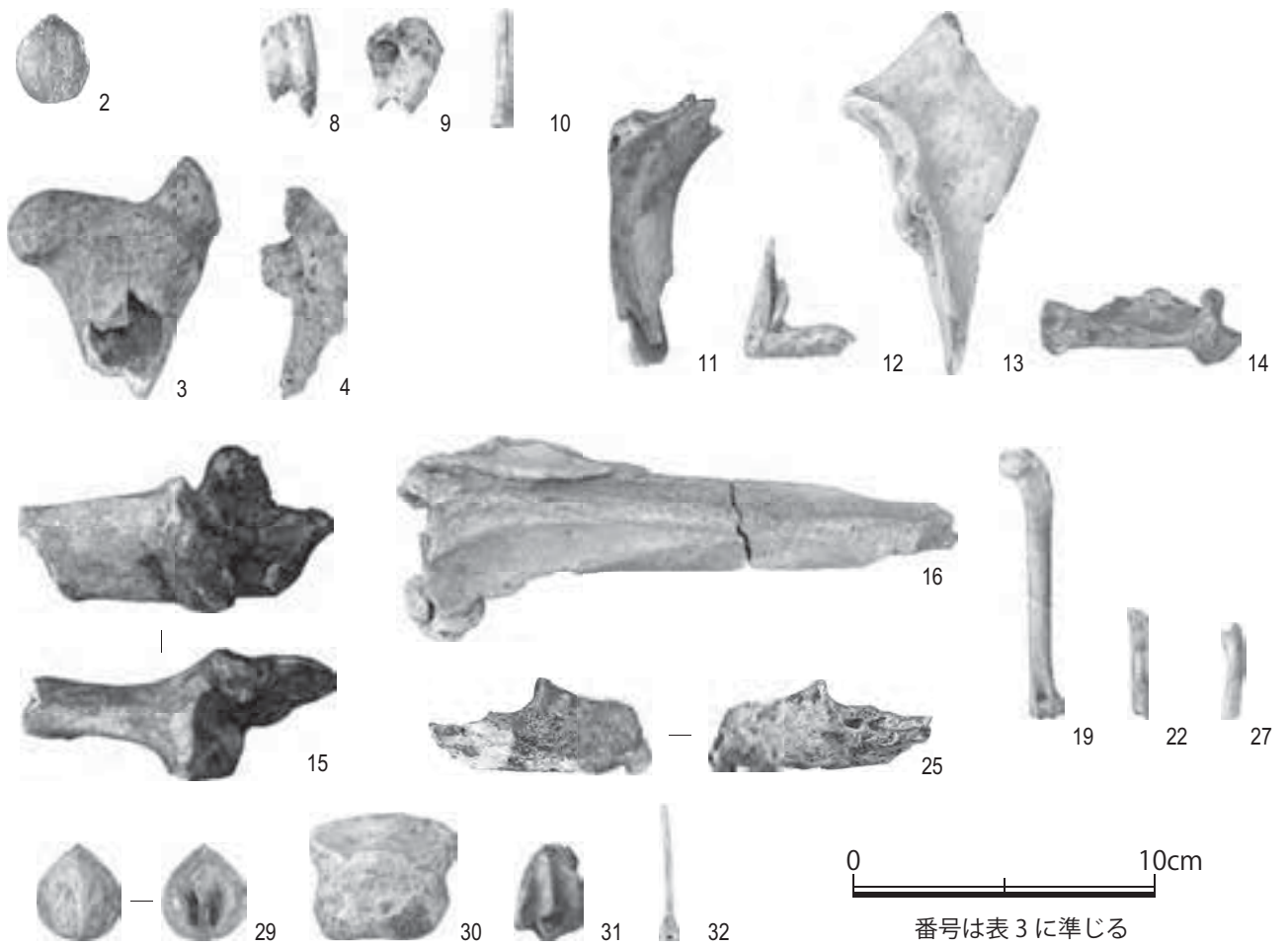
遺構 539

30-8



30-9
遺構 545





報告書抄録

ふりがな	かまくらしまいぞうぶんかざいきんきゅうちようさほうこくしょ							
書名	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書							
副書名	令和元年度調査報告							
巻次	36 (第2分冊)							
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者	伊丹まどか/後藤 健/後藤 健							
編集機関	鎌倉市教育委員会							
所在地	〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号							
発行年月日	西暦2020年3月31日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
こめまちいせき 米町遺跡	神奈川県鎌倉市 大町二丁目 2400番5、6	14204	245	35° 20' 48"	139° 32' 09"	20120828 ～ 20121122	75.00	個人専用住宅 (柱状改良工事)
しゃくぜんいせき 積善遺跡	神奈川県鎌倉市 十二所字積善 944番1、945番 7、10	14204	440	35° 19' 07"	139° 34' 35"	20150512 ～ 20150907	47.00	個人専用住宅 (柱状改良工事)
しゃくぜんいせき 積善遺跡	神奈川県鎌倉市 十二所字積善 944番6、7、10	14204	440	35° 19' 08"	139° 34' 35"	20160818 ～ 20161112	67.90	個人専用住宅 (柱状改良工事)

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
こめまちいせき 米町遺跡	都市遺跡	中世	土坑、柱穴、溝	須恵器、土師器、かわらけ、国産陶器、舶載磁器、瓦器質製品、瓦、金属製品、石製品	中世初期は低湿地であった可能性を確認。
しゃくぜんいせき 積善遺跡	遺物散布地	中世	土坑、柱穴、溝状遺構、井戸、切石列	かわらけ、国産陶器、舶載磁器、瓦、木製品、石製品、金属製品、骨製品	13世紀後半から15世紀の生活面に柱穴や土坑、井戸を確認。
しゃくぜんいせき 積善遺跡	遺物散布地	中世	土坑、柱穴、溝状遺構、井戸、切石列	かわらけ、国産陶器、舶載磁器、瓦、木製品、石製品、金属製品、骨製品	13世紀後半から15世紀の生活面に柱穴や土坑、井戸を確認。

鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 36

令和元年度発掘調査報告

(第 2 分 冊)

発 行 日 令和 2 年 (2020年) 3 月 31 日

編集・発行 鎌倉市教育委員会
印 刷 有限会社湘南グッド